

香芝市市民アンケート 調査結果報告

令和 2 年 3 月

香 芝 市

目次

1 調査の概要

調査の目的	1
調査の実施概要	1
調査の回収状況	1
報告書の見方	1

2 調査の結果

I. 定住意向について	2
II. 香芝市が取り組む施策の評価について	18
III. 市民協働のまちづくりについて	43
IV. 地方創生の取り組み（就労・雇用、子育てなど）について	61
V. 市の将来像について	91
VI. モナミホールについて	94
VII. あなたご自身のことについて、うかがいます	98

1 調査の概要

調査の目的

「第5次香芝市総合計画」の策定にあたり、市の施策に対する市民の評価、また市民の意識や生活スタイル等を把握し、今後の取組の検討資料を得るため調査を実施しました。

調査の実施概要

■調査対象

香芝市在住の16歳以上の市民、2,000人を無作為抽出

■調査期間

令和元年度9月6日(金)～令和元年度9月27日(金)

■実施方法

郵送による配布・回収

調査の回収状況

配布件数	回収数	回収率
2,000	725	36.3%

報告書の見方

- 図表内に付加されている「N」は質問に対する回答者数です。
- 結果数値は、少数点第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがあります。
- 複数回答の場合、回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超えます。
- 無記入、回答の読み取りが著しく困難な場合、1つまでの回答を求めている設問に対し2つ以上回答していた場合は「不明・無回答」として処理しています。
- グラフ中の数字は、特に断り書きのないかぎりすべて構成比を意味し、単位は%です。

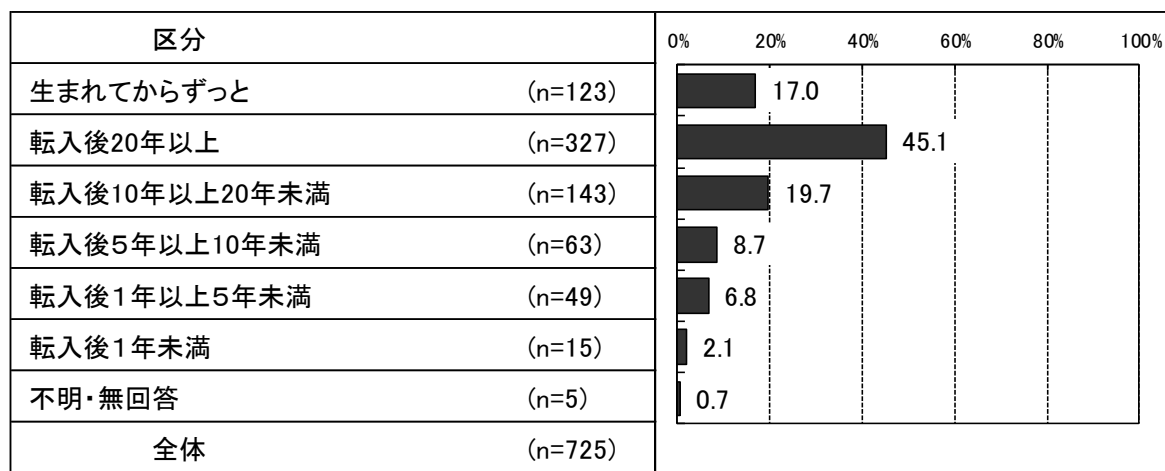
2 調査の結果

I. 定住意向について

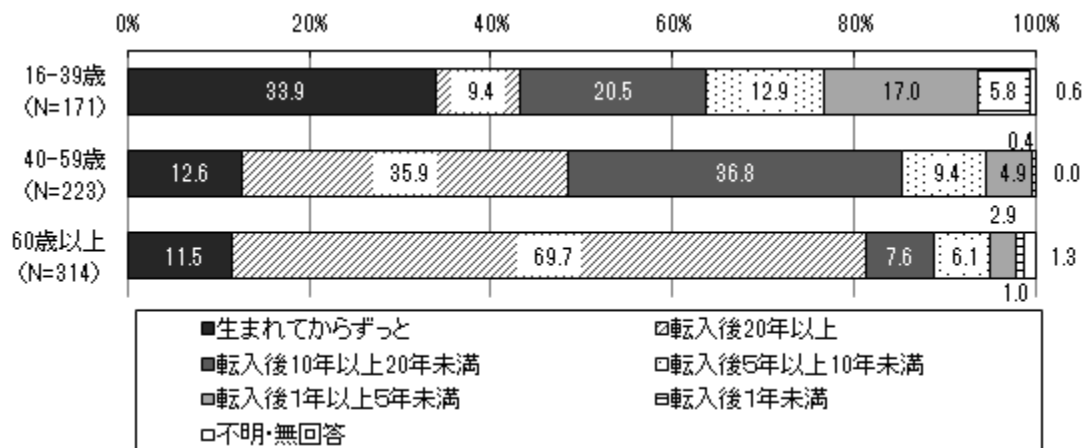
問1 あなたは、香芝市に何年お住まいですか。（1つに○）

「転入後20年以上」が45.1%で最も多く、次いで「転入後10年以上20年未満」が19.7%、「生まれてからずっと」が17.0%が続いています。

年齢別にみると、「生まれてからずっと」では16-39歳が40歳以上より回答割合が高くなっています。また、「転入後20年以上」では、年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。



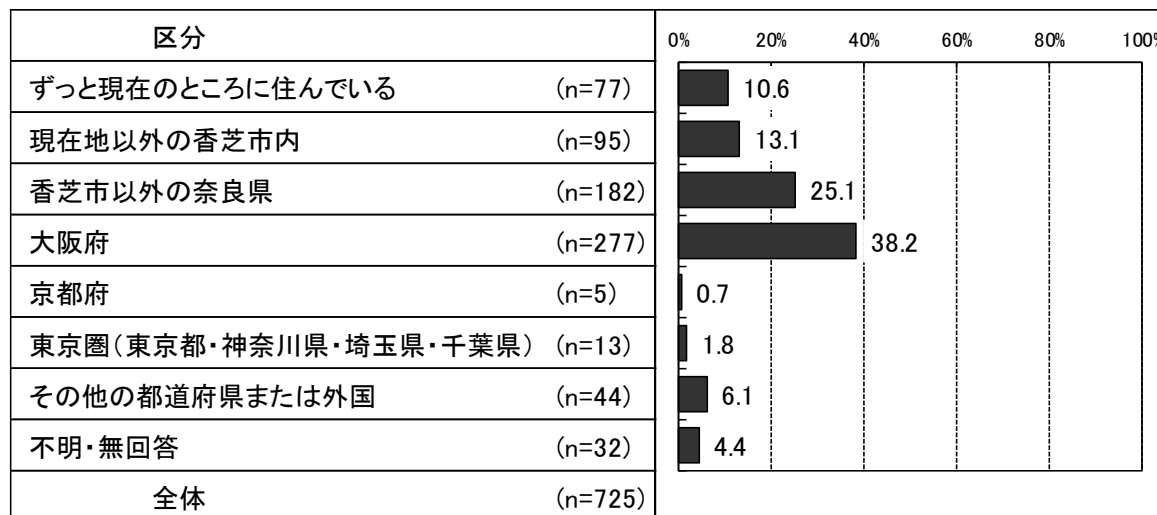
■年齢別



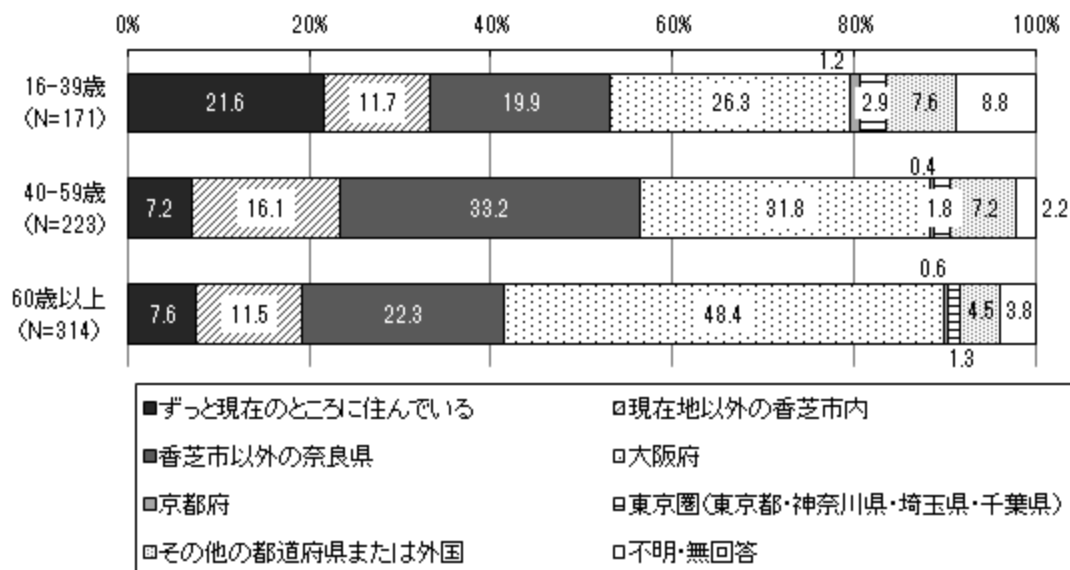
問2 現在のお住まいに来られる以前はどこに住んでおられましたか。（1つに○）

「大阪府」が38.2%で最も多く、次いで「香芝市以外の奈良県」が25.1%、「現在地以外の香芝市内」が13.1%が続いています。

年齢別にみると、本市へ転入前の居住地は、奈良県以外では、どの年齢も大阪府や京都府が多くなっています。

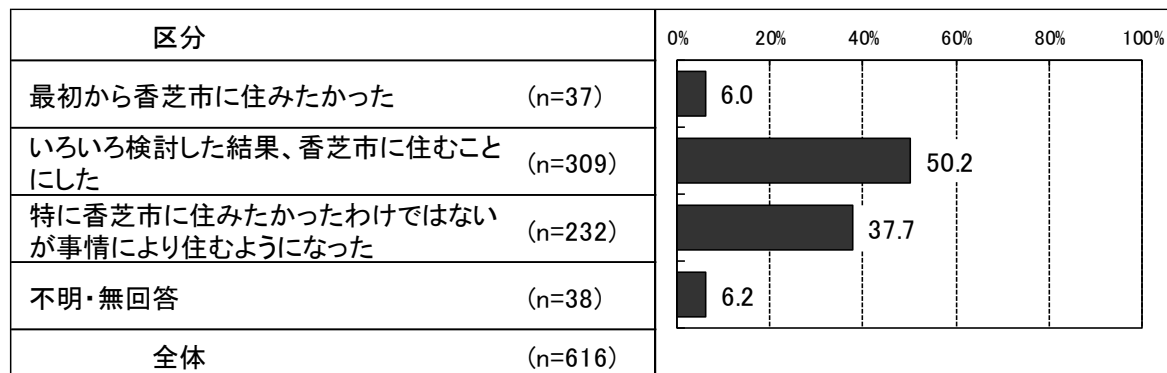


■年齢別



問 3 問 2 で「ずっと現在のところに住んでいる」以外に○をつけた方のみお答えください。
あなたが現在の居住地にお住まいになった経緯は何ですか。（1 つに○）

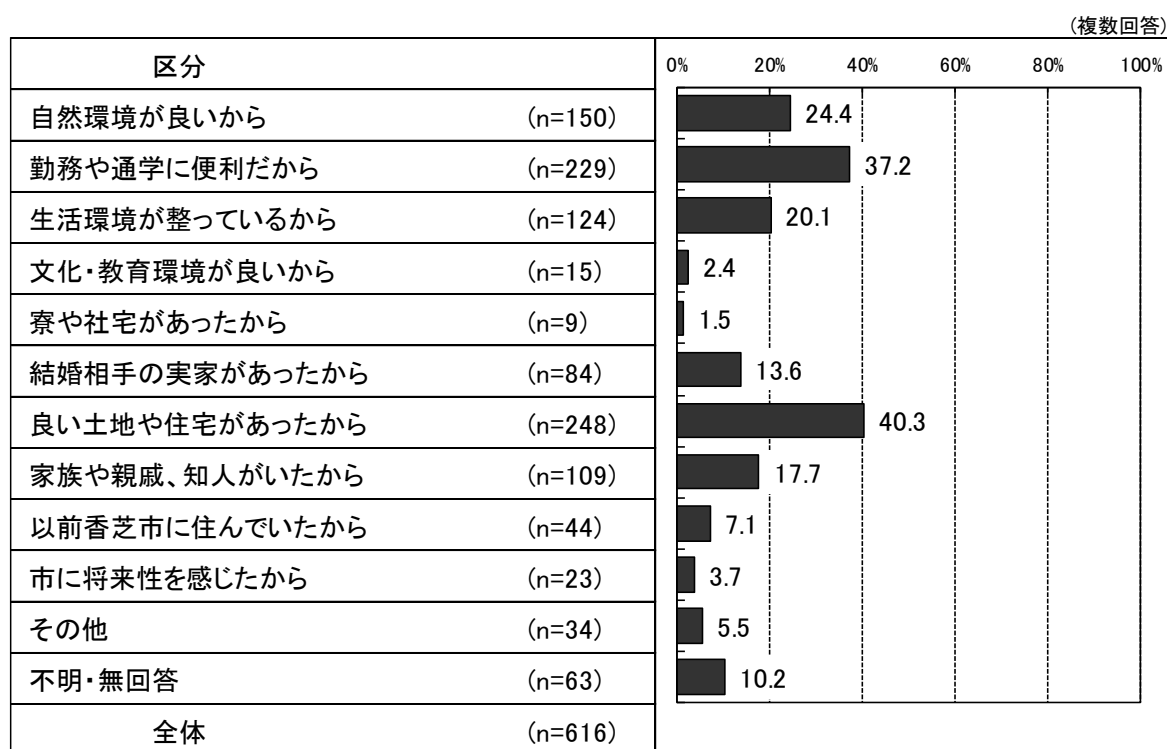
「いろいろ検討した結果、香芝市に住むことにした」が 50.2%で最も多く、次いで「特に香芝市に住みたかったわけではないが事情により住むようになった」が 37.7%、「最初から香芝市に住みたかった」が 6.0%で続いています。



問 4 問 2 で「ずっと現在のところに住んでいる」以外に○をつけた方のみお答えください。
あなたが香芝市に住んでいる理由は何ですか。（あてはまるもの 3 つまでに○）

「良い土地や住宅があったから」が 40.3%で最も多く、次いで「勤務や通学に便利だから」が 37.2%、「自然環境が良いから」が 24.4%で続いています。

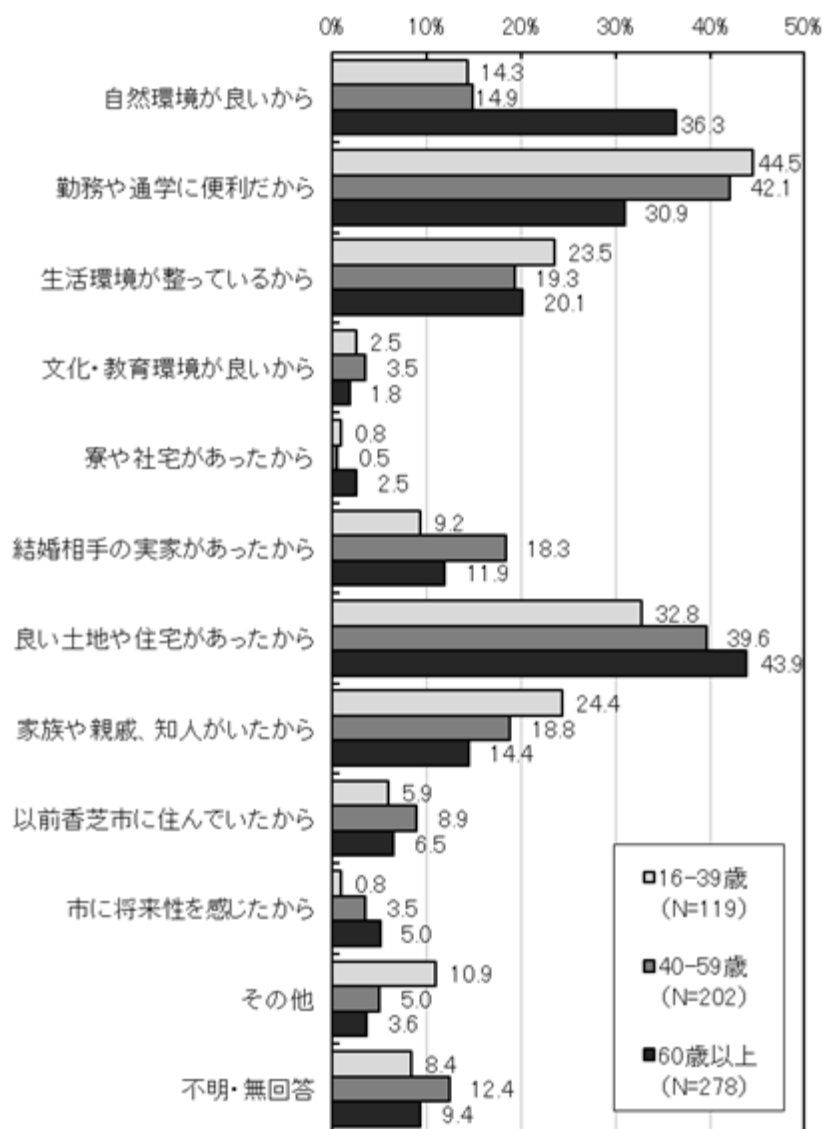
年齢別にみると、「勤務や通学に便利だから」では 16-39 歳で回答割合が高くなっています。「自然環境がよいから」では 60 歳以上で回答割合が高くなっています。「よい土地や住宅があったから」では年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。



■「その他」の内容

内容	件数
住環境(価格・地価)のよさ	10
親・実家の都合	3
充実した福祉	2
結婚	2
転勤	2
移動理由がない	2
治安がよい	1

■年齢別



問 5 すべての方にうかがいます。

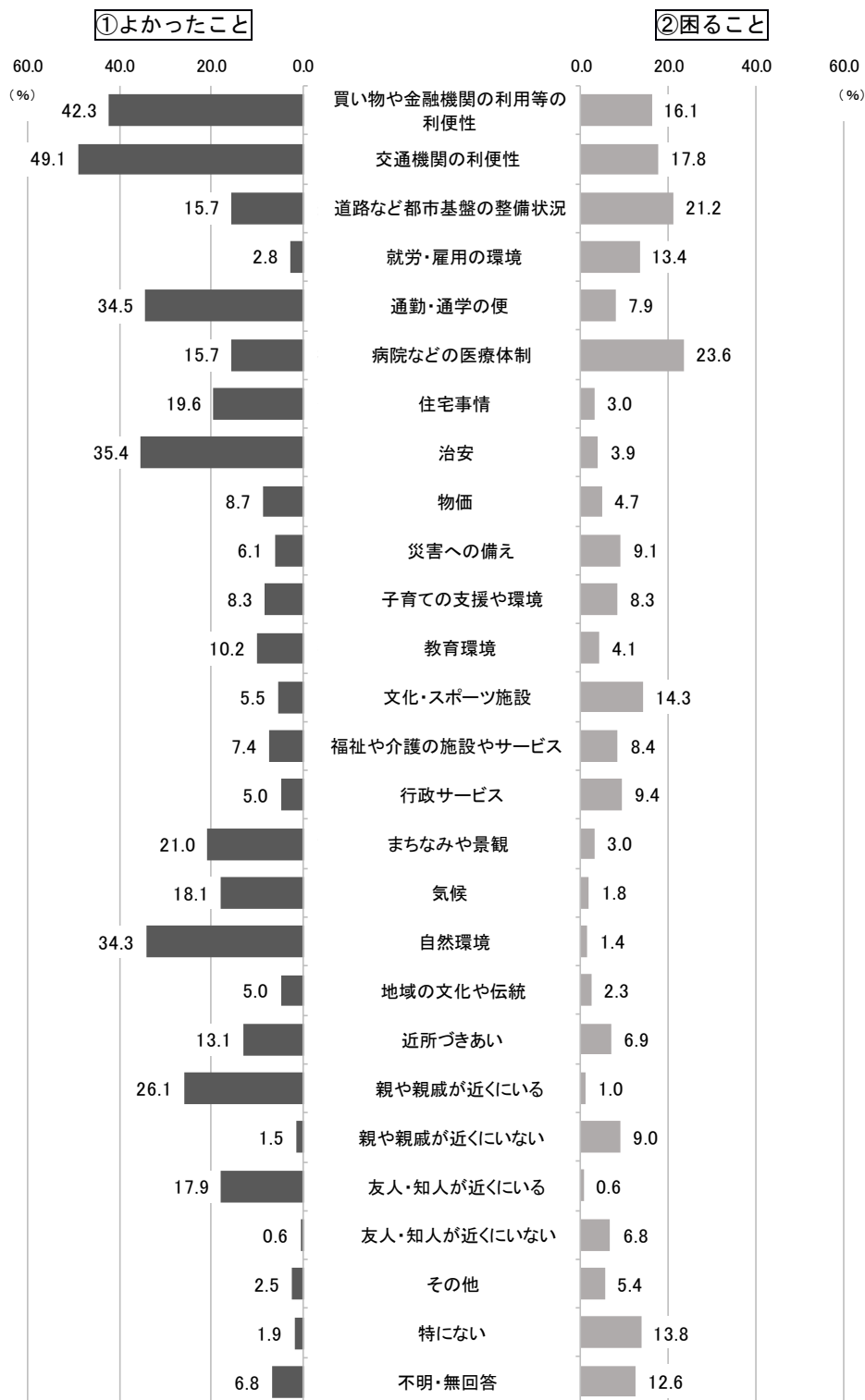
香芝市に住んでいて、①よかったことは何ですか。また、②困ることは何ですか。よかったことと困ることのそれぞれについて、下からあてはまるものすべての番号を書いてください。

①よかったこと

「交通機関の利便性」が49.1%で最も多く、次いで「買い物や金融機関の利用等の利便性」が42.3%、「治安」が35.4%が続いています。

②困ること

「病院などの医療体制」が23.6%で最も多く、次いで「道路など都市基盤の整備状況」が21.2%、「交通機関の利便性」が17.8%が続いています。



■「その他」の内容

	内容	件数
①よかったこと	市内交通の便がよい	4
	知人が増えた・知人がいる	2
	静か	1
	災害が少ない	1
②困ること	商店・娯楽施設が少ない	6
	市内交通の便がわるい	5
	病院がすくない	4
	公共料金税金が高い	3
	行政の職員が不親切	2
	交通の騒音がひどい	1
	住民サービスを自治会にまらなげしてる事	1

■年齢別（①よかったこと）

年齢別にみると、「交機関の利便性」では20～34歳、及び40～44歳で回答割合が6割を超え、他の年齢より高くなっています。「自然環境」では60歳以上で4割を超え、59歳以下より高くなっています。

	利用等 の利便性	買物や 金融機 関の利 便性	交通機 関の利 便性	道路な ど都市 基盤の 整備状 況	就労・ 雇用の 環境	通勤・ 通学の 便	病院な どの医 療体制	住宅事 情	治安	物価	災害へ の備え	子育て の支援 や環境	教育環 境	文化・ スポー ツ施設	福祉や 介護の 施設や サービス
全体	42.3	49.1	15.7	2.8	34.5	15.7	19.6	35.4	8.7	6.1	8.3	10.2	5.5	7.4	7.4
16～19歳	44.1	38.2	8.8	2.9	50.0	5.9	8.8	38.2	5.9	5.9	2.9	8.8	5.9	5.9	5.9
20～24歳	40.7	63.0	18.5	11.1	44.4	25.9	14.8	44.4	11.1	7.4	11.1	25.9	3.7	7.4	7.4
25～29歳	32.1	60.7	14.3	0.0	39.3	3.6	14.3	39.3	10.7	7.1	7.1	10.7	0.0	0.0	0.0
30～34歳	65.6	62.5	12.5	3.1	43.8	25.0	28.1	40.6	6.3	6.3	15.6	9.4	0.0	3.1	3.1
35～39歳	42.0	38.0	14.0	0.0	38.0	18.0	26.0	46.0	20.0	4.0	18.0	14.0	2.0	6.0	6.0
40～44歳	49.0	60.8	17.6	2.0	41.2	23.5	23.5	39.2	7.8	7.8	19.6	13.7	7.8	2.0	2.0
45～49歳	32.9	38.6	14.3	2.9	32.9	11.4	20.0	32.9	7.1	5.7	11.4	11.4	2.9	4.3	4.3
50～54歳	36.2	48.9	14.9	2.1	36.2	19.1	12.8	25.5	2.1	2.1	2.1	19.1	8.5	6.4	6.4
55～59歳	40.0	45.5	12.7	0.0	29.1	7.3	32.7	40.0	10.9	1.8	3.6	1.8	0.0	1.8	1.8
60～64歳	41.9	48.4	14.5	3.2	40.3	4.8	19.4	37.1	4.8	4.8	4.8	6.5	4.8	6.5	6.5
65～69歳	48.3	51.7	21.7	3.3	31.7	18.3	18.3	36.7	6.7	11.7	11.7	15.0	11.7	10.0	10.0
70～74歳	42.3	52.6	15.4	2.6	30.8	17.9	11.5	30.8	11.5	5.1	3.8	7.7	6.4	14.1	14.1
75歳以上	43.0	48.2	20.2	3.5	24.6	21.1	20.2	31.6	8.8	8.8	5.3	5.3	7.0	12.3	12.3

	行政サ ービス	まちな みや景 観	気候	自然環 境	地域の 文化や 伝統	近所づ きあい	親や親 戚が近 くに在 る	親や親 戚が近 くに在 ない	友人・ 知人が 近くに 在る	友人・ 知人が 近くに 在ない	その他	特にな い	不明・ 無回答
全体	5.0	21.0	18.1	34.3	5.0	13.1	26.1	1.5	17.9	0.6	2.5	1.9	6.8
16～19歳	0.0	23.5	11.8	26.5	8.8	17.6	23.5	0.0	17.6	0.0	0.0	2.9	5.9
20～24歳	11.1	25.9	22.2	29.6	7.4	11.1	37.0	3.7	33.3	3.7	3.7	0.0	3.7
25～29歳	0.0	25.0	14.3	32.1	10.7	14.3	42.9	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	14.3
30～34歳	3.1	25.0	15.6	18.8	6.3	9.4	43.8	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	3.1
35～39歳	2.0	14.0	10.0	22.0	4.0	8.0	36.0	0.0	14.0	2.0	0.0	6.0	4.0
40～44歳	0.0	11.8	13.7	19.6	5.9	21.6	29.4	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	3.9
45～49歳	5.7	28.6	11.4	24.3	4.3	7.1	34.3	0.0	14.3	0.0	1.4	1.4	10.0
50～54歳	2.1	14.9	14.9	34.0	2.1	12.8	23.4	2.1	17.0	0.0	0.0	2.1	8.5
55～59歳	7.3	21.8	10.9	27.3	7.3	1.8	40.0	1.8	14.5	0.0	1.8	3.6	5.5
60～64歳	3.2	29.0	25.8	46.8	3.2	9.7	14.5	1.6	16.1	0.0	1.6	3.2	1.6
65～69歳	8.3	23.3	30.0	43.3	3.3	16.7	25.0	3.3	16.7	0.0	1.7	3.3	8.3
70～74歳	5.1	19.2	15.4	44.9	3.8	16.7	14.1	1.3	19.2	0.0	3.8	1.3	6.4
75歳以上	8.8	15.8	26.3	46.5	5.3	18.4	14.9	2.6	17.5	1.8	7.9	0.9	7.9

■地域別（①よかったこと）

地域別にみると、「二上小学校区」「志都美小学校区」「関屋小学校区」以外の地域は「買い物や金融機関の利用等の利便性」の回答割合が全体の回答割合より高くなっています。また、「二上小学校区」「志都美小学校区」「関屋小学校区」「旭ヶ丘小学校区」以外の地域は「交通機関の利便性」の回答割合が全体の回答割合より高くなっています。

「二上小学校区」「志都美小学校区」「真美ヶ丘西小学校区」では「自然環境」の回答割合が全体の回答割合より高くなっています。

	買い物や金融機関の利便性	交通機関の利便性	道路など都市基盤の整備状況	就労・雇用の環境	通勤・通学の便	病院などの医療体制	住宅事情	治安	物価	災害への備え	子育ての支援や環境	教育環境	文化・スポーツ施設	福祉や介護の施設やサービス
全体	42.3	49.1	15.7	2.8	34.5	15.7	19.6	35.4	8.7	6.1	8.3	10.2	5.5	7.4
五位堂小学校区	49.4	66.2	11.7	0.0	55.8	13.0	19.5	33.8	5.2	2.6	7.8	9.1	5.2	1.3
下田小学校区	45.4	58.3	13.9	2.8	42.6	19.4	18.5	34.3	10.2	6.5	7.4	5.6	10.2	6.5
二上小学校区	33.8	43.7	12.7	2.8	26.8	19.7	21.1	31.0	4.2	2.8	4.2	12.7	7.0	8.5
志都美小学校区	20.4	24.1	9.3	5.6	13.0	11.1	16.7	24.1	13.0	11.1	9.3	9.3	5.6	9.3
関屋小学校区	14.0	22.8	5.3	1.8	14.0	10.5	10.5	40.4	3.5	3.5	5.3	5.3	0.0	7.0
三和小学校区	56.2	53.4	16.4	4.1	27.4	16.4	16.4	45.2	15.1	5.5	9.6	6.8	6.8	9.6
鎌田小学校区	48.8	53.5	11.6	2.3	48.8	18.6	23.3	32.6	16.3	4.7	7.0	7.0	2.3	14.0
真美ヶ丘東小学校区	56.6	52.6	32.9	5.3	46.1	7.9	31.6	44.7	9.2	9.2	11.8	15.8	6.6	7.9
真美ヶ丘西小学校区	46.8	62.9	30.6	0.0	41.9	17.7	22.6	46.8	3.2	4.8	17.7	21.0	4.8	11.3
旭ヶ丘小学校区	45.0	41.3	13.8	2.5	22.5	20.0	16.3	26.3	10.0	10.0	6.3	12.5	1.3	2.5

	行政サービス	まちなみや景観	気候	自然環境	地域の文化や伝統	近所づきあい	親や親戚が近くにいる	親や親戚が近くにいない	友人・知人が近くにいる	友人・知人が近くにいない	その他	特にない	不明・無回答
全体	5.0	21.0	18.1	34.3	5.0	13.1	26.1	1.5	17.9	0.6	2.5	1.9	6.8
五位堂小学校区	5.2	10.4	18.2	23.4	5.2	14.3	23.4	1.3	27.3	1.3	3.9	2.6	5.2
下田小学校区	6.5	18.5	18.5	33.3	4.6	14.8	37.0	0.0	13.9	0.0	0.0	1.9	7.4
二上小学校区	4.2	16.9	14.1	25.4	5.6	7.0	26.8	1.4	11.3	1.4	1.4	1.4	8.5
志都美小学校区	5.6	18.5	20.4	40.7	9.3	18.5	25.9	0.0	11.1	0.0	5.6	3.7	14.8
関屋小学校区	0.0	35.1	21.1	57.9	0.0	7.0	17.5	0.0	8.8	0.0	1.8	3.5	7.0
三和小学校区	4.1	16.4	19.2	32.9	5.5	8.2	19.2	2.7	16.4	0.0	1.4	4.1	9.6
鎌田小学校区	7.0	16.3	18.6	32.6	4.7	23.3	27.9	9.3	32.6	0.0	0.0	2.3	4.7
真美ヶ丘東小学校区	9.2	35.5	25.0	32.9	5.3	17.1	30.3	2.6	19.7	1.3	3.9	0.0	1.3
真美ヶ丘西小学校区	3.2	29.0	14.5	38.7	8.1	11.3	29.0	0.0	19.4	1.6	1.6	0.0	4.8
旭ヶ丘小学校区	3.8	16.3	12.5	35.0	3.8	12.5	21.3	1.3	22.5	0.0	2.5	0.0	3.8

■年齢別（②困ること）

年齢別にみると、「文化・スポーツ施設」では20～24歳、30～34歳、及び60～64歳で回答割合が2割を超え、他の年齢より高くなっています。

	利用等 の利便性	買い物や金融 機関の利便性	交通機関の 利便性	道路など都市 基盤の整備状 況	就労・雇用の 環境	通勤・通学の 便	病院などの医 療体制	住宅事情	治安	物価	災害への備え	子育ての支援 や環境	教育環境	文化・スポーツ 施設	福祉や介護の 施設やサービス
全体	16.1	17.8	21.2	13.4	7.9	23.6	3.0	3.9	4.7	9.1	8.3	4.1	14.3	8.4	
16～19歳	14.7	17.6	11.8	2.9	17.6	20.6	0.0	0.0	0.0	11.8	5.9	5.9	8.8	2.9	
20～24歳	18.5	7.4	11.1	11.1	11.1	7.4	0.0	11.1	0.0	3.7	3.7	7.4	22.2	7.4	
25～29歳	25.0	14.3	21.4	21.4	0.0	14.3	3.6	3.6	3.6	10.7	7.1	0.0	7.1	14.3	
30～34歳	3.1	12.5	34.4	3.1	6.3	15.6	0.0	3.1	15.6	15.6	12.5	3.1	21.9	9.4	
35～39歳	22.0	26.0	32.0	22.0	12.0	18.0	8.0	8.0	4.0	4.0	24.0	10.0	14.0	8.0	
40～44歳	17.6	9.8	23.5	17.6	7.8	17.6	5.9	2.0	5.9	7.8	15.7	5.9	13.7	3.9	
45～49歳	17.1	21.4	17.1	20.0	11.4	21.4	5.7	5.7	5.7	5.7	12.9	4.3	14.3	5.7	
50～54歳	14.9	25.5	17.0	8.5	12.8	17.0	4.3	2.1	0.0	6.4	10.6	4.3	10.6	6.4	
55～59歳	14.5	27.3	29.1	23.6	16.4	34.5	1.8	5.5	3.6	10.9	12.7	5.5	16.4	10.9	
60～64歳	19.4	12.9	22.6	8.1	1.6	27.4	4.8	3.2	4.8	8.1	3.2	4.8	24.2	6.5	
65～69歳	16.7	15.0	25.0	11.7	8.3	33.3	3.3	3.3	5.0	11.7	1.7	0.0	16.7	10.0	
70～74歳	15.4	17.9	21.8	9.0	3.8	28.2	0.0	2.6	2.6	6.4	1.3	2.6	12.8	9.0	
75歳以上	12.3	14.9	15.8	12.3	2.6	23.7	0.9	2.6	7.9	12.3	3.5	2.6	9.6	11.4	

	行政サ ービス	まちな みや景 観	気候	自然環 境	地域の 文化や 伝統	近所づ きあい	親や親 戚が近 くに在 る	親や親 戚が近 くに在 ない	友人・ 知人が 近くに 在る	友人・ 知人が 近くに 在ない	その他	特にな い	不明・ 無回答
全体	9.4	3.0	1.8	1.4	2.3	6.9	1.0	9.0	0.6	6.8	5.4	13.8	12.6
16～19歳	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	8.8	2.9	29.4	14.7
20～24歳	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	7.4	22.2
25～29歳	10.7	10.7	3.6	3.6	3.6	3.6	0.0	10.7	0.0	7.1	3.6	14.3	17.9
30～34歳	9.4	3.1	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	9.4	0.0	12.5	9.4	12.5	12.5
35～39歳	12.0	4.0	4.0	2.0	6.0	6.0	0.0	14.0	0.0	10.0	0.0	14.0	8.0
40～44歳	11.8	3.9	2.0	0.0	0.0	5.9	0.0	11.8	0.0	7.8	5.9	19.6	7.8
45～49歳	7.1	1.4	4.3	0.0	0.0	4.3	0.0	5.7	0.0	5.7	2.9	12.9	12.9
50～54歳	12.8	0.0	2.1	2.1	0.0	10.6	0.0	10.6	0.0	6.4	4.3	21.3	8.5
55～59歳	14.5	3.6	1.8	3.6	0.0	12.7	1.8	9.1	0.0	3.6	5.5	10.9	9.1
60～64歳	16.1	0.0	0.0	0.0	3.2	12.9	1.6	4.8	1.6	6.5	3.2	12.9	9.7
65～69歳	11.7	5.0	1.7	1.7	5.0	8.3	3.3	15.0	3.3	10.0	5.0	13.3	10.0
70～74歳	11.5	5.1	0.0	1.3	5.1	6.4	0.0	6.4	0.0	6.4	5.1	9.0	15.4
75歳以上	3.5	2.6	0.9	2.6	2.6	7.0	2.6	12.3	0.9	5.3	10.5	11.4	17.5

■地域別（②困ること）

地域別にみると、「志都美小学校区」「関屋小学校区」は「買い物や金融機関の利用等の利便性」の回答割合が全体の回答割合より低くなっています。また、「志都美小学校区」「関屋小学校区」「鎌田小学校区」「旭ヶ丘小学校区」は「交通機関の利便性」の回答割合が全体の回答割合より高くなっています。そして、「二上小学校区」「志都美小学校区」「旭ヶ丘小学校区」は「病院などの医療体制」の回答割合が全体の回答割合より低くなっています。

	買い物や金融機関の利用等の利便性	交通機関の利便性	道路など都市基盤の整備状況	就労・雇用の環境	通勤・通学の便	病院などの医療体制	住宅事情	治安	物価	災害への備え	子育ての支援や環境	教育環境	文化・スポーツ施設	福祉や介護の施設やサービス
全体	16.1	17.8	21.2	13.4	7.9	23.6	3.0	3.9	4.7	9.1	8.3	4.1	14.3	8.4
五位堂小学校区	7.8	9.1	31.2	13.0	3.9	28.6	5.2	3.9	2.6	10.4	16.9	3.9	16.9	15.6
下田小学校区	13.9	15.7	23.1	11.1	2.8	25.9	0.9	7.4	6.5	11.1	9.3	4.6	15.7	5.6
二上小学校区	15.5	15.5	12.7	14.1	12.7	8.5	4.2	5.6	9.9	8.5	9.9	4.2	12.7	4.2
志都美小学校区	24.1	31.5	29.6	11.1	11.1	14.8	3.7	3.7	3.7	9.3	5.6	3.7	20.4	9.3
関屋小学校区	52.6	22.8	29.8	7.0	12.3	26.3	3.5	1.8	1.8	15.8	1.8	5.3	7.0	7.0
三和小学校区	6.8	12.3	23.3	17.8	6.8	24.7	1.4	1.4	4.1	6.8	2.7	4.1	11.0	2.7
鎌田小学校区	7.0	18.6	23.3	18.6	7.0	30.2	0.0	2.3	7.0	11.6	16.3	2.3	14.0	9.3
真美ヶ丘東小学校区	11.8	11.8	10.5	17.1	3.9	35.5	6.6	1.3	5.3	6.6	6.6	0.0	14.5	11.8
真美ヶ丘西小学校区	14.5	9.7	8.1	14.5	6.5	25.8	1.6	1.6	6.5	4.8	3.2	3.2	14.5	8.1
旭ヶ丘小学校区	13.8	33.8	25.0	11.3	16.3	12.5	2.5	6.3	1.3	3.8	10.0	8.8	15.0	10.0

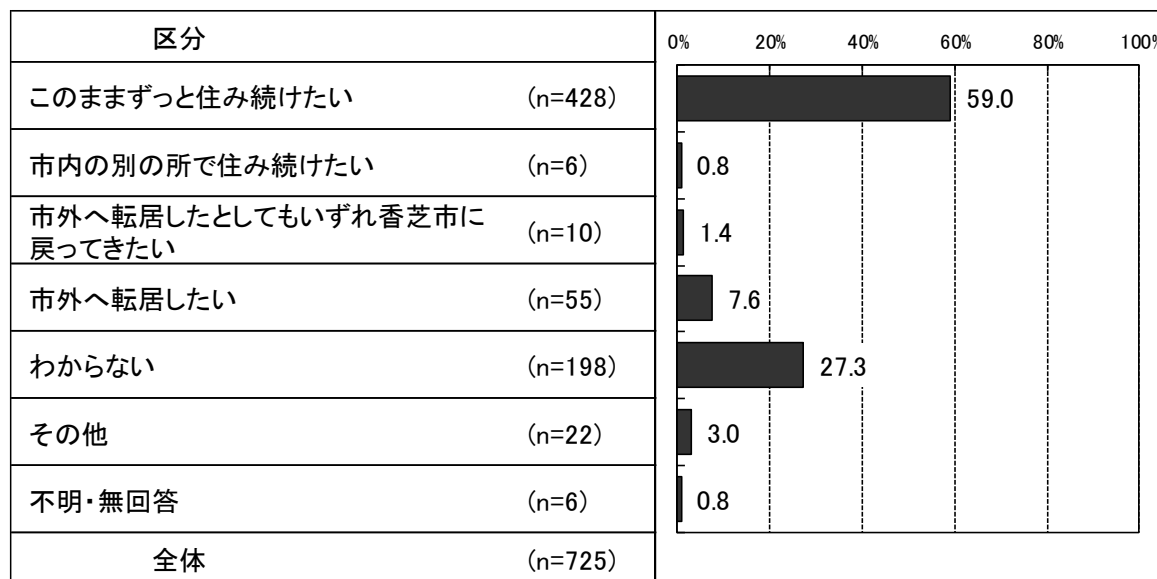
	行政サービス	まちなみや景観	気候	自然環境	地域の文化や伝統	近所づきあい	親や親戚が近くににいる	親や親戚が近くにいない	友人・知人が近くににいる	友人・知人が近くにいない	その他	特にな	不明・無回答
全体	9.4	3.0	1.8	1.4	2.3	6.9	1.0	9.0	0.6	6.8	5.4	13.8	12.6
五位堂小学校区	11.7	2.6	3.9	0.0	2.6	11.7	0.0	5.2	0.0	3.9	6.5	14.3	9.1
下田小学校区	6.5	1.9	0.0	0.9	0.0	5.6	0.0	5.6	0.9	1.9	2.8	13.0	11.1
二上小学校区	8.5	4.2	2.8	4.2	4.2	8.5	0.0	14.1	0.0	14.1	2.8	25.4	14.1
志都美小学校区	7.4	9.3	1.9	1.9	1.9	7.4	1.9	11.1	1.9	7.4	3.7	13.0	22.2
関屋小学校区	7.0	1.8	0.0	1.8	3.5	3.5	0.0	1.8	0.0	3.5	7.0	7.0	7.0
三和小学校区	5.5	2.7	2.7	0.0	1.4	5.5	0.0	13.7	0.0	8.2	6.8	12.3	17.8
鎌田小学校区	11.6	4.7	0.0	2.3	2.3	9.3	4.7	11.6	0.0	9.3	2.3	9.3	18.6
真美ヶ丘東小学校区	11.8	2.6	1.3	1.3	6.6	9.2	2.6	10.5	1.3	13.2	6.6	15.8	7.9
真美ヶ丘西小学校区	9.7	1.6	0.0	3.2	1.6	6.5	1.6	11.3	1.6	4.8	6.5	11.3	17.7
旭ヶ丘小学校区	15.0	1.3	3.8	0.0	0.0	5.0	1.3	7.5	0.0	5.0	5.0	12.5	6.3

問 6 あなたは、今後も香芝市に住み続けたいと思われますか。（1つに○）

「このままずっと住み続けたい」が 59.0%で最も多く、次いで「わからない」が 27.3%、「市外へ転居したい」が 7.6%で続いています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ「このままずっと住み続けたい」の回答割合が高くなっています。逆に、「わからない」では 16-39 歳で回答割合が高くなっています。

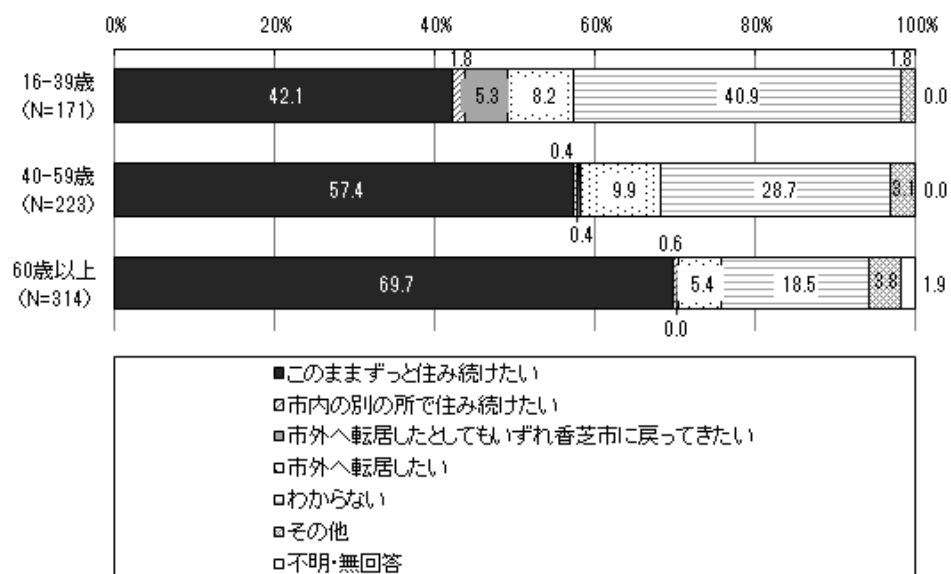
前回（H27）調査からの変化をみると、「このままずっと住み続けたい」は増加し、「わからない」は減少しています。



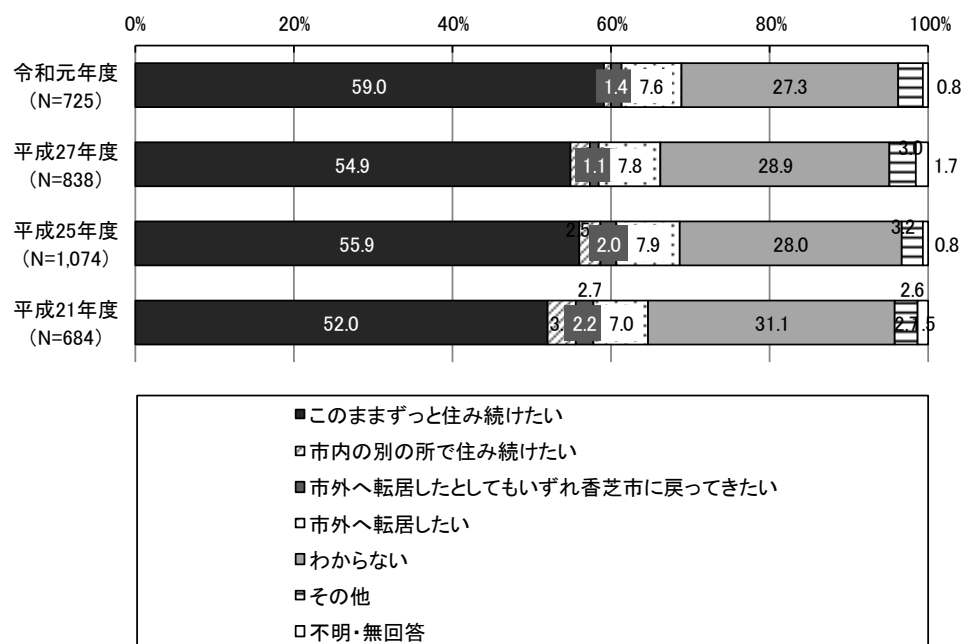
■「その他」の内容

内容	件数
帰郷する	4
ずっと住む	4
転居の可能性はある	2
高齢になったら駅の近くに転居	1
大阪へ転居	1
転居したいが、ずっといる	1
介護施設に行く	1

■年齢別



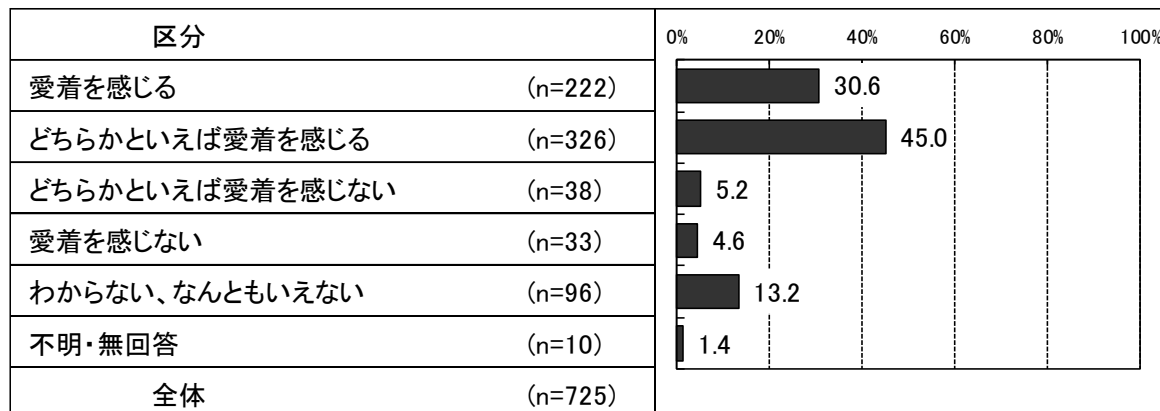
■過去（H21・H25・H27）調査からの変化



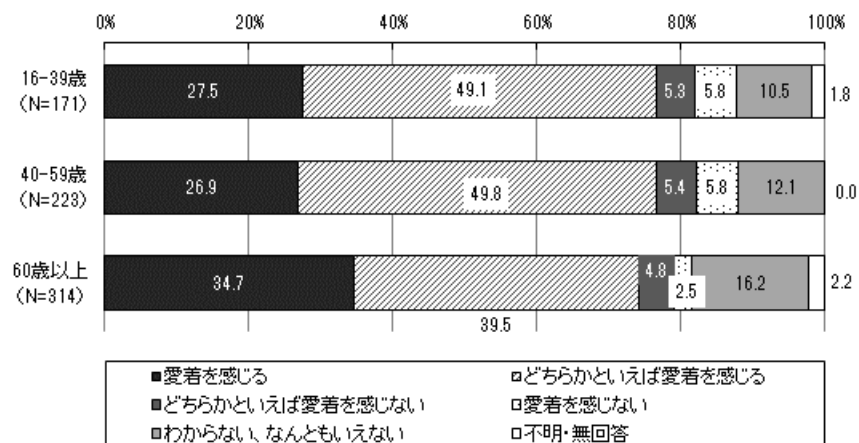
問 7 あなたは、香芝市に愛着を感じていますか。（1つに○）

「どちらかといえば愛着を感じる」が45.0%で最も多く、次いで「愛着を感じる」が30.6%、「わからない、なんともいえない」が13.2%が続いています。

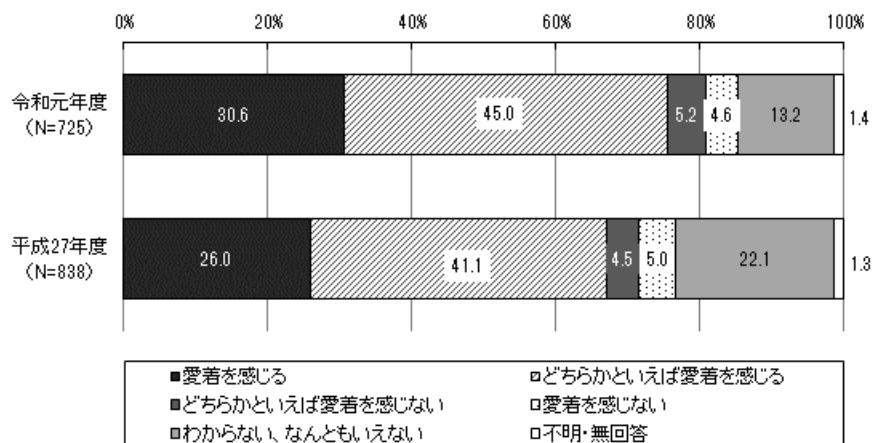
前回（H27）調査からの変化をみると、「愛着を感じる」「どちらかといえば愛着を感じる」は増加し、「愛着を感じない」「わからない、なんともいえない」は減少しています。



■年齢別



■前回（H27）調査からの変化

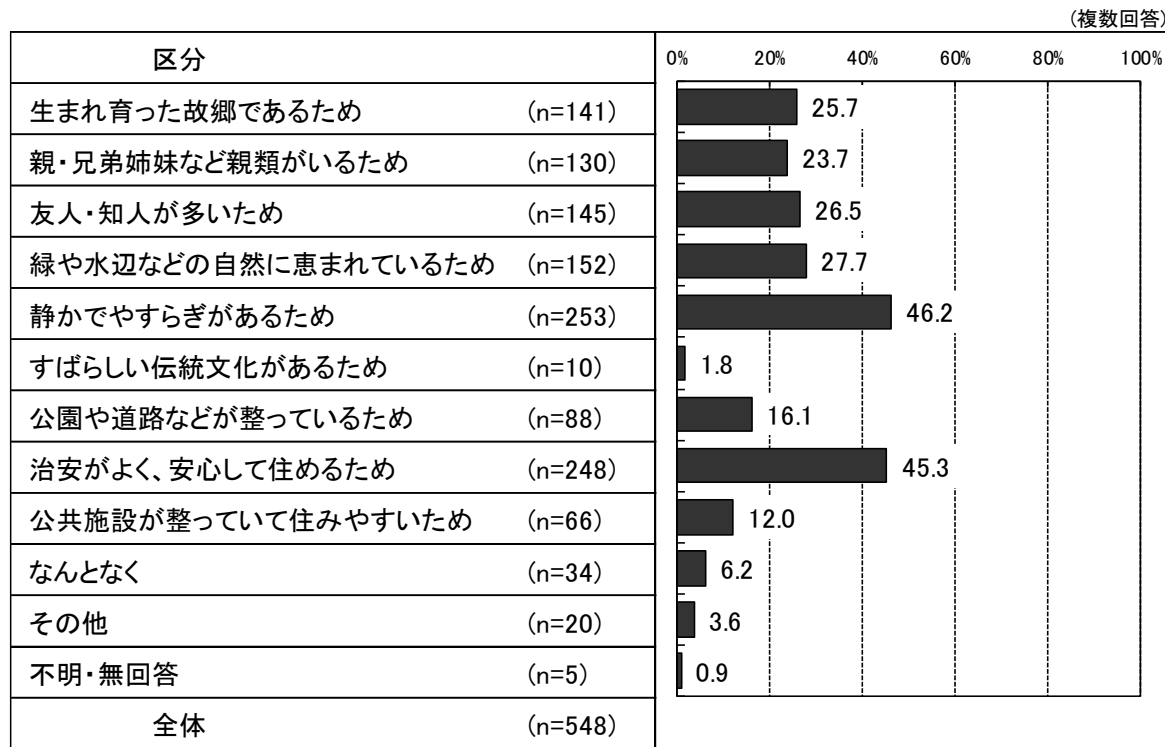


問 8 問 7 で「愛着を感じる」または「どちらかといえば愛着を感じる」に○をつけた方のみお答えください。

香芝市に愛着を感じる理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「静かでやすらぎがあるため」が 46.2%で最も多く、次いで「治安がよく、安心して住めるため」が 45.3%、「緑や水辺などの自然に恵まれているため」が 27.7%で続いています。

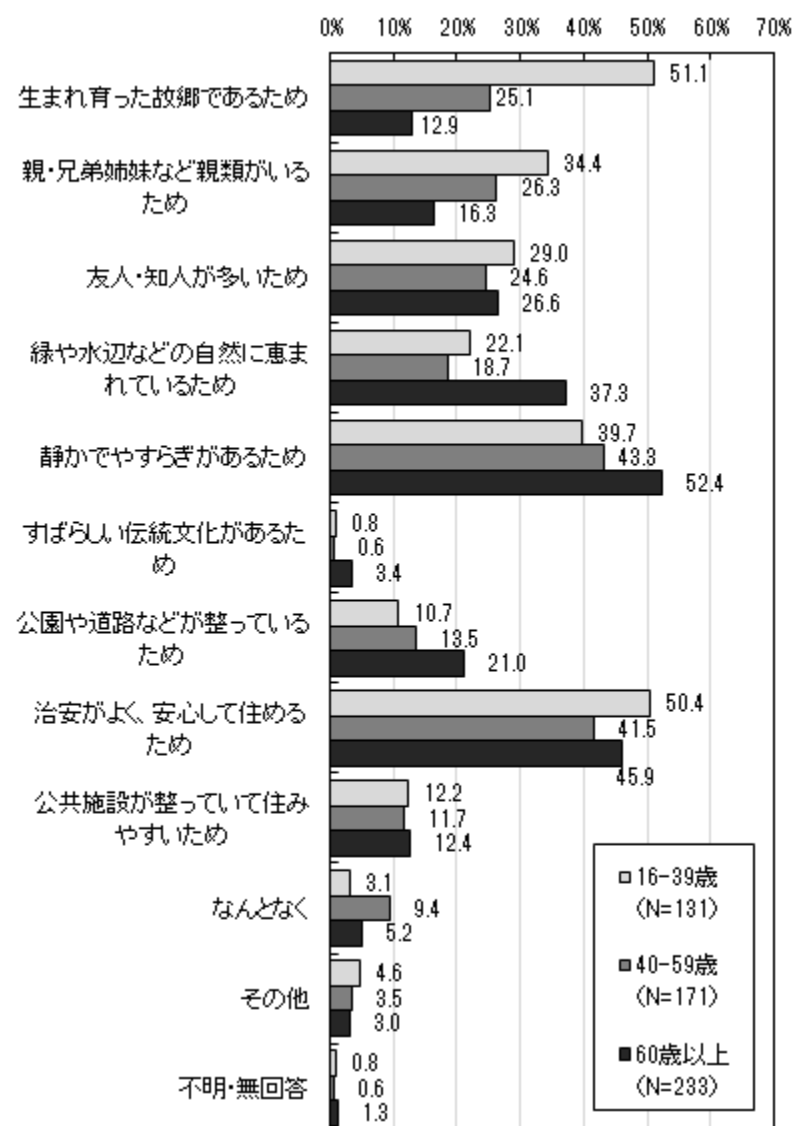
年齢別にみると、どの年齢も比較的高いのは「静かでやすらぎがあるため」や「治安がよく、安心して住めるため」です。



■「その他」の内容

内容	件数
長く住んでいるため	5
配偶者・子どもが生まれ育ったまちであるため	3
買い物が便利・交通の便がよい	2
家を購入したため	1
都会へ行きやすい	1
遺跡が多い	1
雰囲気がいい	1

■ 年齢別

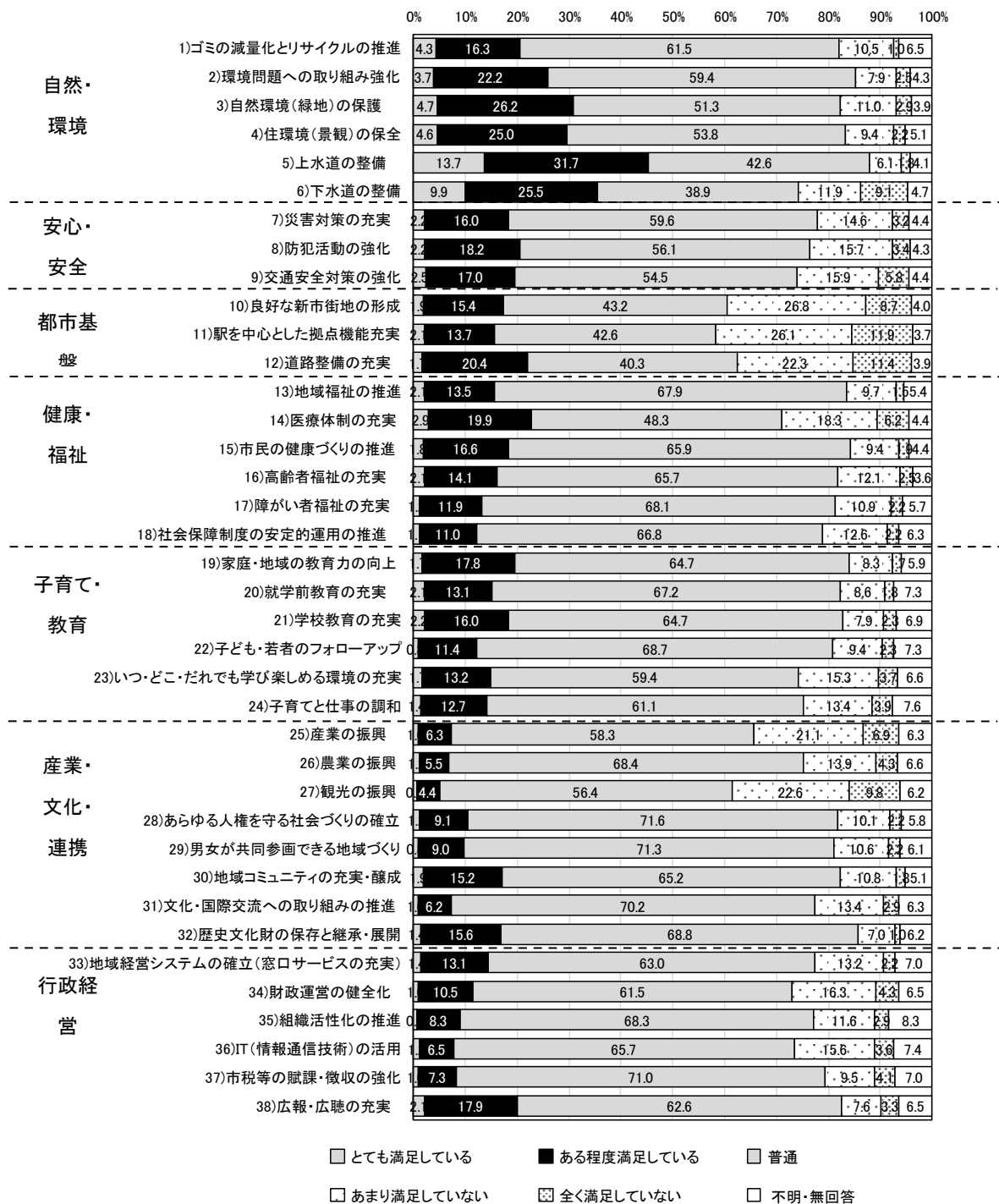


Ⅱ. 香芝市が取り組む施策の評価について

問 9 香芝市が取り組んでいる以下のそれぞれの施策について、①現在どの程度満足されていますか。②また、今後どのくらい重要な取組だと思いますか。それぞれについて、あなたの考えに近いもの1つに○をつけてください。

①現在の満足度

「とても満足」と「ある程度満足」の合計が最も高いのは「上水道の整備」、次いで「下水道の整備」「自然環境（緑地）の保護」が続いています。「あまり満足していない」と「全く満足していない」の合計が最も高いのは「駅を中心とした拠点機能充実」、次いで「良好な新市街地の形成」「道路整備の充実」が続いています。



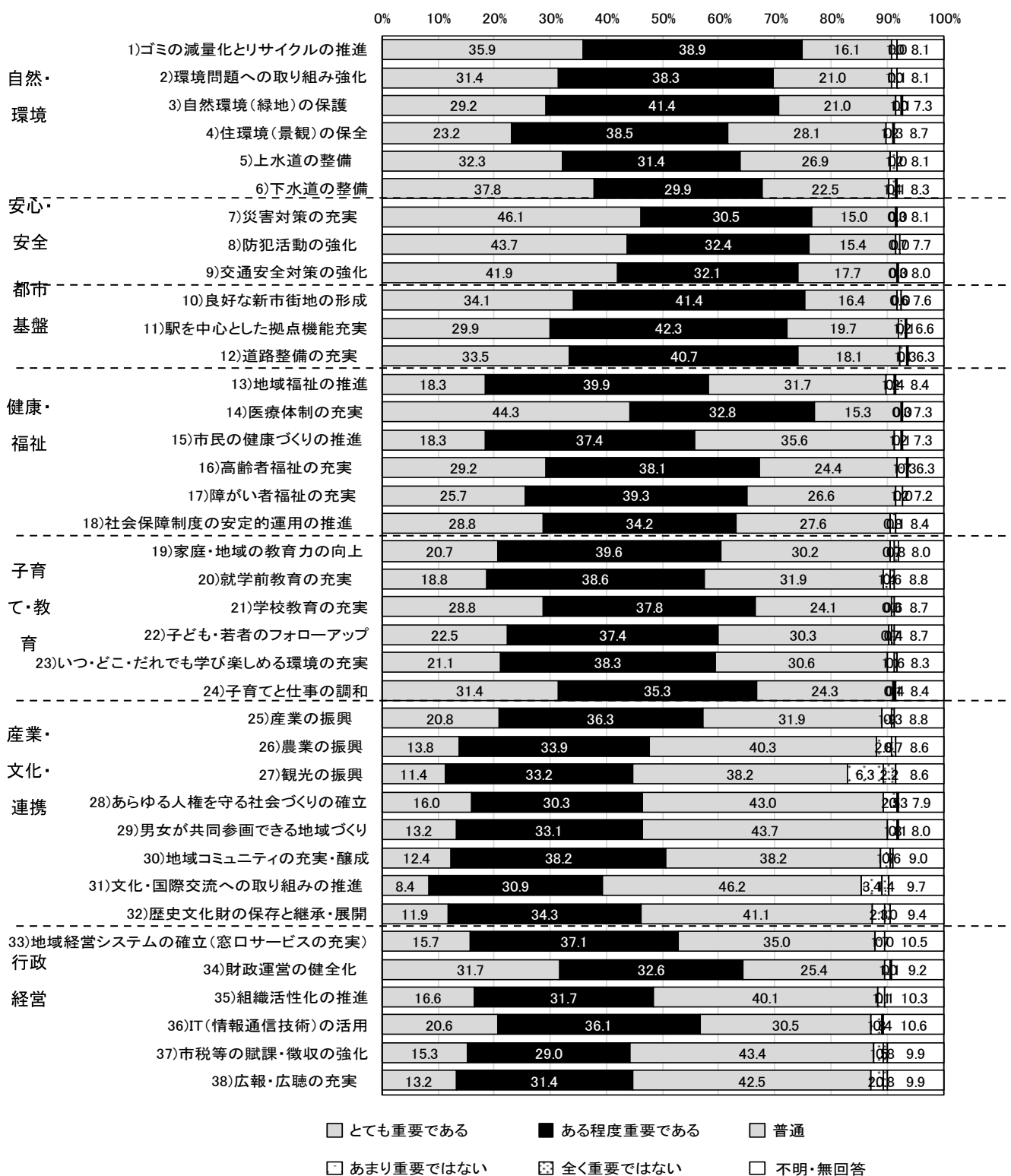
	とても満足している	ある程度満足している	普通	あまり満足していない	全く満足していない	不明・無回答	「満足している」の合計	前回調査（H27） 「満足している」の合計	「満足している」のポイント増減
1)ゴミの減量化とリサイクルの推進	4.3	16.3	61.5	10.5	1.0	6.5	20.6	35.6	↓
2)環境問題への取り組み強化	3.7	22.2	59.4	7.9	2.5	4.3	25.9	21.4	↑
3)自然環境（緑地）の保護	4.7	26.2	51.3	11.0	2.9	3.9	30.9	29.3	↑
4)住環境（景観）の保全	4.6	25.0	53.8	9.4	2.2	5.1	29.5	29.6	↓
5)上水道の整備	13.7	31.7	42.6	6.1	1.8	4.1	45.4	45.6	↓
6)下水道の整備	9.9	25.5	38.9	11.9	9.1	4.7	35.4	33.8	↑
7)災害対策の充実	2.2	16.0	59.6	14.6	3.2	4.4	18.2	15.6	↑
8)防犯活動の強化	2.2	18.2	56.1	15.7	3.4	4.3	20.4	17.0	↑
9)交通安全対策の強化	2.5	17.0	54.5	15.9	5.8	4.4	19.4	16.5	↑
10)良好な新市街地の形成	1.9	15.4	43.2	26.8	8.7	4.0	17.4	17.9	↓
11)駅を中心とした拠点機能充実	2.1	13.7	42.6	26.1	11.9	3.7	15.7	14.9	↑
12)道路整備の充実	1.7	20.4	40.3	22.3	11.4	3.9	22.1	20.0	↑
13)地域福祉の推進	2.1	13.5	67.9	9.7	1.5	5.4	15.6	14.2	↑
14)医療体制の充実	2.9	19.9	48.3	18.3	6.2	4.4	22.8	11.8	↑
15)市民の健康づくりの推進	1.8	16.6	65.9	9.4	1.9	4.4	18.3	14.0	↑
16)高齢者福祉の充実	2.1	14.1	65.7	12.1	2.5	3.6	16.1	13.2	↑
17)障がい者福祉の充実	1.2	11.9	68.1	10.9	2.2	5.7	13.1	10.7	↑
18)社会保障制度の安定的運用の推進	1.1	11.0	66.8	12.6	2.2	6.3	12.1	7.8	↑
19)家庭・地域の教育力の向上	1.7	17.8	64.7	8.3	1.7	5.9	19.4	15.1	↑
20)就学前教育の充実	2.1	13.1	67.2	8.6	1.8	7.3	15.2	11.5	↑
21)学校教育の充実	2.2	16.0	64.7	7.9	2.3	6.9	18.2	14.6	↑
22)子ども・若者のフォローアップ	0.8	11.4	68.7	9.4	2.3	7.3	12.3	8.7	↑
23)いつ・どこ・だれでも学び楽しめる環境の充実	1.7	13.2	59.4	15.3	3.7	6.6	14.9	14.0	↑
24)子育てと仕事の調和	1.4	12.7	61.1	13.4	3.9	7.6	14.1	9.7	↑
25)産業の振興	1.0	6.3	58.3	21.1	6.9	6.3	7.3	5.5	↑
26)農業の振興	1.2	5.5	68.4	13.9	4.3	6.6	6.8	6.3	↑
27)観光の振興	0.6	4.4	56.4	22.6	9.8	6.2	5.0	8.5	↓
28)あらゆる人権を守る社会づくりの確立	1.2	9.1	71.6	10.1	2.2	5.8	10.3	6.6	↑
29)男女が共同参画できる地域づくり	0.8	9.0	71.3	10.6	2.2	6.1	9.8	6.7	↑
30)地域コミュニティの充実・醸成	1.9	15.2	65.2	10.8	1.8	5.1	17.1	8.6	↑
31)文化・国際交流への取り組みの推進	1.0	6.2	70.2	13.4	2.9	6.3	7.2	5.4	↑
32)歴史文化財の保存と継承・展開	1.4	15.6	68.8	7.0	1.0	6.2	17.0	12.4	↑
33)地域経営システムの確立（窓口サービスの充実）	1.4	13.1	63.0	13.2	2.2	7.0	14.5	14.4	↑
34)財政運営の健全化	1.0	10.5	61.5	16.3	4.3	6.5	11.4	7.5	↑
35)組織活性化の推進	0.7	8.3	68.3	11.6	2.9	8.3	9.0	6.4	↑
36)IT（情報通信技術）の活用	1.2	6.5	65.7	15.6	3.6	7.4	7.7	6.8	↑
37)市税等の賦課・徴収の強化	1.0	7.3	71.0	9.5	4.1	7.0	8.3	8.5	↓
38)広報・広聴の充実	2.1	17.9	62.6	7.6	3.3	6.5	20.0	18.2	↑

■満足度ランキング

順位	施策分野	「満足している」の合計
1位	5)上水道の整備	45.4
2位	6)下水道の整備	35.4
3位	3)自然環境(緑地)の保護	30.9
4位	4)住環境(景観)の保全	29.5
5位	2)環境問題への取り組み強化	25.9
6位	14)医療体制の充実	22.8
7位	12)道路整備の充実	22.1
8位	1)ゴミの減量化とリサイクルの推進	20.6
9位	8)防犯活動の強化	20.4
10位	38)広報・広聴の充実	20.0
11位	9)交通安全対策の強化	19.4
12位	19)家庭・地域の教育力の向上	19.4
13位	15)市民の健康づくりの推進	18.3
14位	7)災害対策の充実	18.2
15位	21)学校教育の充実	18.2
16位	10)良好な新市街地の形成	17.4
17位	30)地域コミュニティの充実・醸成	17.1
18位	32)歴史文化財の保存と継承・展開	17.0
19位	16)高齢者福祉の充実	16.1
20位	11)駅を中心とした拠点機能充実	15.7
21位	13)地域福祉の推進	15.6
22位	20)就学前教育の充実	15.2
23位	23)いつ・どこ・だれでも学び楽しめる環境の充実	14.9
24位	33)地域経営システムの確立(窓口サービスの充実)	14.5
25位	24)子育てと仕事の調和	14.1
26位	17)障がい者福祉の充実	13.1
27位	22)子ども・若者のフォローアップ	12.3
28位	18)社会保障制度の安定的運用の推進	12.1
29位	34)財政運営の健全化	11.4
30位	28)あらゆる人権を守る社会づくりの確立	10.3
31位	29)男女が共同参画できる地域づくり	9.8
32位	35)組織活性化の推進	9.0
33位	37)市税等の賦課・徴収の強化	8.3
34位	36)IT(情報通信技術)の活用	7.7
35位	25)産業の振興	7.3
36位	31)文化・国際交流への取り組みの推進	7.2
37位	26)農業の振興	6.8
38位	27)観光の振興	5.0

②今後の重要度

「とても重要である」と「ある程度重要である」の合計が最も高いのは「医療体制の充実」、次いで「災害対策の充実」「防犯活動の強化」が続いています。「あまり重要ではない」と「全く重要ではない」の合計が最も高いのは「観光の振興」、次いで「文化・国際交流への取り組みの推進」「農業の振興」が続いています。



	とても重要である	ある程度重要である	普通	あまり重要ではない	全く重要ではない	不明・無回答	「重要である」の合計	前回調査（H27） 「重要である」の合計	「重要である」のポイント増減
1)ゴミの減量化とリサイクルの推進	35.9	38.9	16.1	1.0	0.0	8.1	74.8	71.6	↗
2)環境問題への取り組み強化	31.4	38.3	21.0	1.0	0.1	8.1	69.8	68.8	↗
3)自然環境（緑地）の保護	29.2	41.4	21.0	1.0	0.1	7.3	70.6	69.0	↗
4)住環境（景観）の保全	23.2	38.5	28.1	1.2	0.3	8.7	61.7	61.9	↘
5)上水道の整備	32.3	31.4	26.9	1.2	0.0	8.1	63.7	63.2	↗
6)下水道の整備	37.8	29.9	22.5	1.4	0.1	8.3	67.7	68.4	↘
7)災害対策の充実	46.1	30.5	15.0	0.3	0.0	8.1	76.6	73.8	↗
8)防犯活動の強化	43.7	32.4	15.4	0.7	0.0	7.7	76.1	79.2	↘
9)交通安全対策の強化	41.9	32.1	17.7	0.3	0.0	8.0	74.1	76.6	↘
10)良好な新市街地の形成	34.1	41.4	16.4	0.6	0.0	7.6	75.4	69.7	↗
11)駅を中心とした拠点機能充実	29.9	42.3	19.7	1.2	0.1	6.6	72.3	68.7	↗
12)道路整備の充実	33.5	40.7	18.1	1.1	0.3	6.3	74.2	71.9	↗
13)地域福祉の推進	18.3	39.9	31.7	1.2	0.4	8.4	58.2	52.8	↗
14)医療体制の充実	44.3	32.8	15.3	0.3	0.0	7.3	77.1	79.0	↘
15)市民の健康づくりの推進	18.3	37.4	35.6	1.2	0.1	7.3	55.7	54.7	↗
16)高齢者福祉の充実	29.2	38.1	24.4	1.7	0.3	6.3	67.3	65.2	↗
17)障がい者福祉の充実	25.7	39.3	26.6	1.2	0.0	7.2	65.0	62.0	↗
18)社会保障制度の安定的運用の推進	28.8	34.2	27.6	0.8	0.1	8.4	63.0	62.2	↗
19)家庭・地域の教育力の向上	20.7	39.6	30.2	0.7	0.8	8.0	60.3	58.3	↗
20)就学前教育の充実	18.8	38.6	31.9	1.4	0.6	8.8	57.4	54.7	↗
21)学校教育の充実	28.8	37.8	24.1	0.0	0.6	8.7	66.6	62.2	↗
22)子ども・若者のフォローアップ	22.5	37.4	30.3	0.7	0.4	8.7	59.9	56.8	↗
23)いつ・どこ・だれでも学び楽しめる環境の充実	21.1	38.3	30.6	1.1	0.6	8.3	59.4	55.0	↗
24)子育てと仕事の調和	31.4	35.3	24.3	0.1	0.4	8.4	66.8	64.8	↗
25)産業の振興	20.8	36.3	31.9	1.9	0.3	8.8	57.1	53.5	↗
26)農業の振興	13.8	33.9	40.3	2.8	0.7	8.6	47.7	44.7	↗
27)観光の振興	11.4	33.2	38.2	6.3	2.2	8.6	44.7	42.8	↗
28)あらゆる人権を守る社会づくりの確立	16.0	30.3	43.0	2.5	0.3	7.9	46.3	40.2	↗
29)男女が共同参画できる地域づくり	13.2	33.1	43.7	1.8	0.1	8.0	46.3	37.0	↗
30)地域コミュニティの充実・醸成	12.4	38.2	38.2	1.7	0.6	9.0	50.6	40.8	↗
31)文化・国際交流への取り組みの推進	8.4	30.9	46.2	3.4	1.4	9.7	39.3	33.9	↗
32)歴史文化財の保存と継承・展開	11.9	34.3	41.1	2.3	1.0	9.4	46.2	44.2	↗
33)地域経営システムの確立（窓口サービスの充実）	15.7	37.1	35.0	1.7	0.0	10.5	52.8	50.4	↗
34)財政運営の健全化	31.7	32.6	25.4	1.0	0.1	9.2	64.3	60.4	↗
35)組織活性化の推進	16.6	31.7	40.1	1.1	0.1	10.3	48.3	45.0	↗
36)IT（情報通信技術）の活用	20.6	36.1	30.5	1.8	0.4	10.6	56.7	46.6	↗
37)市税等の賦課・徴収の強化	15.3	29.0	43.4	1.5	0.8	9.9	44.3	46.1	↘
38)広報・広聴の充実	13.2	31.4	42.5	2.1	0.8	9.9	44.7	44.5	↗

■重要度ランキング

順位	施策分野	「重要である」の合計
1位	14)医療体制の充実	77.1
2位	7)災害対策の充実	76.6
3位	8)防犯活動の強化	76.1
4位	10)良好な新市街地の形成	75.4
5位	1)ゴミの減量化とリサイクルの推進	74.8
6位	12)道路整備の充実	74.2
7位	9)交通安全対策の強化	74.1
8位	11)駅を中心とした拠点機能充実	72.3
9位	3)自然環境(緑地)の保護	70.6
10位	2)環境問題への取り組み強化	69.8
11位	6)下水道の整備	67.7
12位	16)高齢者福祉の充実	67.3
13位	24)子育てと仕事の調和	66.8
14位	21)学校教育の充実	66.6
15位	17)障がい者福祉の充実	65.0
16位	34)財政運営の健全化	64.3
17位	5)上水道の整備	63.7
18位	18)社会保障制度の安定的運用の推進	63.0
19位	4)住環境(景観)の保全	61.7
20位	19)家庭・地域の教育力の向上	60.3
21位	22)子ども・若者のフォローアップ	59.9
22位	23)いつ・どこ・だれでも学び楽しめる環境の充実	59.4
23位	13)地域福祉の推進	58.2
24位	20)就学前教育の充実	57.4
25位	25)産業の振興	57.1
26位	36)IT(情報通信技術)の活用	56.7
27位	15)市民の健康づくりの推進	55.7
28位	33)地域経営システムの確立(窓口サービスの充実)	52.8
29位	30)地域コミュニティの充実・醸成	50.6
30位	35)組織活性化の推進	48.3
31位	26)農業の振興	47.7
32位	28)あらゆる人権を守る社会づくりの確立	46.3
33位	29)男女が共同参画できる地域づくり	46.3
34位	32)歴史文化財の保存と継承・展開	46.2
35位	27)観光の振興	44.7
36位	38)広報・広聴の充実	44.7
37位	37)市税等の賦課・徴収の強化	44.3
38位	31)文化・国際交流への取り組みの推進	39.3

■スコアの算出方法

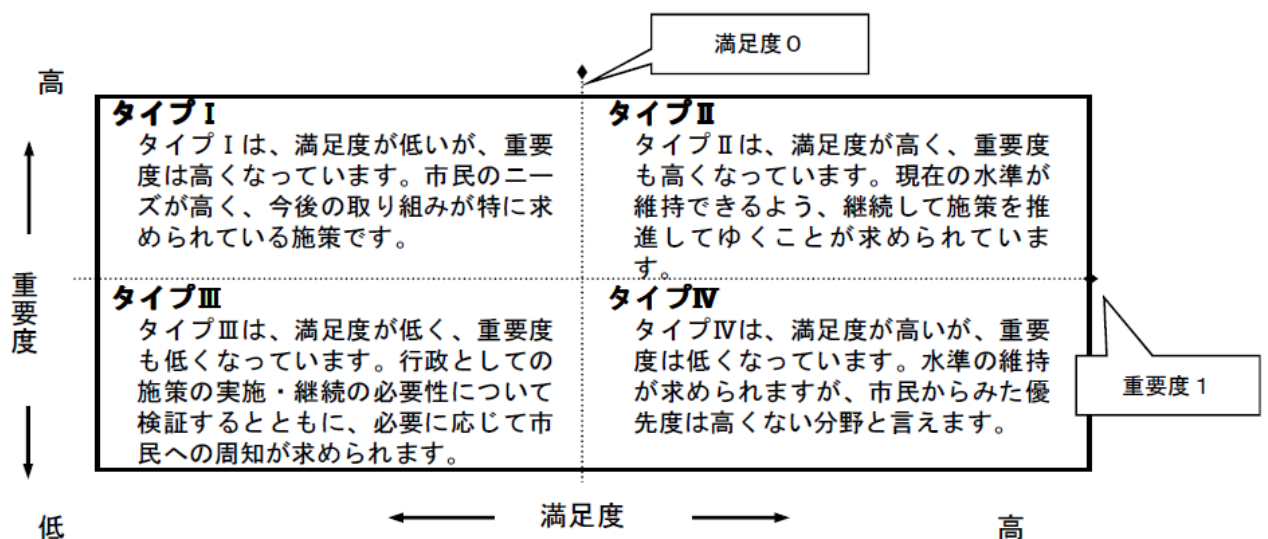
各施策に対する市民の評価を得点化し、満足度スコアと重要度スコアの2つの指標に集約することで、市民からみた施策の位置づけを示すとともに、前回調査との比較を行います。得点化の方法は以下のとおりです。

回答肢	満足度	全く満足していない	あまり満足していない	普通	ある程度満足している	とても満足している
	重要度	全く重要ではない	あまり重要ではない	普通	ある程度重要である	とても重要である
スコア値		−2点	−1点	0点	+1点	+2点

各回答を上表に基づいて得点化し、施策ごとに平均点を算出することで、各施策の満足度スコア、重要度スコアを算出します。算出にあたっては不明・無回答を除いています。

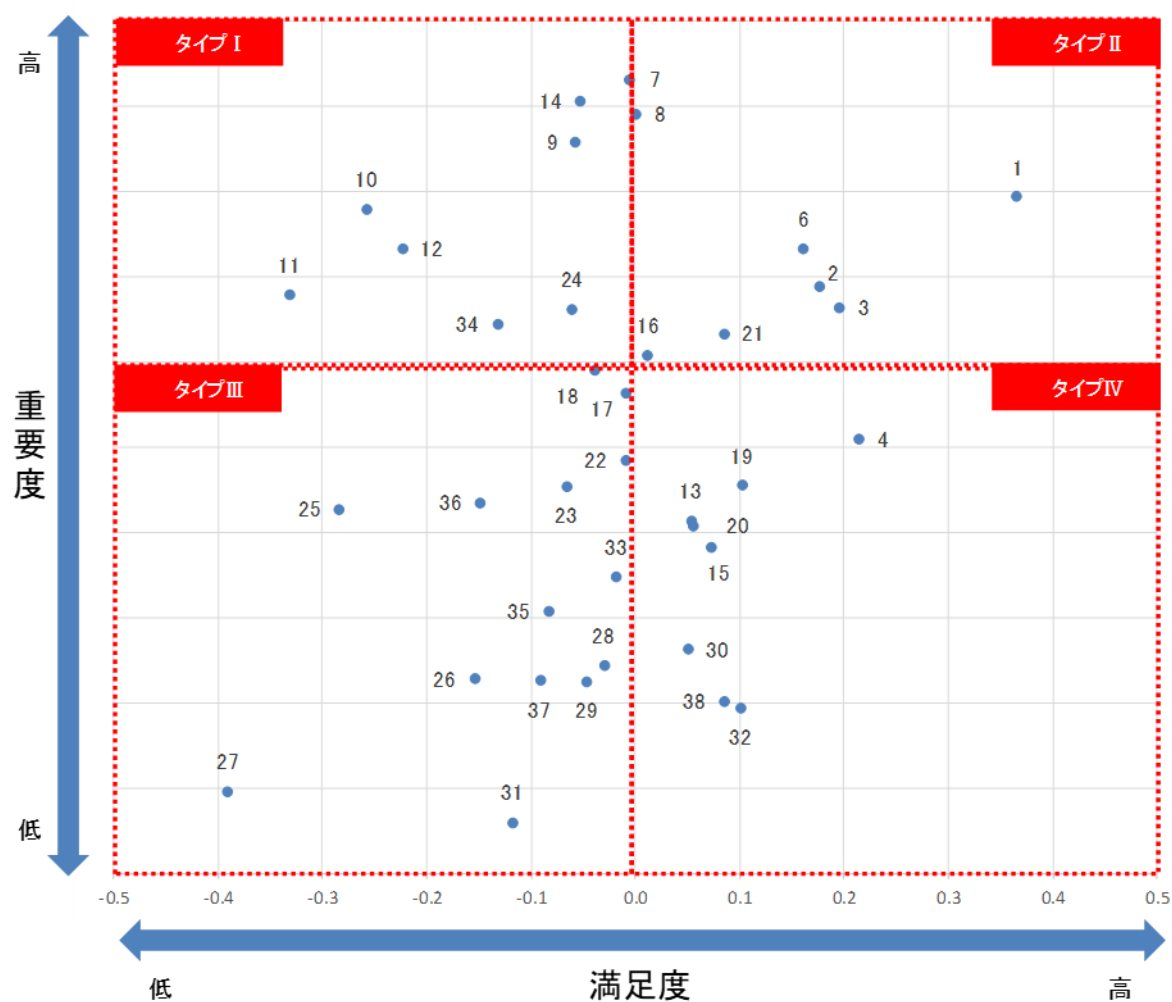
得られた2つのスコアに基づき、「満足度0」、「重要度1」を基準として、それぞれのスコア値を4つの象限に分類することで、市民からの評価に基づく各施策の位置づけを示すことができます。なお、重要度スコアの基準を「0（ゼロ）」としていないのは、重要度については「全く重要ではない」、「あまり重要ではない」という回答が全体的に少なく、「0」を基準にするとすべての施策がプラスの象限に含まれてしまうことによります。

2つのスコアによって位置づけられたそれぞれの施策は、象限によって以下のように分類されます。



■スコア分類

市民の満足度が低く、重要度が高い施策は、市民が最優先に考える施策と考えられます。本調査結果では、「14)医療体制の充実」「9)交通安全対策の強化」「10)良好な新市街地の形成」「12)道路整備の充実」「11)駅を中心とした拠点機能充実」「24)子育てと仕事の調和」「34)財政運営の健全化」が該当します。



注) 表中の番号は「施策分野」に付している番号を指す。

■満足度・重要度のスコア一覧

政策	タイプ別	施策	満足度スコア	重要度スコア
自然・環境	II	1) ゴミの減量化とリサイクルの推進	0.36	1.19
	II	2) 環境問題への取り組み強化	0.18	1.09
	II	3) 自然環境(緑地)の保護	0.20	1.06
	IV	4) 住環境(景観)の保全	0.21	0.91
	II	5) 上水道の整備	0.52	1.03
	II	6) 下水道の整備	0.16	1.13
安心・安全	II	7) 災害対策の充実	-0.01	1.33
	II	8) 防犯活動の強化	0.00	1.29
	I	9) 交通安全対策の強化	-0.06	1.26
都市基盤	I	10) 良好な新市街地の形成	-0.26	1.18
	I	11) 駅を中心とした拠点機能充実	-0.33	1.08
	I	12) 道路整備の充実	-0.22	1.13
健康・福祉	IV	13) 地域福祉の推進	0.05	0.81
	I	14) 医療体制の充実	-0.05	1.31
	IV	15) 市民の健康づくりの推進	0.07	0.78
	II	16) 高齢者福祉の充実	0.01	1.01
	IV	17) 障がい者福祉の充実	-0.01	0.96
	III	18) 社会保障制度の安定的運用の推進	-0.04	0.99
子育て・教育	IV	19) 家庭・地域の教育力の向上	0.10	0.85
	IV	20) 就学前教育の充実	0.06	0.81
	II	21) 学校教育の充実	0.08	1.03
	III	22) 子ども・若者のフォローアップ	-0.01	0.89
	III	23) いつ・どこ・だれでも学び楽しめる環境の充実	-0.07	0.85
	I	24) 子育てと仕事の調和	-0.06	1.06
産業・文化・連携	III	25) 産業の振興	-0.28	0.83
	III	26) 農業の振興	-0.16	0.63
	III	27) 観光の振興	-0.39	0.50
	III	28) あらゆる人権を守る社会づくりの確立	-0.03	0.64
	III	29) 男女が共同参画できる地域づくり	-0.05	0.63
	IV	30) 地域コミュニティの充実・醸成	0.05	0.66
	III	31) 文化・国際交流への取り組みの推進	-0.12	0.46
	IV	32) 歴史文化財の保存と継承・展開	0.10	0.59
行政経営	III	33) 地域経営システムの確立(窓口サービスの充実)	-0.02	0.75
	I	34) 財政運営の健全化	-0.13	1.04
	III	35) 組織活性化の推進	-0.08	0.71
	III	36) IT(情報通信技術)の活用	-0.15	0.83
	III	37) 市税等の賦課・徴収の強化	-0.09	0.63
	IV	38) 広報・広聴の充実	0.08	0.60

■政策別にみた分析と過去の調査との比較

①自然・環境

満足度が高く、重要度も高いタイプⅡに分類される施策が多くなっています。

過去の調査と比較すると、満足度が上昇している項目が多く、重要度は長期的に下がってきている施策が多く、施策の充実とともに市民の問題意識も下がってきていることがうかがえます。

	施策名	満足度スコア					重要度スコア				
		H17	H21	H25	H27	R1	H17	H21	H25	H27	R1
1	ゴミの減量化とリサイクルの推進※1	0.04	0.17	0.28	0.33	0.36	1.37	1.40	1.16	1.08	1.19
2	環境問題への取り組み強化※2	-0.09	-0.08	0.06	0.12	0.18	1.30	1.34	1.15	1.05	1.09
3	自然環境(緑地)の保護	—	—	0.03	0.17	0.20	—	—	1.14	1.08	1.06
4	住環境(景観)の保全	—	—	0.10	0.22	0.21	—	—	0.93	0.88	0.91
5	上水道の整備	0.56	0.52	0.46	0.50	0.52	0.97	1.09	0.98	1.01	1.03
6	下水道の整備	-0.16	-0.09	0.06	0.05	0.16	1.19	1.24	1.15	1.13	1.13
参考	自然の保護・再生	-0.06	-0.01	—	—	—	1.27	1.15	—	—	—
参考	公園緑地の整備	-0.09	-0.07	—	—	—	1.19	1.00	—	—	—

※1 平成17年・21年調査項目名は「ごみ処理やリサイクル問題への対応」

※2 平成17年・21年調査項目名は「地球に優しい環境への配慮(地球環境への配慮)」

②安全・安心

いずれの施策も、満足度が中程度で重要度が高く、タイプⅠ、タイプⅡに分類されます。市民のニーズが高い分野といえます。いずれの施策についても、満足度は徐々に上昇しています。重要度は横ばいもしくは微減となっています。以前ニーズは高いものの、市の取り組みが徐々に評価されていることがうかがえます。

	施策名	満足度スコア					重要度スコア				
		H17	H21	H25	H27	R1	H17	H21	H25	H27	R1
7	災害対策の充実※3	-0.21	-0.09	-0.14	-0.02	-0.01	1.38	1.37	1.35	1.25	1.33
8	防犯活動の強化※4	-0.46	-0.16	-0.12	-0.09	0.00	1.50	1.39	1.32	1.36	1.29
9	交通安全対策の強化※5	-0.42	-0.17	-0.13	-0.11	-0.06	1.39	1.27	1.23	1.28	1.26

※3 平成17年・21年調査項目名は「防災体制の充実」

※4 平成17年・21年調査項目名は「防犯体制の充実」

※5 平成17年・21年調査項目名は「交通安全対策の充実」

③都市基盤

満足度が低く、重要度の高いタイプⅡに分類される施策が多くなっています。

過去の調査と比較すると、満足度・重要度共にほぼ横ばいとなっており、引き続き市民ニーズが高く、施策の充実が求められる政策分野となっています。

	施策名	満足度スコア					重要度スコア				
		H17	H21	H25	H27	R1	H17	H21	H25	H27	R1
10	良好な新市街地の形成 (公共バス・バリアフリー等)	—	—	-0.30	-0.20	-0.26	—	—	1.07	1.05	1.18
11	駅を中心とした拠点機能充実※ ⁶	-0.47	-0.43	-0.37	0.36	-0.33	1.06	0.90	1.00	1.02	1.08
12	道路整備の充実	—	—	-0.23	-0.22	-0.22	—	—	1.04	1.11	1.13
参考	公共交通の整備・充実(鉄道)	0.16	0.06	—	—	—	1.03	0.96	—	—	—
参考	公共交通の整備・充実(バス)	-0.37	-0.37	—	—	—	1.00	0.93	—	—	—
参考	駅前再開発や駅を中心とした 拠点機能の充実	-0.47	-0.43	—	—	—	1.06	0.90	—	—	—
参考	主要幹線道路の整備	-0.44	-0.24	—	—	—	1.15	0.97	—	—	—
参考	バリアフリーのまちづくりの推進	-0.60	-0.41	—	—	—	1.26	1.10	—	—	—

※⁶ 平成 17 年・21 年調査項目名は「駅前再開発や駅を中心とした拠点機能の充実」

④健康・福祉

満足度、重要度ともに、中程度に集まっており、タイプⅢ、Ⅳに分類される施策が多くなっています。そのなかで「医療体制の充実」の重要度が高くタイプⅠになっています。

	施策名	満足度スコア					重要度スコア				
		H17	H21	H25	H27	R1	H17	H21	H25	H27	R1
13	地域福祉の推進(ボランティア推進・生きがいづくり等)	—	—	0.00	0.03	0.05	—	—	0.74	0.71	0.81
14	医療体制の充実 ※ ⁷	-0.04	-0.15	-0.31	-0.40	-0.05	1.26	1.35	1.41	1.39	1.31
15	市民の健康づくりの推進	—	—	0.00	0.03	0.07	—	—	0.79	0.77	0.78
16	高齢者福祉の充実	0.10	-0.11	-0.06	-0.03	0.01	1.35	1.31	1.04	1.03	1.01
17	障害者福祉の充実	-0.02	-0.10	-0.07	-0.04	-0.01	1.25	1.16	0.94	0.96	0.96
18	社会保障制度の安定的運用の 推進	—	—	-0.13	-0.12	-0.04	—	—	1.04	1.00	0.99
参考	検診や健康相談等の保健サ ービスの充実	0.13	0.04	—	—	—	1.21	1.10	—	—	—
参考	夜間・休日・事故などの救急 医療体制の充実	-0.39	-0.43	—	—	—	1.51	1.54	—	—	—

※⁷ 平成 17 年・21 年調査項目名は「日常の医療体制の充実」

⑤子育て・教育

「学校教育の充実」については、満足度が上がってきており、それに伴って重要度がやや下がってきています。「就学前教育の充実」、「子ども・若者のフォローアップ」や、前回調査までの施策評価を見ても、全体的に子育て・教育に関する施策については、重要度スコアが微減傾向となっています。市民の年齢構成の高齢化が影響している可能性もあります。

	施策名	満足度スコア					重要度スコア				
		H17	H21	H25	H27	R1	H17	H21	H25	H27	R1
19	家庭・地域の教育力の向上	—	—	-0.02	0.02	0.10	—	—	0.93	0.90	0.85
20	就学前教育の充実※8	-0.05	-0.05	-0.04	-0.06	0.06	1.16	0.91	0.81	1.03	0.81
21	学校教育の充実	-0.12	-0.07	-0.04	0.01	0.08	1.31	1.19	1.11	1.03	1.03
22	子ども・若者のフォローアップ (青少年の健全育成)	-0.18	-0.09	-0.12	-0.08	-0.01	1.23	0.94	0.94	0.90	0.89
23	「だれでも・どこでも・いつでも」学び、楽しめる環境の充実(生涯学習・スポーツ)	—	—	-0.13	-0.07	-0.07	—	—	0.83	0.77	0.85
24	子育てと仕事の調和 (保育サービス・子育て支援)	—	—	-0.15	-0.17	-0.06	—	—	1.02	1.05	1.06
参考	保育所サービスの充実	0.02	-0.06	—	—	—	1.08	1.07	—	—	—
参考	学童保育サービスの充実	-0.06	-0.08	—	—	—	1.07	1.03	—	—	—
参考	子どもを巡る安全な生活環境の整備	-0.28	-0.08	—	—	—	1.44	1.31	—	—	—
参考	ひとり親家庭の子育て支援	-0.16	-0.09	—	—	—	1.05	0.90	—	—	—

※8 平成17年・21年調査項目名は「幼児教育の充実」

⑥産業・文化・連携

満足度・重要度が共に低いタイプⅢに分類される施策が多くなっています。「観光の振興」は満足度、重要度満足度・重要度ともに過去の調査との比較では概ね横ばいのものが多くなっていますが、「産業の振興」は満足度、重要度ともに低くなっていますが、やや上昇傾向で推移しています。

	施策名	満足度スコア					重要度スコア				
		H17	H21	H25	H27	R1	H17	H21	H25	H27	R1
25	産業の振興※ ⁹	-0.30	-0.27	-0.38	-0.31	-0.28	0.72	0.64	0.91	0.80	0.83
26	農業の振興	-0.23	-0.20	-0.19	-0.18	-0.16	0.55	0.62	0.66	0.63	0.63
27	観光の振興	-0.53	-0.34	-0.40	-0.41	-0.39	0.44	0.37	0.53	0.53	0.50
28	あらゆる人権を守る社会づくりの確立※ ¹⁰	-0.01	-0.06	-0.05	-0.07	-0.03	0.76	0.52	0.64	0.57	0.64
29	男女が共同参画できる地域づくり※ ¹¹	-0.04	-0.07	-0.04	-0.06	-0.05	0.80	0.52	0.50	0.47	0.63
30	地域コミュニティの充実・醸成	—	—	-0.07	-0.04	0.05	—	—	0.58	0.53	0.66
31	文化・国際交流への取り組みの推進	—	—	-0.16	-0.14	-0.12	—	—	0.43	0.37	0.46
32	歴史文化財の保存と継承・展開	0.22	0.02	0.06	0.02	0.10	0.70	0.57	0.63	0.58	0.59
参考	地域の特性を活かした個性豊かな地域づくり(新しい地域文化の創造)	-0.05	-0.16	—	—	—	0.60	0.57	—	—	—

※⁹ 平成 17 年・21 年調査項目名は「商工業の振興」

※¹⁰ 平成 17 年・21 年調査項目名は「あらゆる人権を守る社会づくりと意識啓発」

※¹¹ 平成 17 年・21 年調査項目名は「男女がともに認め合い社会に共同参画できる地域づくり」

⑦行政経営

満足度・重要度ともに低いタイプⅢに位置づけられる施策が多くなっていますが、「財政運営の健全化」については満足度が低い一方で重要度が高くなっています。「地域経営システムの確立」については、満足度がやや上昇している一方で、重要度は減少しています。

	施策名	満足度スコア					重要度スコア				
		H17	H21	H25	H27	R1	H17	H21	H25	H27	R1
33	地域経営システムの確立※ ¹² (窓口サービスの充実)	-0.14	-0.05	-0.06	-0.02	-0.02	1.20	1.01	0.72	0.72	0.75
34	財政運営の健全化	—	—	-0.36	-0.23	-0.13	—	—	1.15	1.11	1.04
35	組織活性化の推進	—	—	-0.18	-0.11	-0.08	—	—	0.75	0.67	0.71
36	IT(情報通信技術)の活用	—	—	-0.18	-0.10	-0.15	—	—	0.70	0.64	0.83
37	市税等の賦課・徴収の強化	—	—	-0.14	-0.10	-0.09	—	—	0.69	0.64	0.63
38	広報・広聴の充実	—	—	0.06	0.10	0.08	—	—	0.59	0.60	0.60
参考	情報通信基盤の整備	-0.21	-0.11	—	—	—	1.02	0.67	—	—	—
参考	行政の透明性の向上	-0.41	-0.30	—	—	—	1.23	1.09	—	—	—

※¹² 平成 17 年・21 年調査項目名は「市役所の窓口サービスの充実」

■満足度・重要度のスコア比較

それぞれのスコアについて平成 27 年調査からの変化量を見ると、それぞれの上位は以下のようになります。

【市民意識調査での現在の満足度】

平成 27 年調査との比較でポイントが上がったもの	H27 年	R1 年	ポイント差 R1-H27
14)医療体制の充実	-0.40	-0.05	0.35
24)子育てと仕事の調和	-0.17	-0.06	0.11
6)下水道の整備	0.05	0.16	0.11
20)就学前教育の充実	-0.06	0.06	0.11
34)財政運営の健全化	-0.23	-0.13	0.10

平成 27 年調査との比較でポイントが下がったもの	H27 年	R1 年	ポイント差 R1-H27
10)良好な新市街地の形成	-0.20	-0.26	-0.06
36)IT(情報通信技術)の活用	-0.10	-0.15	-0.05
38)広報・広聴の充実	0.10	0.08	-0.02

(ポイントが下がったものはこの 3 項目のみ)

【市民意識調査での今後の重要度】

平成 27 年調査との比較でポイントが上がったもの	H27 年	R1 年	ポイント差 R1-H27
36)IT(情報通信技術)の活用	0.64	0.83	0.20
29)男女が共同参画できる地域づくり	0.47	0.63	0.15
30)地域コミュニティの充実・醸成	0.53	0.66	0.13
10)良好な新市街地の形成	1.05	1.18	0.13
1)ゴミの減量化とリサイクルの推進	1.08	1.19	0.12

平成 27 年調査との比較でポイントが下がったもの	H27 年	R1 年	ポイント差 R1-H27
14)医療体制の充実	1.39	1.31	-0.08
8)防犯活動の強化	1.36	1.29	-0.07
34)財政運営の健全化	1.11	1.04	-0.06
27)観光の振興	0.53	0.50	-0.04
19)家庭・地域の教育力の向上	0.90	0.85	-0.04

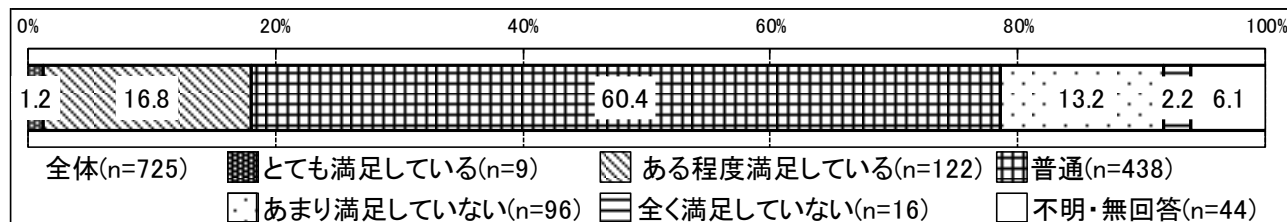
※H27 年、R1 年の数値は小数点以下第三位を四捨五入しているため、表内の数値と差し引きした数値とポイント差（R1-H27）と合わないことがあります。

※表内ポイント差が同値場合は、小数点以下第三位以降の数値で比較をした順番になっています。

政策分野全体（総合評価）

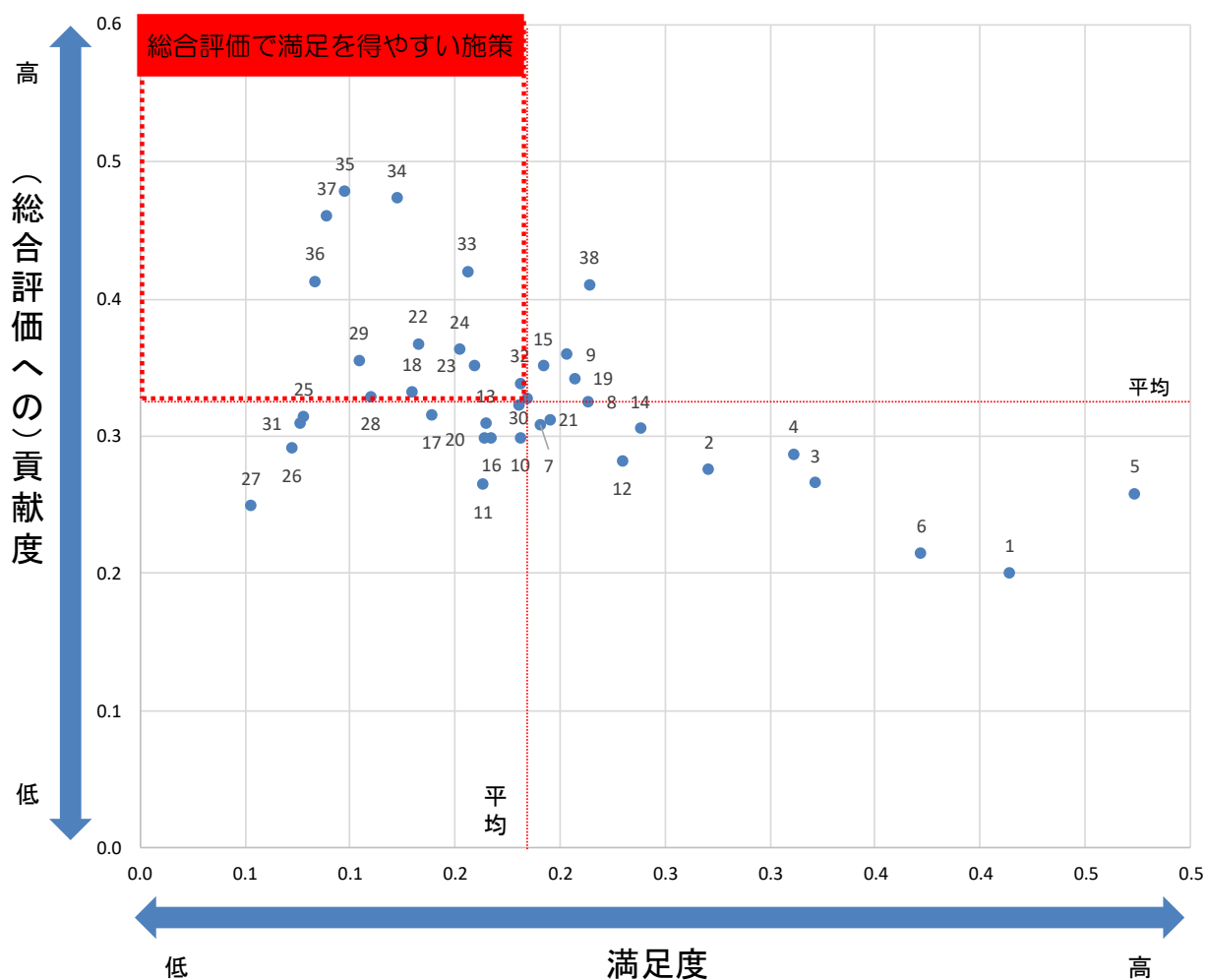
①現在の満足度

「普通」が60.4%で最も多く、次いで「ある程度満足している」が16.8%、「あまり満足していない」が13.2%が続いています。



総合評価に対する貢献度分析

「総合評価に対する貢献度」とは、上記の政策分野全体（総合評価）の満足度（18.0%）に対してどの施策がどの程度貢献しているか統計処理して表しています。貢献度が高く満足度が低い施策は、総合評価の満足度を高めやすいと考えられます。



■総合評価で満足を得やすい施策

政策	満足を得やすい施策	施策	満足度	貢献度
自然・環境		1)ゴミの減量化とリサイクルの推進	0.4	0.2
		2)環境問題への取り組み強化	0.3	0.3
		3)自然環境(緑地)の保護	0.3	0.3
		4)住環境(景観)の保全	0.3	0.3
		5)上水道の整備	0.5	0.3
		6)下水道の整備	0.4	0.2
安心・安全		7)災害対策の充実	0.2	0.3
		8)防犯活動の強化	0.2	0.3
		9)交通安全対策の強化	0.2	0.4
都市基盤		10)良好な新市街地の形成	0.2	0.3
		11)駅を中心とした拠点機能充実	0.2	0.3
		12)道路整備の充実	0.2	0.3
健康・福祉		13)地域福祉の推進	0.2	0.3
		14)医療体制の充実	0.2	0.3
		15)市民の健康づくりの推進	0.2	0.4
		16)高齢者福祉の充実	0.2	0.3
		17)障がい者福祉の充実	0.1	0.3
	●	18)社会保障制度の安定的運用の推進	0.1	0.3
子育て・教育		19)家庭・地域の教育力の向上	0.2	0.3
		20)就学前教育の充実	0.2	0.3
		21)学校教育の充実	0.2	0.3
	●	22)子ども・若者のフォローアップ	0.1	0.4
	●	23)いつ・どこ・だれでも学び楽しめる環境の充実	0.2	0.4
	●	24)子育てと仕事の調和	0.2	0.4
産業・文化・連携		25)産業の振興	0.1	0.3
		26)農業の振興	0.1	0.3
		27)観光の振興	0.1	0.2
	●	28)あらゆる人権を守る社会づくりの確立	0.1	0.3
	●	29)男女が共同参画できる地域づくり	0.1	0.4
		30)地域コミュニティの充実・醸成	0.2	0.3
		31)文化・国際交流への取り組みの推進	0.1	0.3
	●	32)歴史文化財の保存と継承・展開	0.2	0.3
行政経営	●	33)地域経営システムの確立(窓口サービスの充実)	0.2	0.4
	●	34)財政運営の健全化	0.1	0.5
	●	35)組織活性化の推進	0.1	0.5
	●	36)IT(情報通信技術)の活用	0.1	0.4
	●	37)市税等の賦課・徴収の強化	0.1	0.5
		38)広報・広聴の充実	0.2	0.4

上記の 1) ~38) の施策のうち、①優先的に力を入れるべきと思う施策、また、②そのために取り組みを少し後に回してもやむを得ないと思う施策をそれぞれ3つまで選んで、施策の番号を該当する欄にご記入ください。

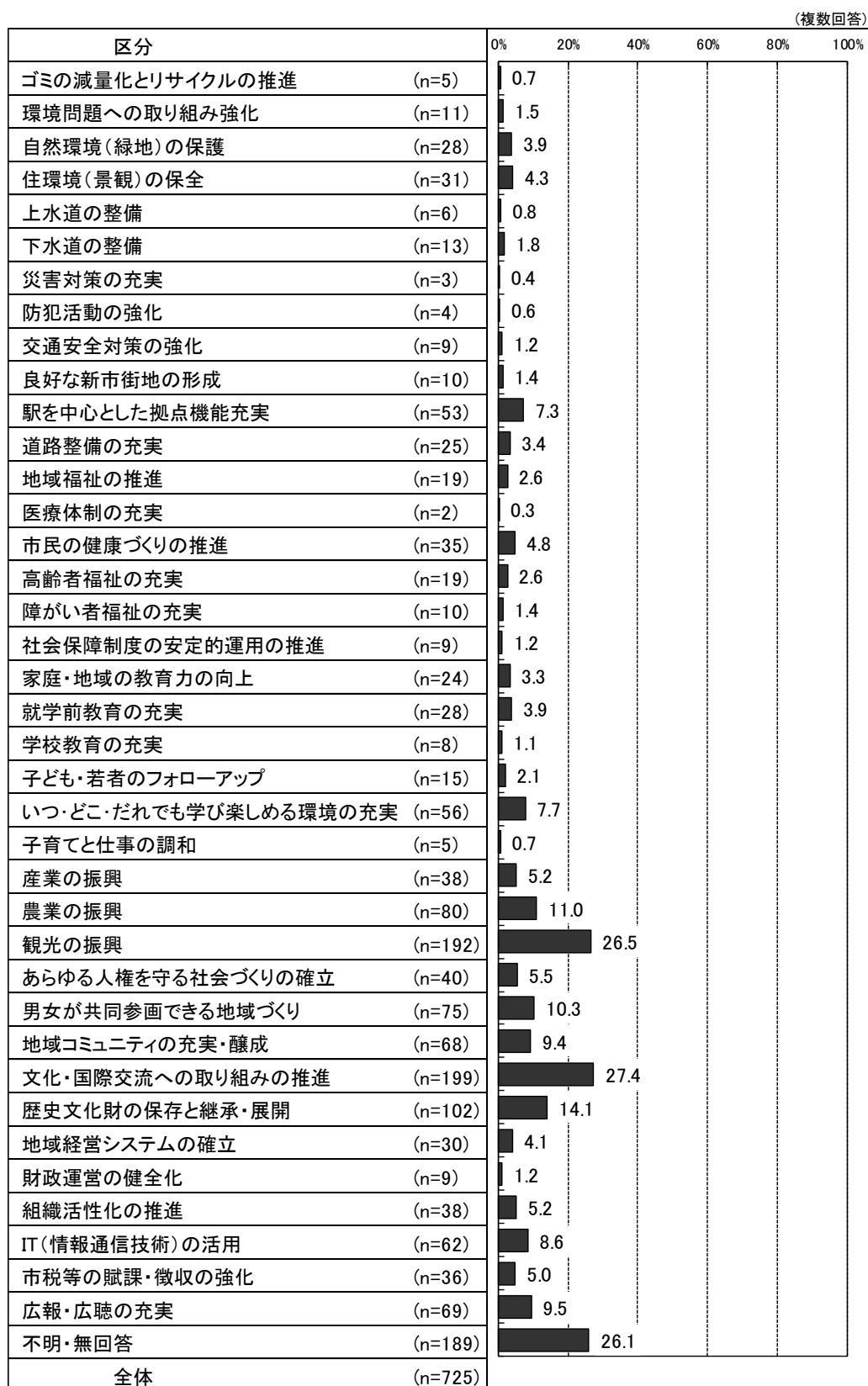
①優先的に力を入れるべきと思う施策

「医療体制の充実」が 21.2%で最も多く、次いで「災害対策の充実」が 20.6%、「道路整備の充実」が 18.2%で続いています。



②後に回してもやむを得ないと思う施策

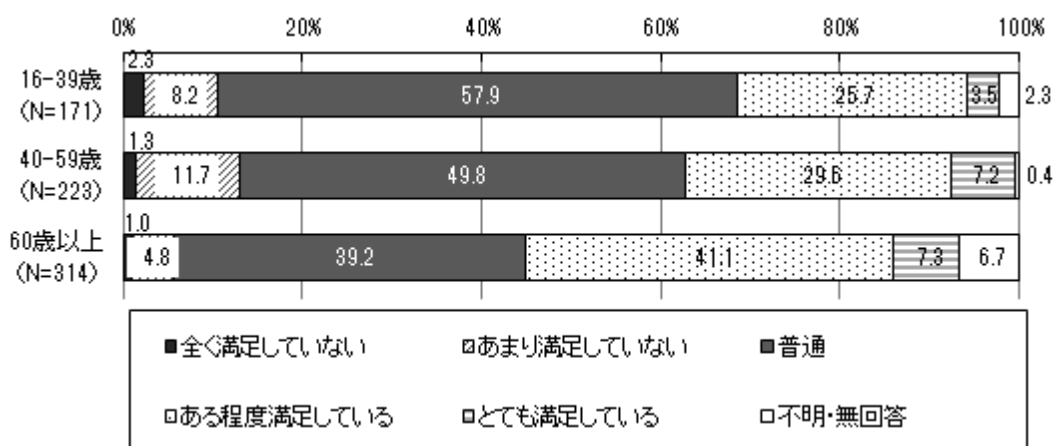
「文化・国際交流への取り組みの推進」が27.4%で最も多く、次いで「観光の振興」が26.5%、「歴史文化財の保存と継承・展開」が14.1%が続いています。



■年齢別 ※統計的有意差のある施策の抜粋

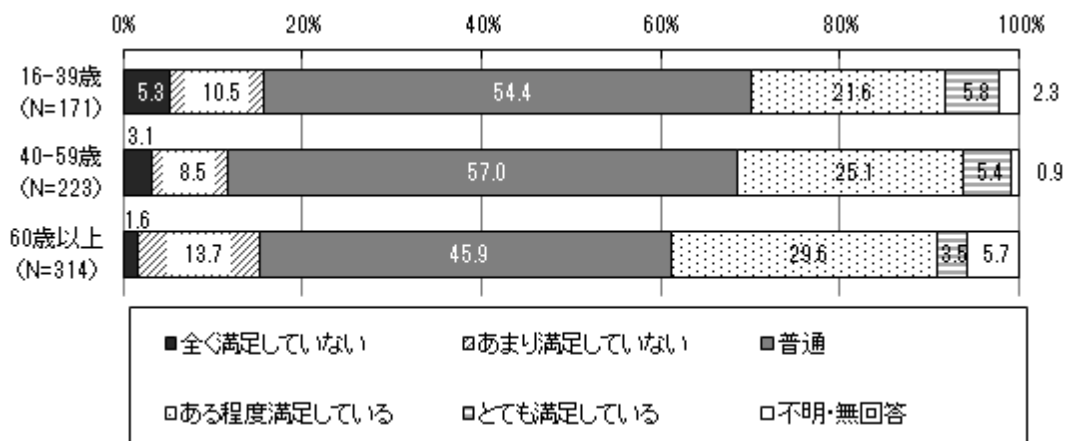
ゴミの減量化とリサイクルの推進

年齢別にみると、「ある程度満足している」では年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。逆に、「普通」では年齢が上がるにつれ回答割合が低くなっています。「あまり満足していない」では40-59歳が60歳以上より回答割合が高くなっています。



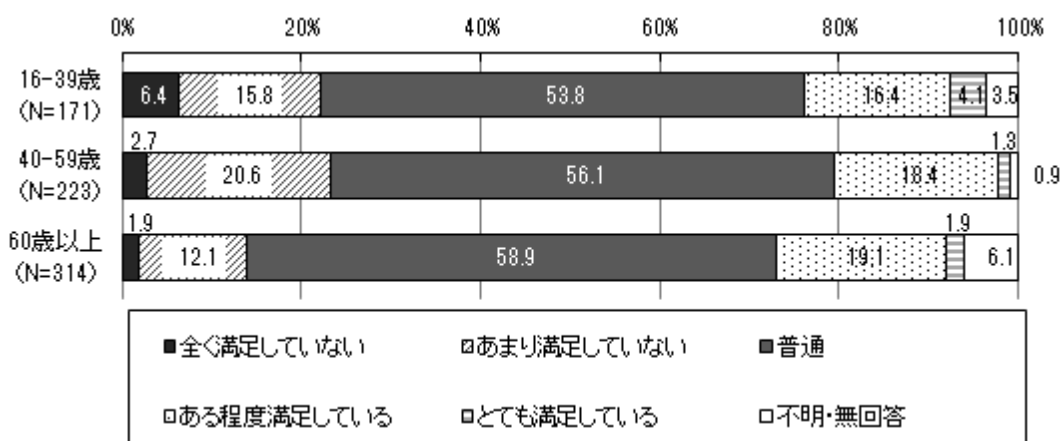
自然環境（緑地）の保護

年齢別にみると、「ある程度満足している」「あまり満足していない」では60歳以上が16-59歳より回答割合が高くなっています。逆に「普通」では60歳以上が16-59歳より回答割合が低くなっています。「全く満足していない」では年齢が上がるにつれ回答割合が低くなっています。



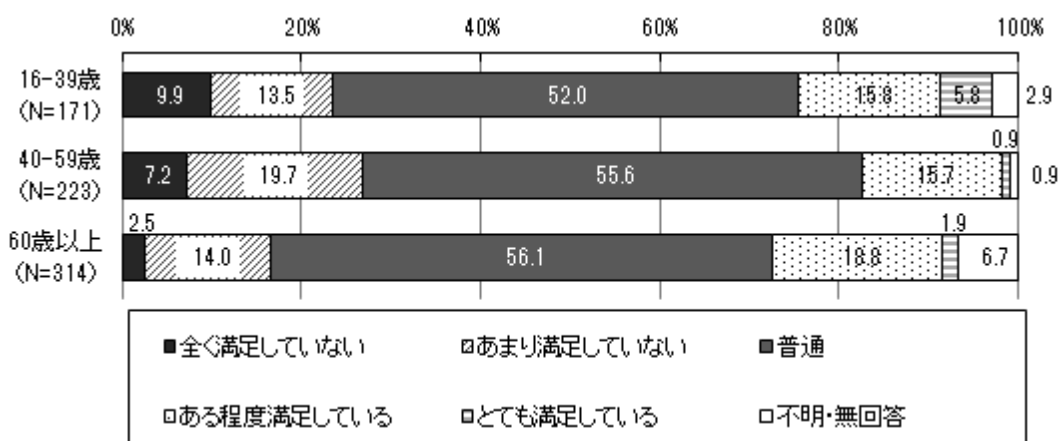
防犯活動の強化

年齢別にみると、「あまり満足していない」では40-59歳が60歳以上より回答割合が高くなっています。
「全く満足していない」では年齢が上がるにつれ回答割合が低くなっています。



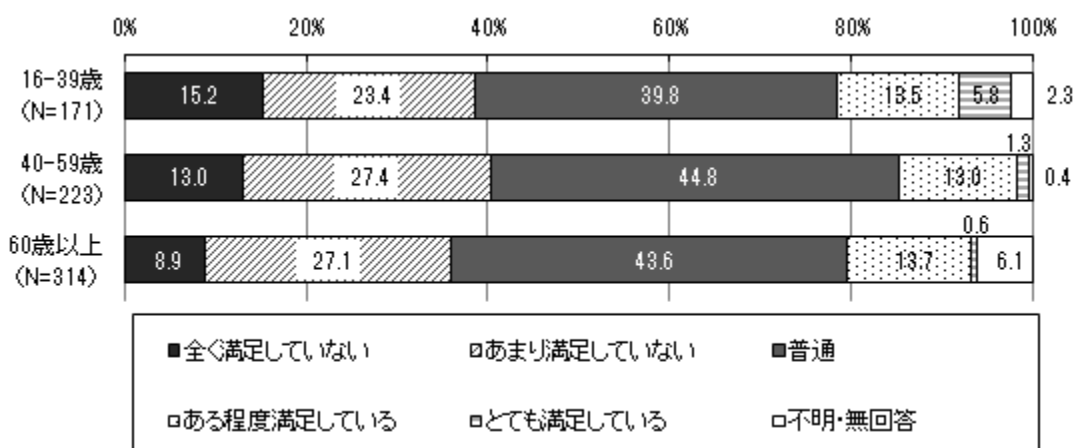
交通安全対策の強化

年齢別にみると、「とても満足している」では16-39歳が40-59歳より回答割合が高くなっています。
「全く満足していない」では年齢が上がるにつれ回答割合が低くなっています。



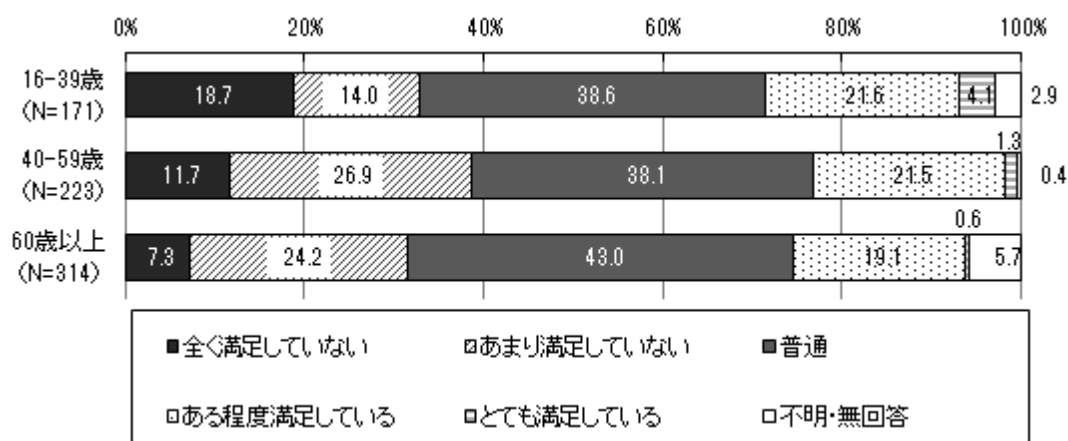
駅を中心とした拠点機能充実

年齢別にみると、「とても満足している」では年齢が上がるにつれ回答割合が低くなっています。



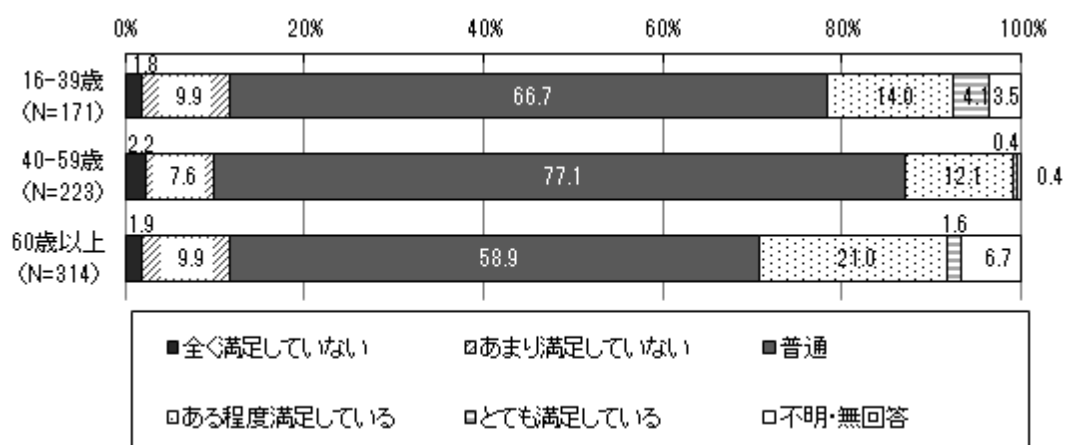
道路整備の充実

年齢別にみると、「とても満足している」「全く満足していない」では年齢が上がるにつれ回答割合が低くなっています。「あまり満足していない」では16-39歳が40歳以上より回答割合が低くなっています。



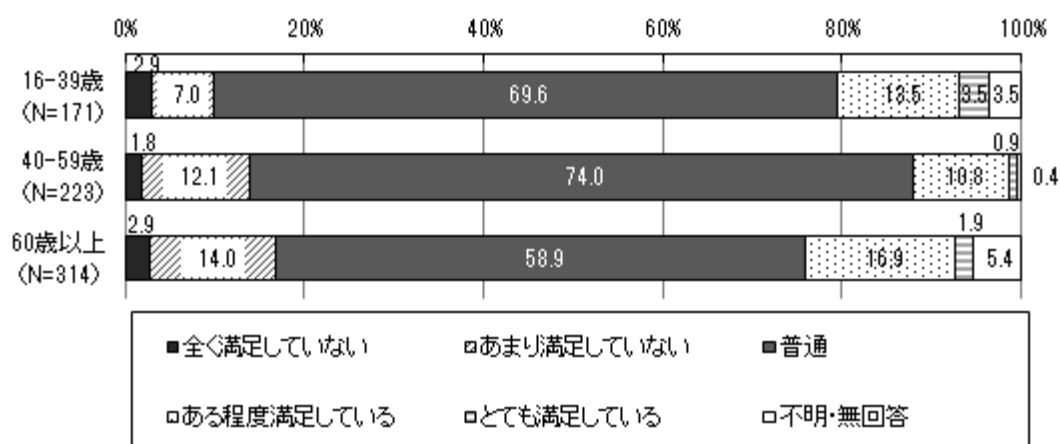
市民の健康づくりの推進

年齢別にみると、「とても満足している」では16-39歳が40歳以上より回答割合が高くなっています。「ある程度満足している」では60歳以上が40-59歳より回答割合が高くなっています。逆に、「普通」では60歳以上が40-59歳より回答割合が低くなっています。



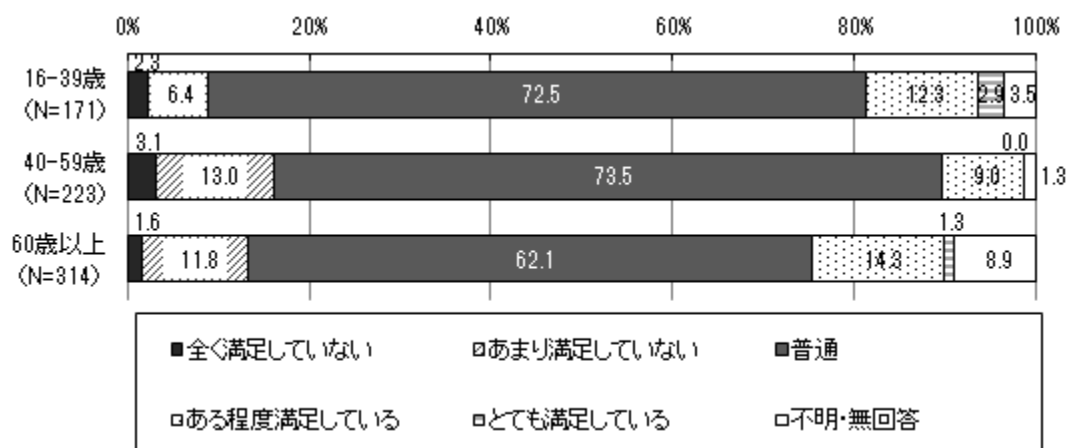
高齢者福祉の充実

年齢別にみると、「ある程度満足している」では60歳以上が40歳以下より回答割合が高くなっています。逆に、「普通」では60歳以上が40-59歳より回答割合が低くなっています。「あまり満足していない」では年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。



障がい者福祉の充実

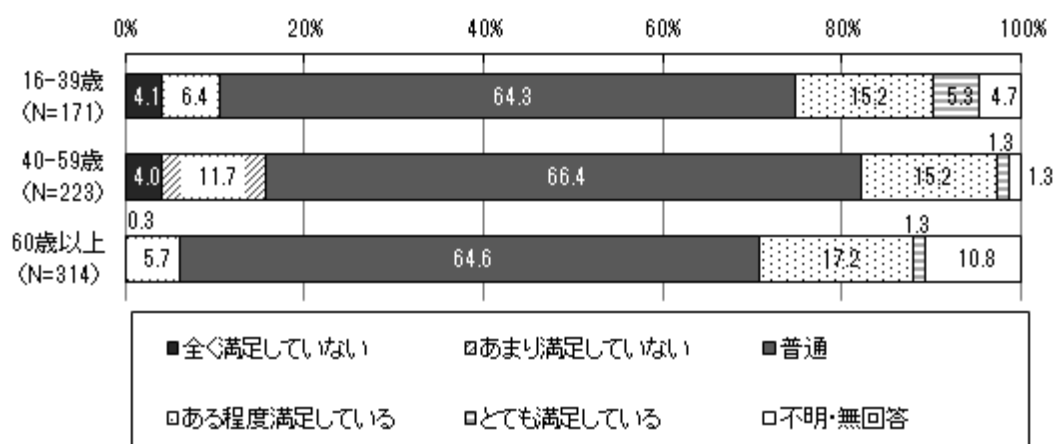
年齢別にみると、「とても満足している」「ある程度満足している」では40-59歳が16-39歳・60歳以上より回答割合が低くなっています。「あまり満足していない」では16-39歳は40歳以上よりの回答割合が低くなっています。



学校教育の充実

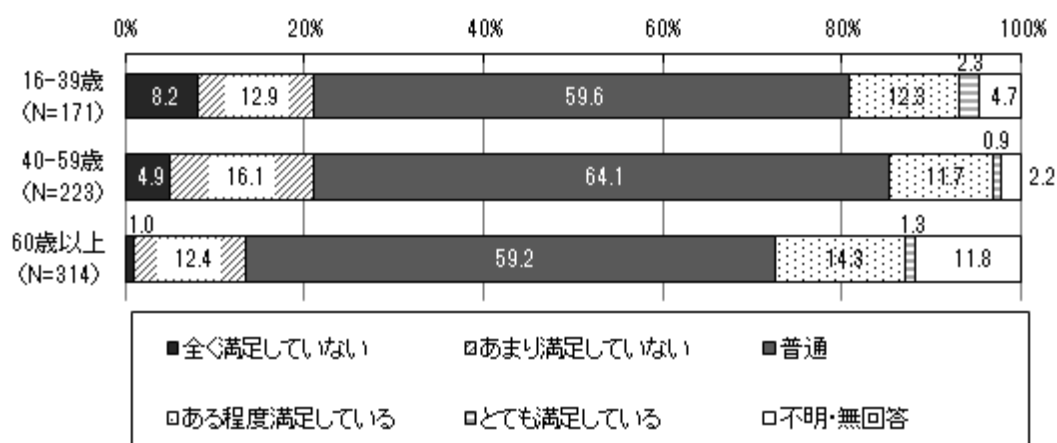
年齢別にみると、「とても満足している」では16-39歳が40歳以上より回答割合が高くなっています。

「あまり満足していない」では40-59歳が16-39歳・60歳以上より回答割合が高くなっています。「全く満足していない」では60歳以上が16-59歳より回答割合が低くなっています。



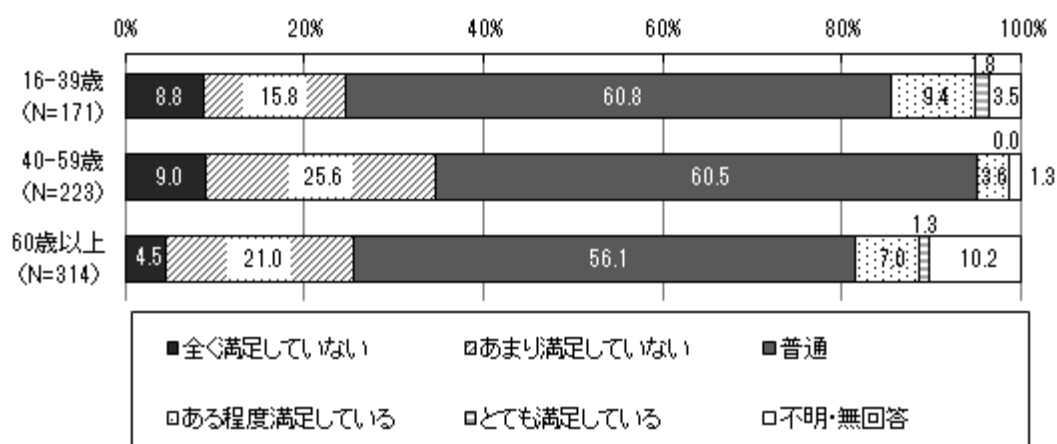
子育てと仕事の調和

年齢別にみると、「全く満足していない」では年齢が上がるにつれ回答割合が低くなっています。



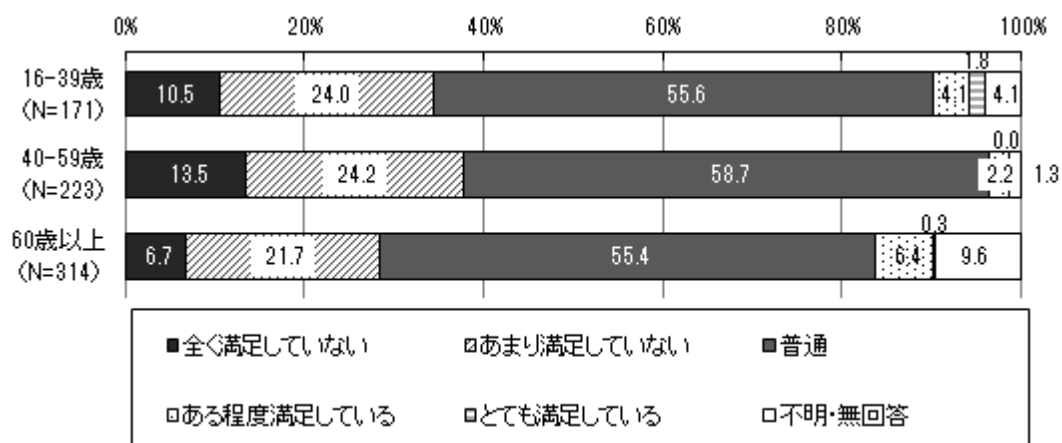
産業の振興

年齢別にみると、「ある程度満足している」では40-59歳が16-39歳・60歳以上より回答割合が低くなっています。「あまり満足していない」では16-39歳は40歳以上より回答割合が低くなっています。「全く満足していない」では60歳以上は16-59歳より回答割合が低くなっています。



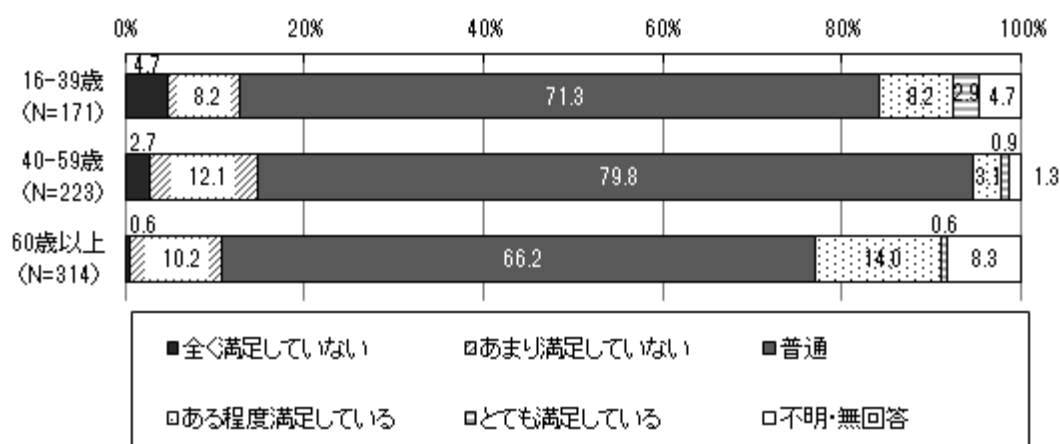
観光の振興

年齢別にみると、「とても満足している」では16-39歳は40歳以上より回答割合が高くなっています。「ある程度満足している」では60歳以上が40-59歳より回答割合が高くなっています。逆に「全く満足していない」では60歳以上が40-59歳より回答割合が低くなっています。



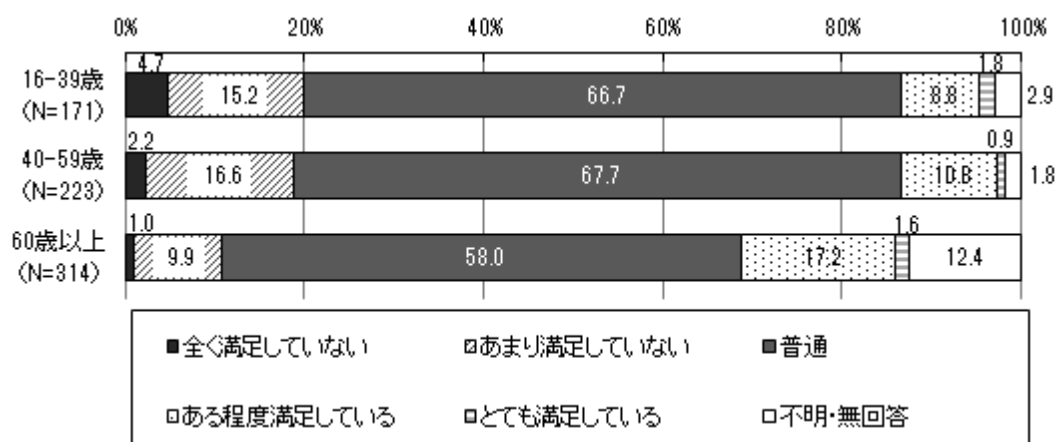
あらゆる人権を守る社会づくりの確立

年齢別にみると、「とても満足している」「全く満足していない」では年齢が上がるにつれ回答割合が低くなっています。「ある程度満足している」では60歳以上は40-59歳より回答割合が高くなっています。「普通」では40-59歳は16-39歳・60歳以上より回答割合が高くなっています。



地域経営システムの確立（窓口サービスの充実）

年齢別にみると、「ある程度満足している」では年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。逆に「全く満足していない」では年齢が上がるにつれ回答割合が低くなっています。

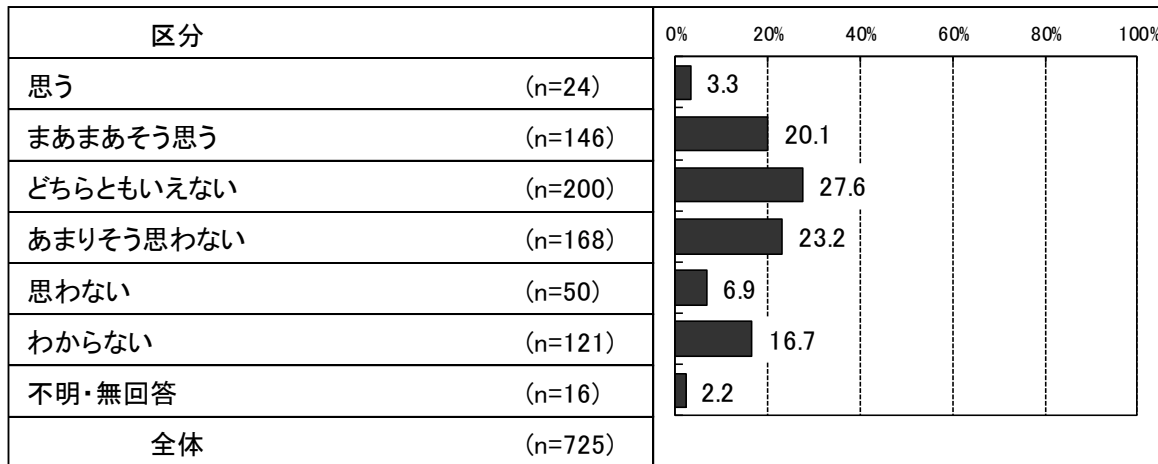


Ⅲ. 市民協働のまちづくりについて

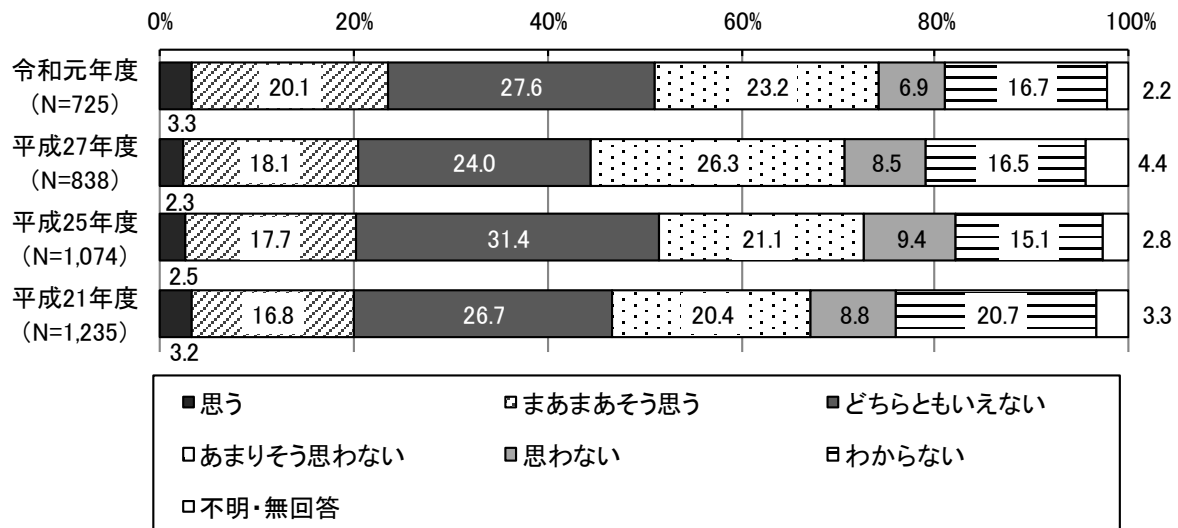
問 10 現在の香芝市は、市民と行政が協働してまちづくりに取り組むことができていると思いますか。（1つに○）

「どちらともいえない」が27.6%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が23.2%、「まあまあ思う」が20.1%が続いています。

前回（H27）調査からの変化をみると、「思う」と「まあまあ思う」の合計は、年々増加しています。



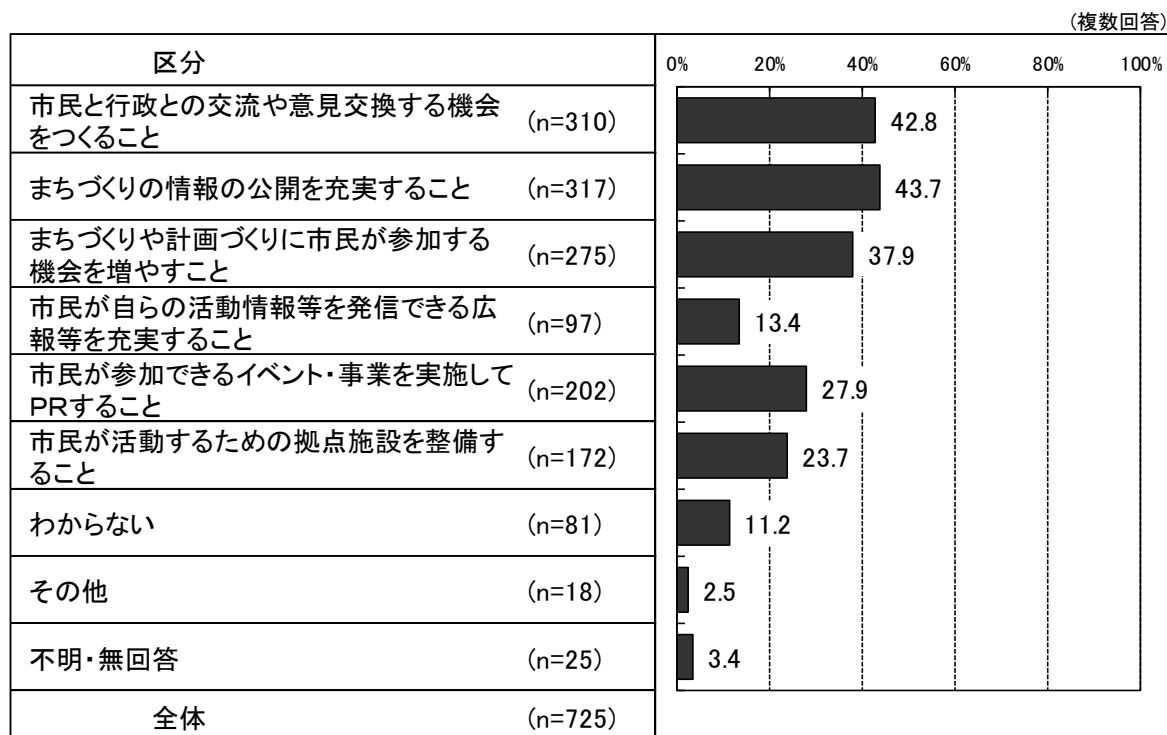
■過去（H21・H25・H27）調査からの変化



問 11 市民と行政が協働してまちづくりを行ううえで、あなたが必要だと思うのはどのようなことですか。（あてはまるもの3つまでに○）

「まちづくりの情報の公開を充実すること」が43.7%で最も多く、次いで「市民と行政との交流や意見交換する機会をつくること」が42.8%、「まちづくりや計画づくりに市民が参加する機会を増やすこと」が37.9%で続いています。

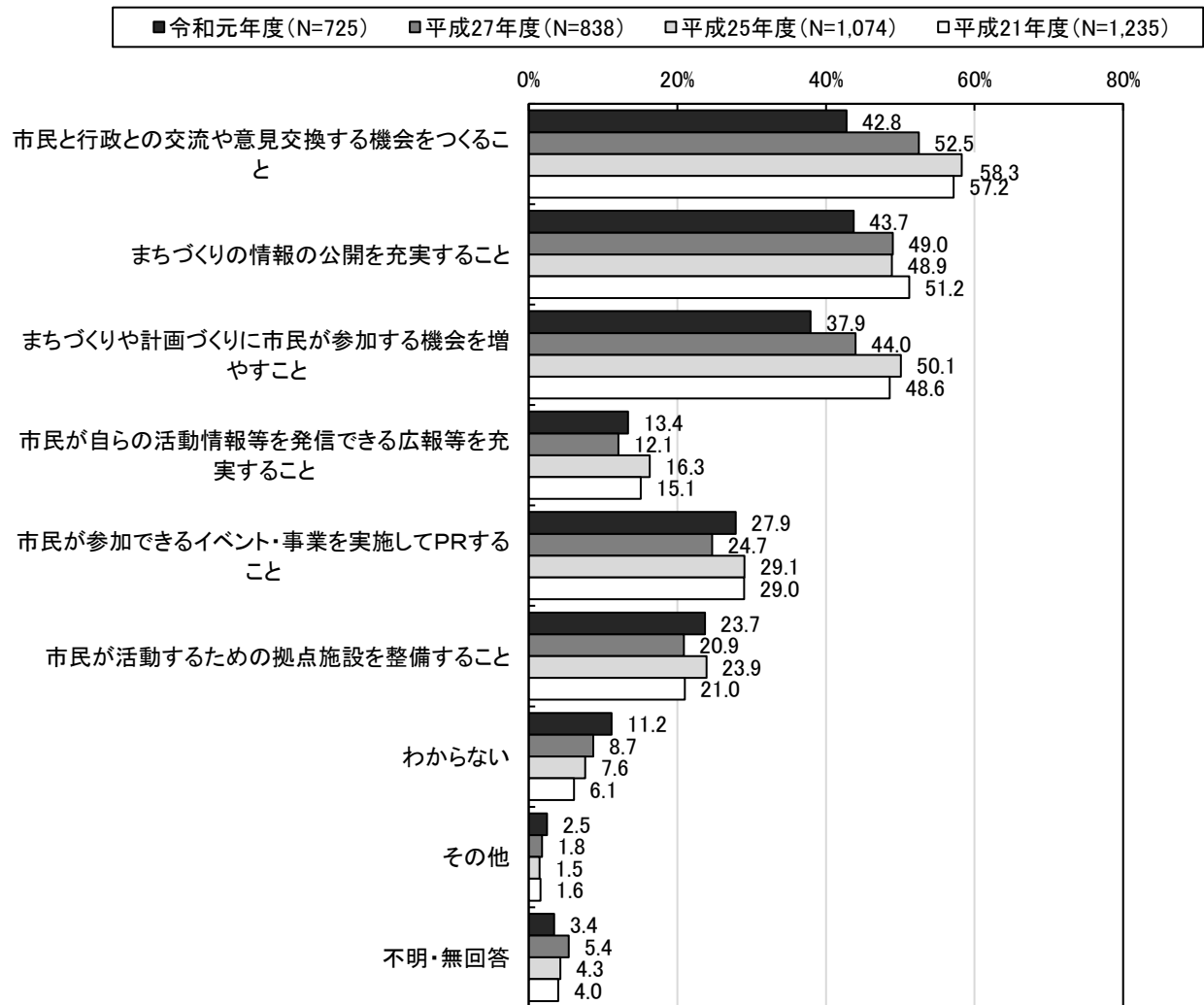
前回（H27）調査からの変化をみると、「市民と行政との交流や意見交換する機会をつくること」「まちづくりの情報の公開を充実すること」「まちづくりや計画づくりに市民が参加する機会を増やすこと」では令和元年度は他の年度より減少しています。



■「その他」の内容

内容	件数
行政のやる気、積極性	4
市の施策状況等の情報発信	2
機会があっても参加する人は少ないと思うので、そのような人の意見を取り入れる工夫	1
市議による情報発信	1
市民が1つになれるテーマを考える	1
市民が言うことがすべて正解ではないので、行政で制御することが大切	1
その他の成功事例を参考にする	1
道路が狭すぎる	1
市の方向性を示すこと	1
各案件に手軽に意見ができる環境	1
有識者の市民にまちづくりに積極的に参加してもらいたい	1
優秀な市長	1
若い人たちが自由裁量で生活に役立つものや施設が実現可能だという経験をもたすこと	1
行政が街づくりのどこに注力しているのか不明	1

■過去（H21・H25・H27）調査からの変化



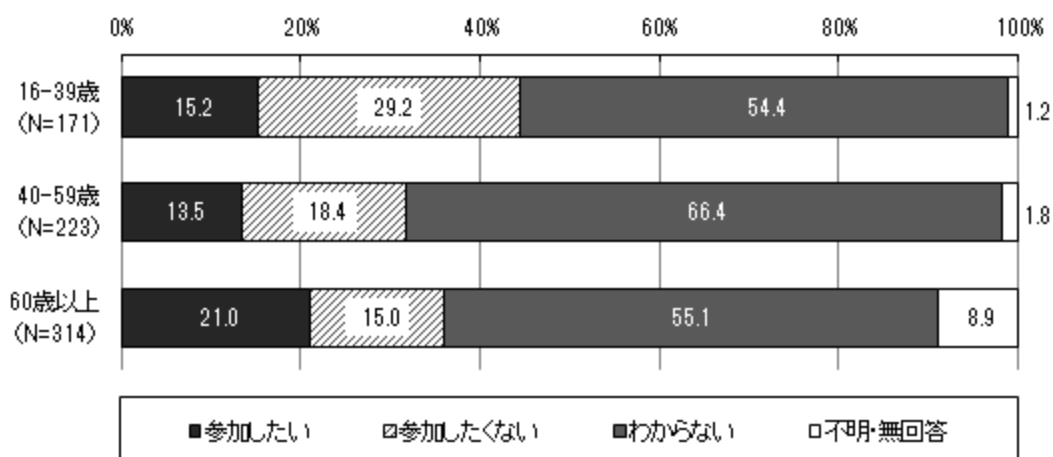
問 12 ワークショップやタウンミーティングなど、市民と行政との交流や意見交換する機会があれば、あなたは参加したいと思いますか。（1つに○）

「わからない」が58.5%で最も多く、次いで「参加したくない」が19.4%、「参加したい」が17.2%が続いています。

年齢別にみると、「参加したい」では60歳上が40-59歳より回答割合が高くなっています。16-39歳では「参加したくない」の回答割合が高くなっています。「わからない」では40-59歳が16-39歳より回答割合が高くなっています。

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
参加したい	(n=125)	17.2					
参加したくない	(n=141)	19.4					
わからない	(n=424)	58.5					
不明・無回答	(n=35)	4.8					
全体	(n=725)						

■年齢別



問 13 問 12 で「参加したい」に○をつけた方のみお答えください。
 どのようなテーマについて交流や意見交換したいと思いますか。自由に書いてください。

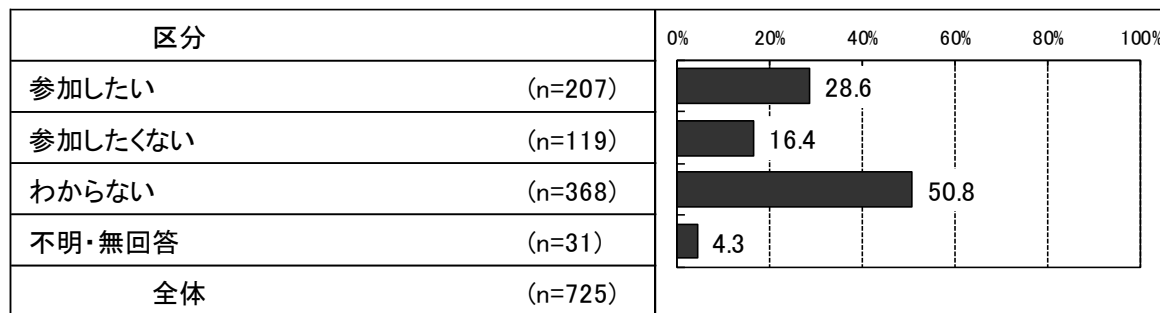
キーワード	件数	キーワード	件数
高齢者福祉	27	ひとり親家庭	1
教育・子育て支援	21	地域の安全・安心	1
防災対策	8	地域経済の発展	1
道路整備が必要	7	雇用・就労	1
農業の発展	6	青少年の育成	1
まちづくり・地域コミュニティ	5	地域イベント	1
障害者福祉	4	観光産業の発展	1
商業の発展	4	多世代交流	1
ボランティア活動	4	ブランド力の向上	1
財政の健全化	4	公園の整備・利用	1
医療・健康	2	公共交通の整備	1
公共交通	2	反社会勢力	1
インフラの整備	2	空き家対策	1
環境問題	2	生涯学習	1
趣味・余暇・楽しみ	2		

問 14 すべての方にうかがいます。

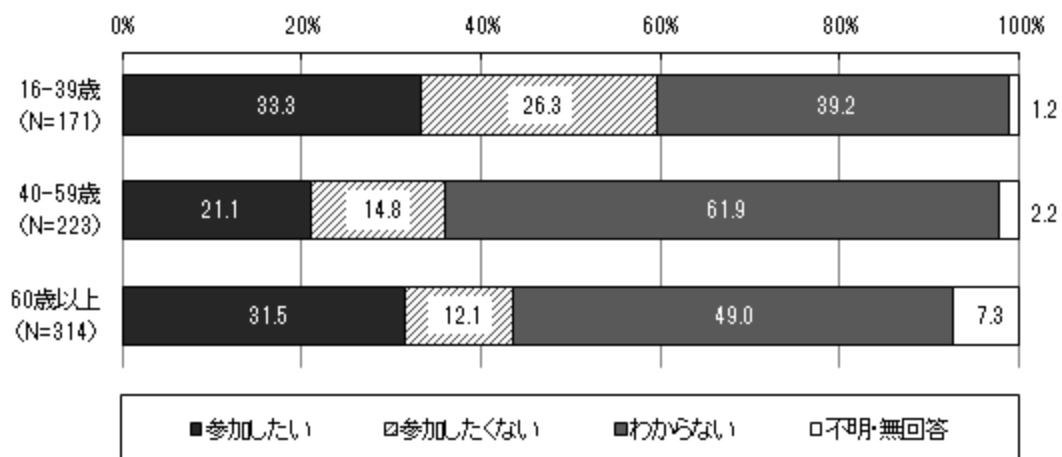
まちづくりや計画づくりに市民が参加する機会があれば、あなたは参加したいと思いますか。
(1つに○)

「わからない」が50.8%で最も多く、次いで「参加したい」が28.6%、「参加したくない」が16.4%が続いています。

年齢別にみると、「参加したい」では60歳上が40-59歳より回答割合が高くなっています。16-39歳では「参加したくない」の回答割合が高くなっています。「わからない」では40-59歳が16-39歳より回答割合が高くなっています。



■ 年齢別

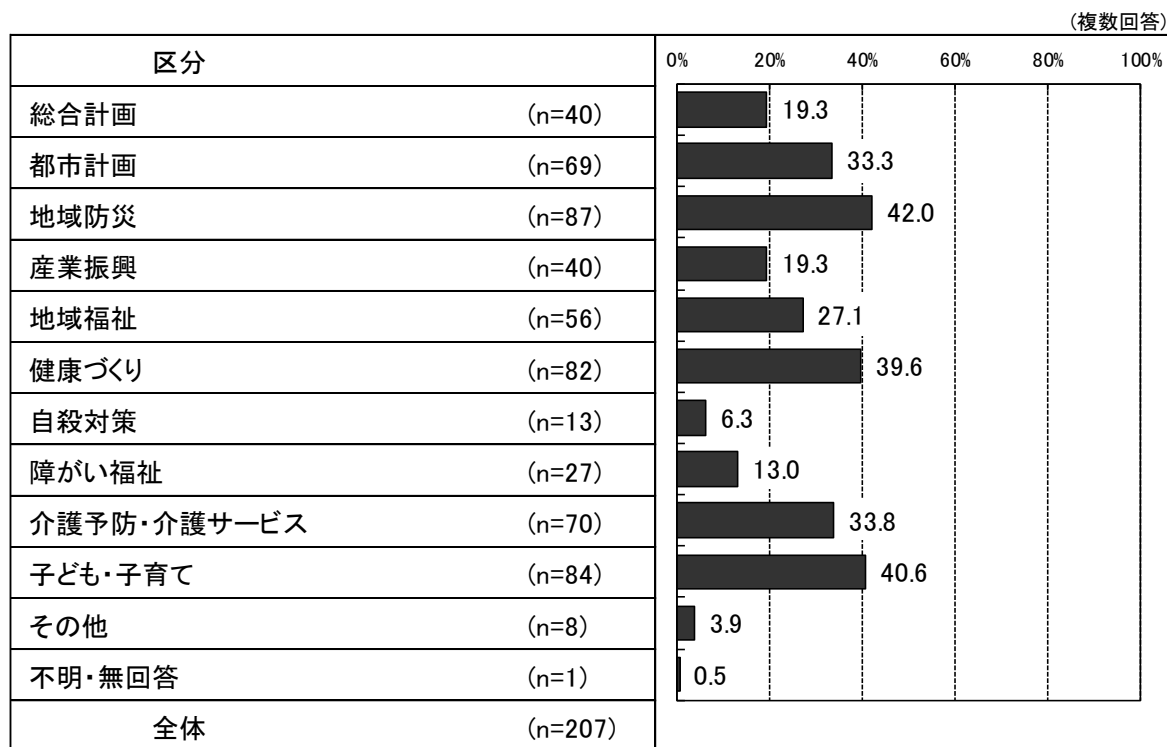


問 15 問 14 で「参加したい」に○をつけた方のみお答えください。

どのようなテーマのまちづくりや計画づくりについて参加したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「地域防災」が 42.0%で最も多く、次いで「子ども・子育て」が 40.6%、「健康づくり」が 39.6%が続いています。

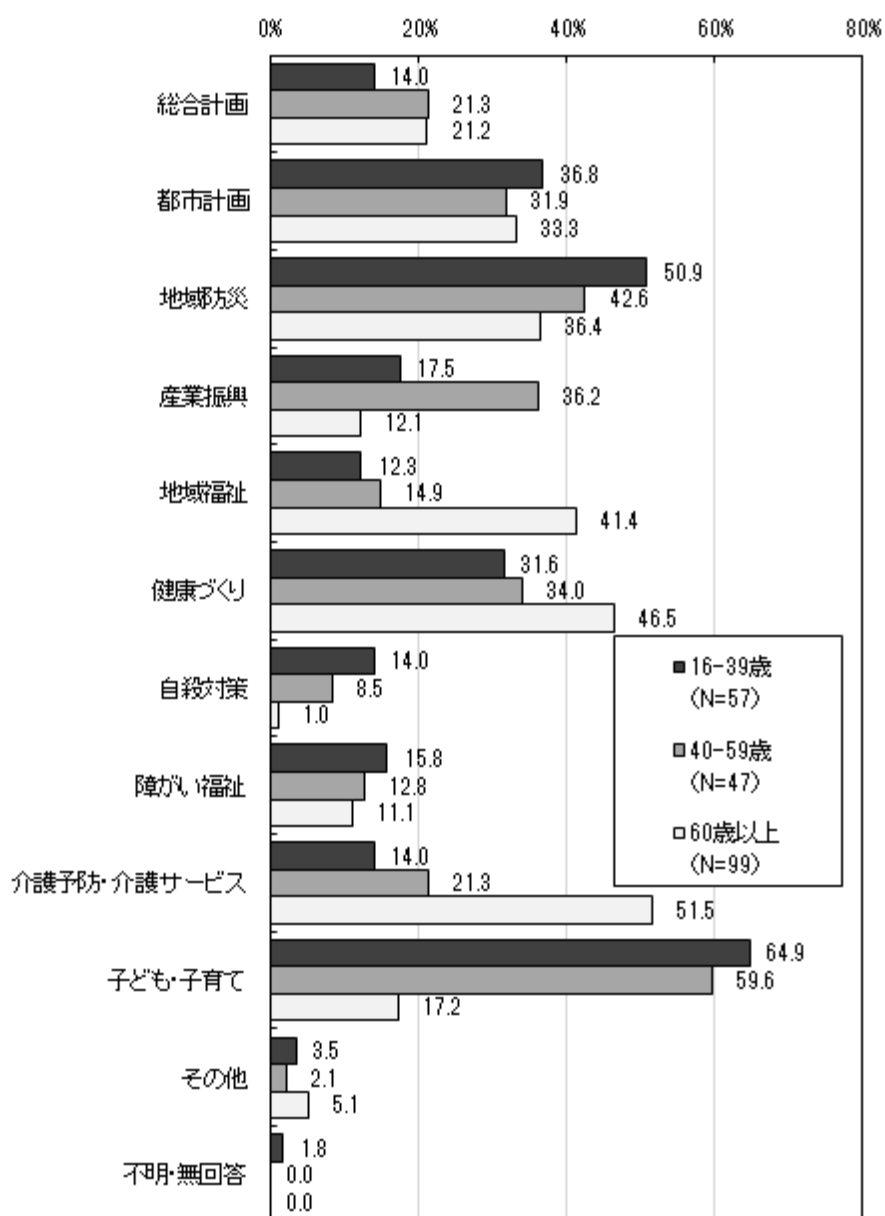
年齢別にみると、「産業振興」では 40-59 歳が 60 歳上より回答割合が高くなっています。「地域福祉」「介護予防・介護サービス」では年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。逆に「自殺対策」「子ども・子育て」では 16-39 歳で回答割合が高くなっています。



■「その他」の内容

内容	件数
防犯	1
積極的な道路拡幅工事の実現	1
婚活サポート	1
医療対策	1
防犯活動	1
スポーツジム	1

■年齢別



問 16 すべての方にうかがいます。

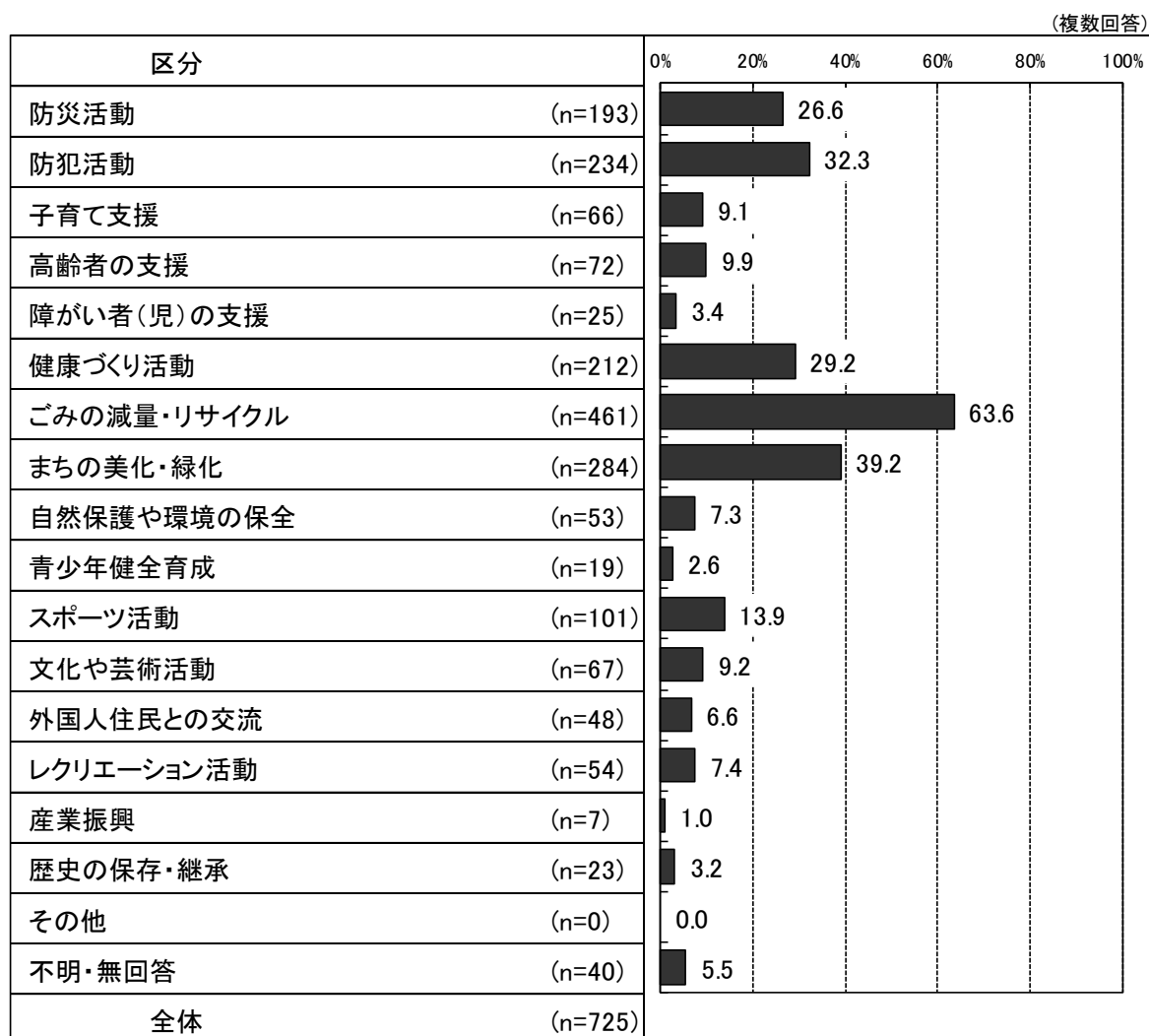
下記の中で、①市民ができること、やるべきこと、一方、②特に行政がやるべきことは何だと思いますか。それぞれあてはまるものを3つまで選んで、選択肢の数字を該当する欄にご記入ください。

①市民ができること

「ごみの減量・リサイクル」が63.6%で最も多く、次いで「まちの美化・緑化」が39.2%、「防犯活動」が32.3%で続いています。

年齢別にみると、「高齢者の支援」「健康づくり活動」では年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。「スポーツ活動」「外国人住民との交流」では16-39歳で回答割合が高くなっています。

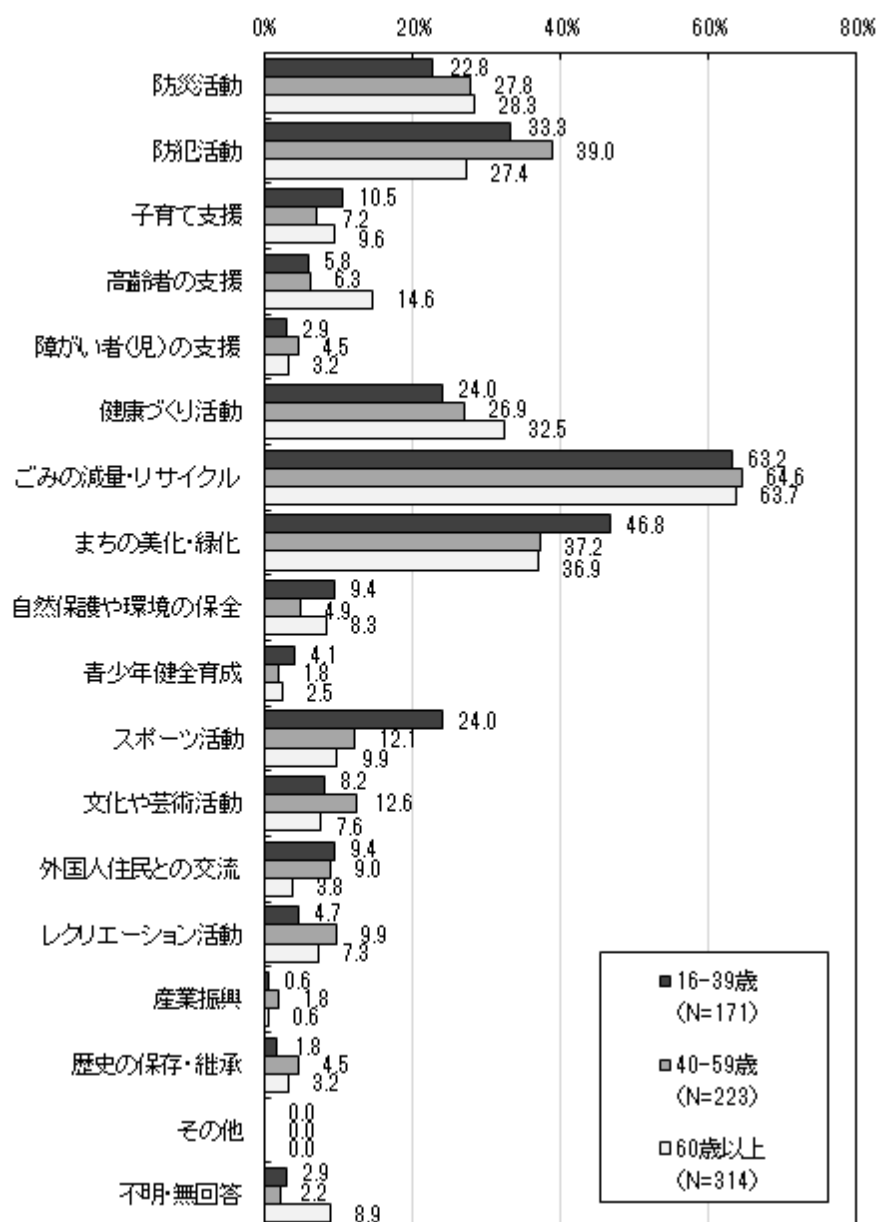
前回（H27）調査からの変化をみると、「障がい者（児）の支援」「健康づくり活動」「ごみの減量・リサイクル」「外国人住民との交流」は年々増加しています。「まちの美化・緑化」「自然保護や環境の保全」「レクリエーション活動」は年々減少しています。



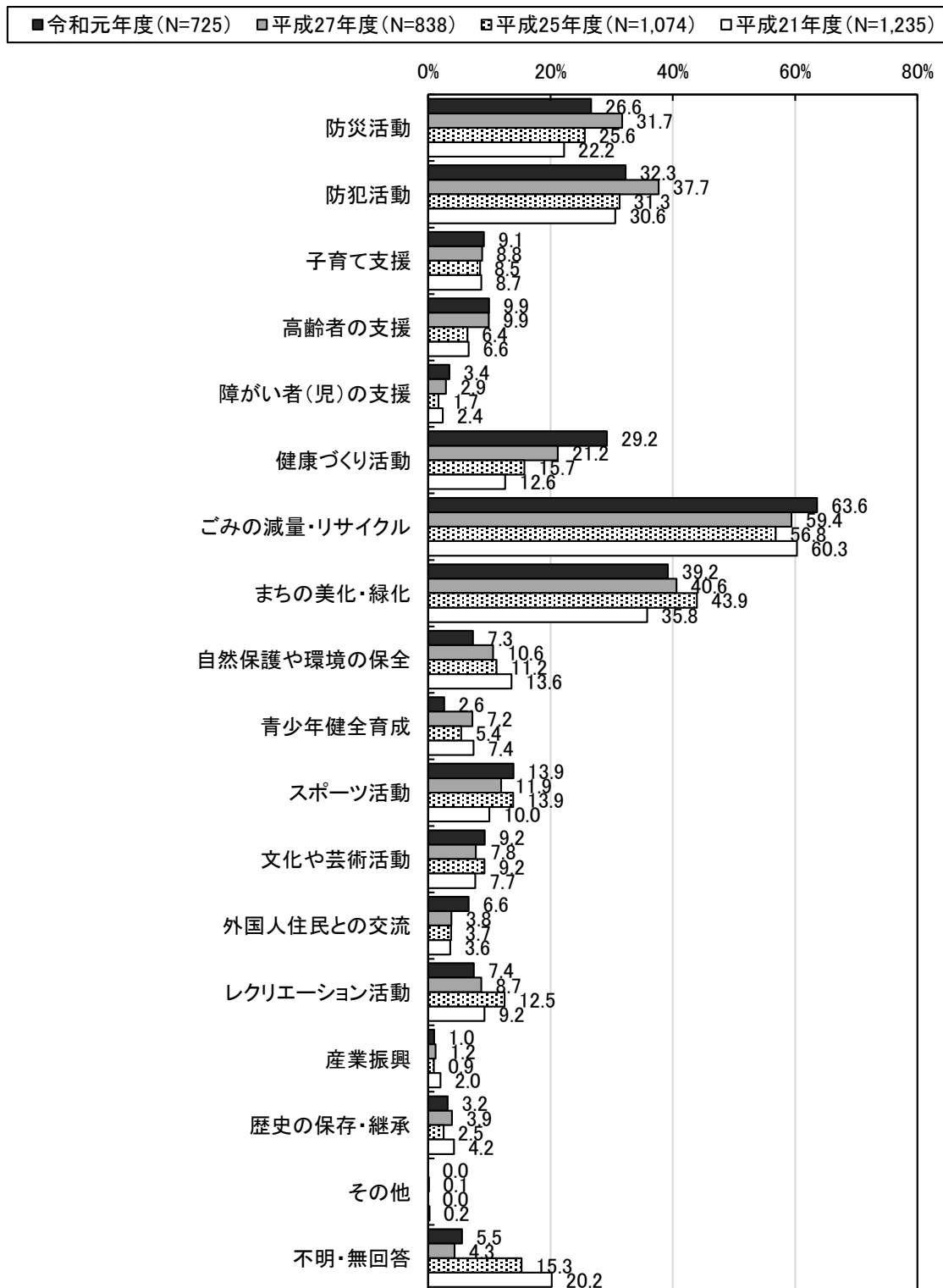
■「その他」の内容

内容	件数
交通安全	1
市役所職員の給料の見直し	1
道路の整備 通学路等	1
歩道安全設置	1

■年齢別



■過去（H21・H25・H27）調査からの変化

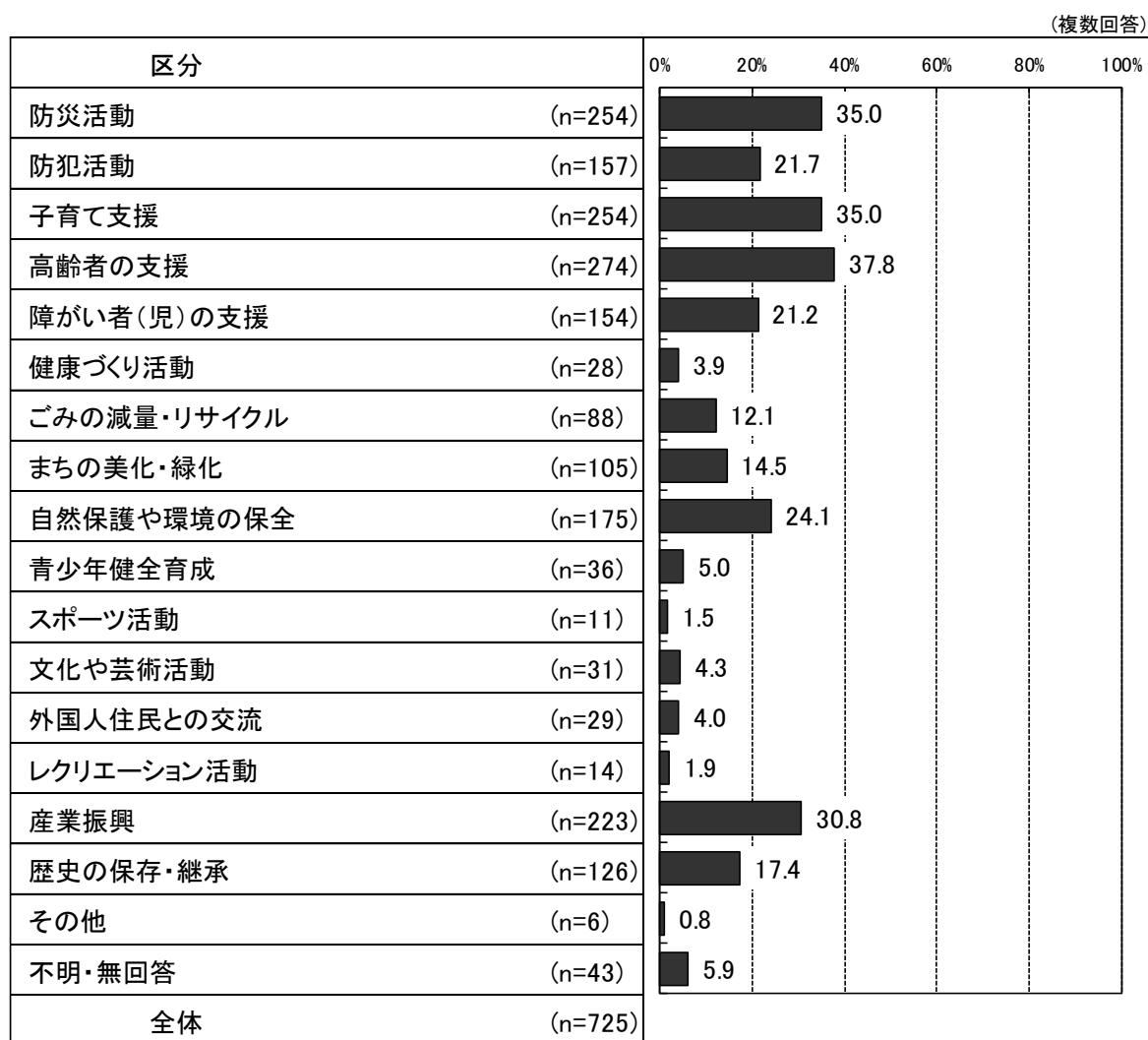


②行政がやるべきこと

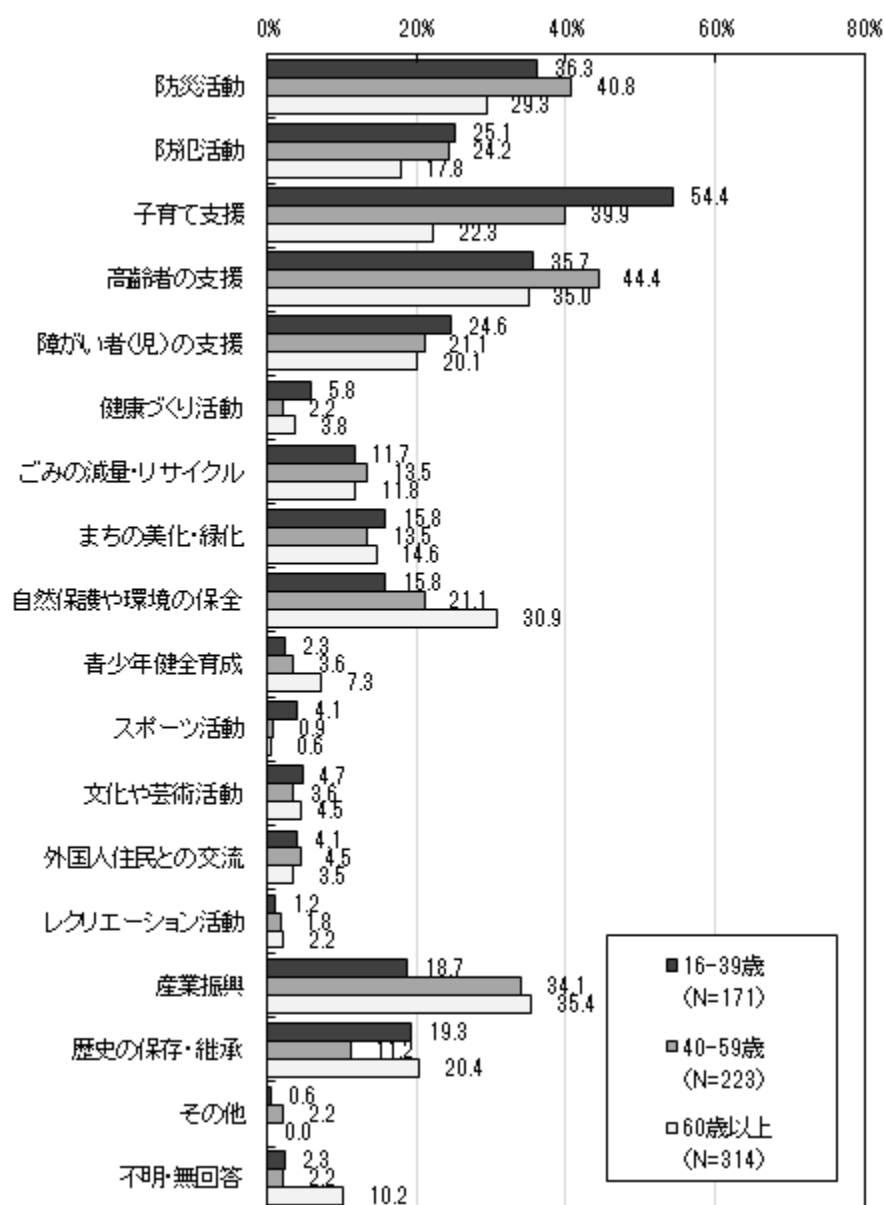
「高齢者の支援」が37.8%で最も多く、次いで「防災活動」と「子育て支援」が、ともに35.0%、「産業振興」が30.8%で続いています。

年齢別にみると、「子育て支援」「スポーツ活動」では16-39歳の回答割合が高くなっています。「自然保護や環境の保全」「青少年健全育成」「産業振興」では年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。「歴史の保存・継承」では60歳上が40-59歳より回答割合が高くなっています。

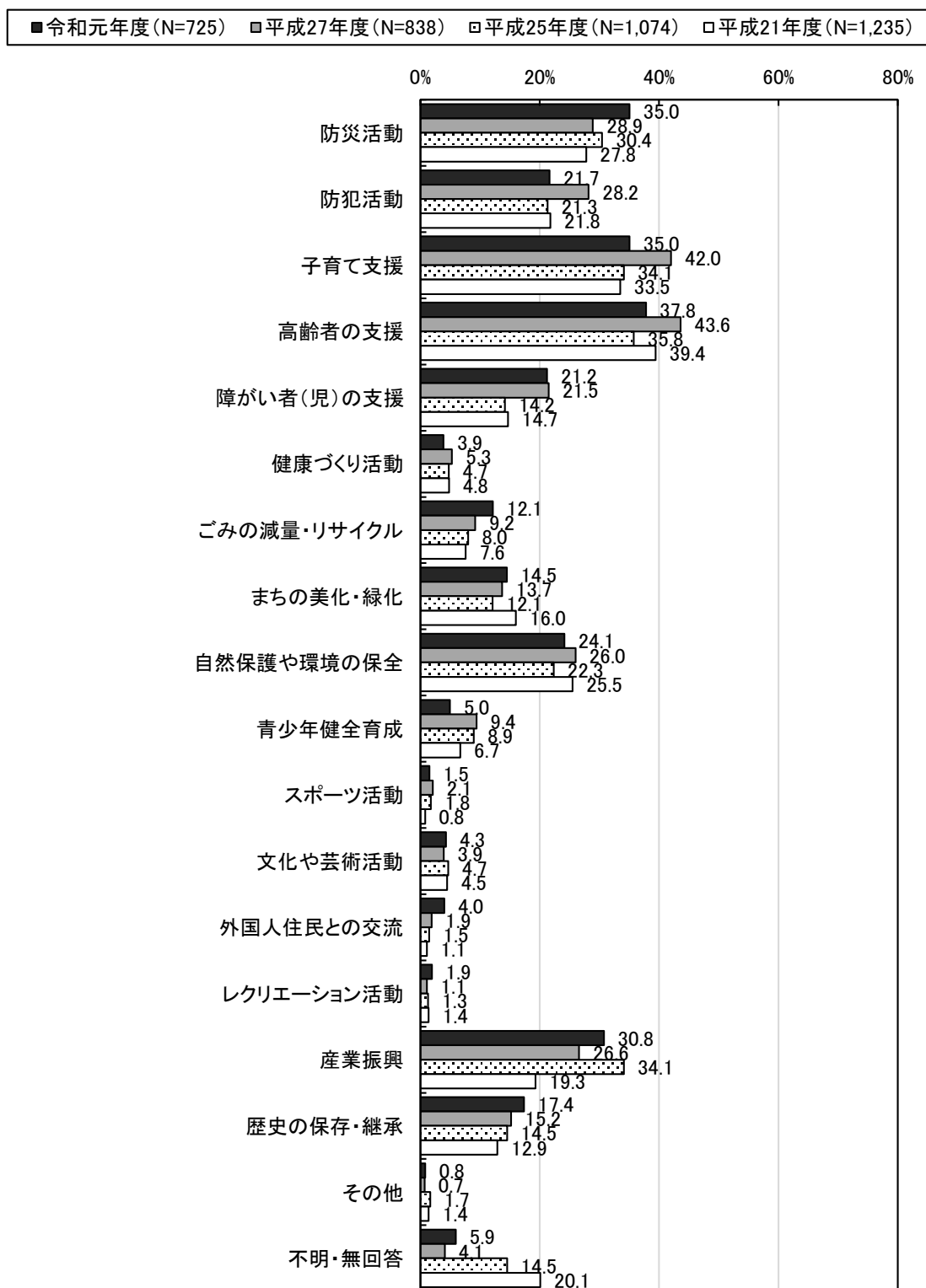
前回（H27）調査からの変化をみると、「防災活動」では令和元年度は他の年度より増加しています。「子育て支援」「防犯活動」「高齢者の支援」では令和元年度は平成27年度より減少しています。



■ 年齢別



■過去（H21・H25・H27）調査からの変化

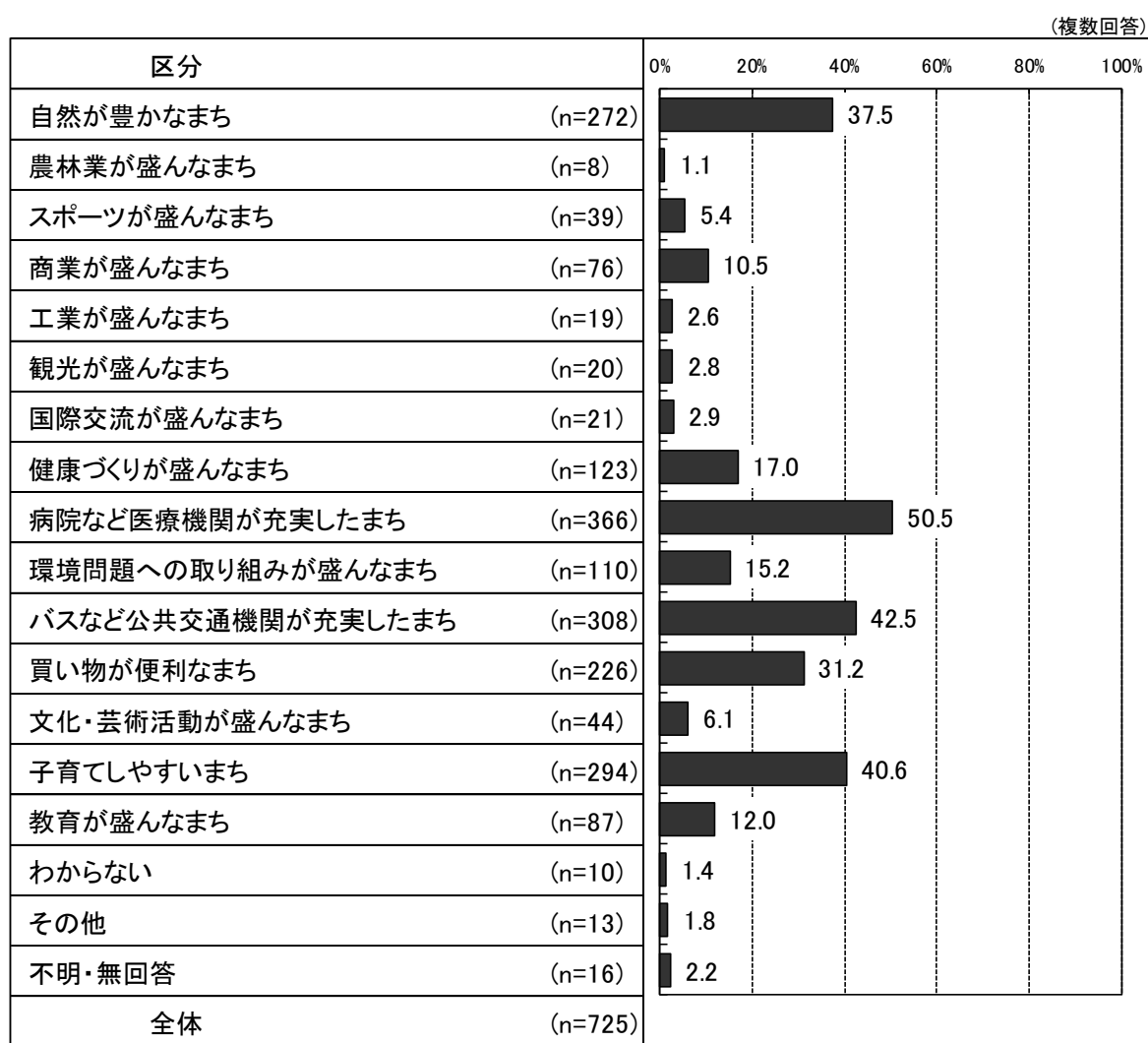


問 17 今後、香芝市をどのようなまちにしたいですか。（あてはまるもの3つまでに○）

「病院など医療機関が充実したまち」が 50.5%で最も多く、次いで「バスなど公共交通機関が充実したまち」が 42.5%、「子育てしやすいまち」が 40.6%が続いています。

年齢別にみると、「自然が豊かなまち」では 60 歳以上が 40-59 歳より回答割合が高くなっています。「健康づくりが盛んなまち」「病院など医療機関が充実したまち」「環境問題への取り組みが盛んなまち」では年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。逆に「スポーツが盛んなまち」「子育てしやすいまち」「教育が盛んなまち」では 16-39 歳の回答割合が高くなっています。「バスなど公共交通機関が充実したまち」では 16-39 歳で回答割合が低くなっています。

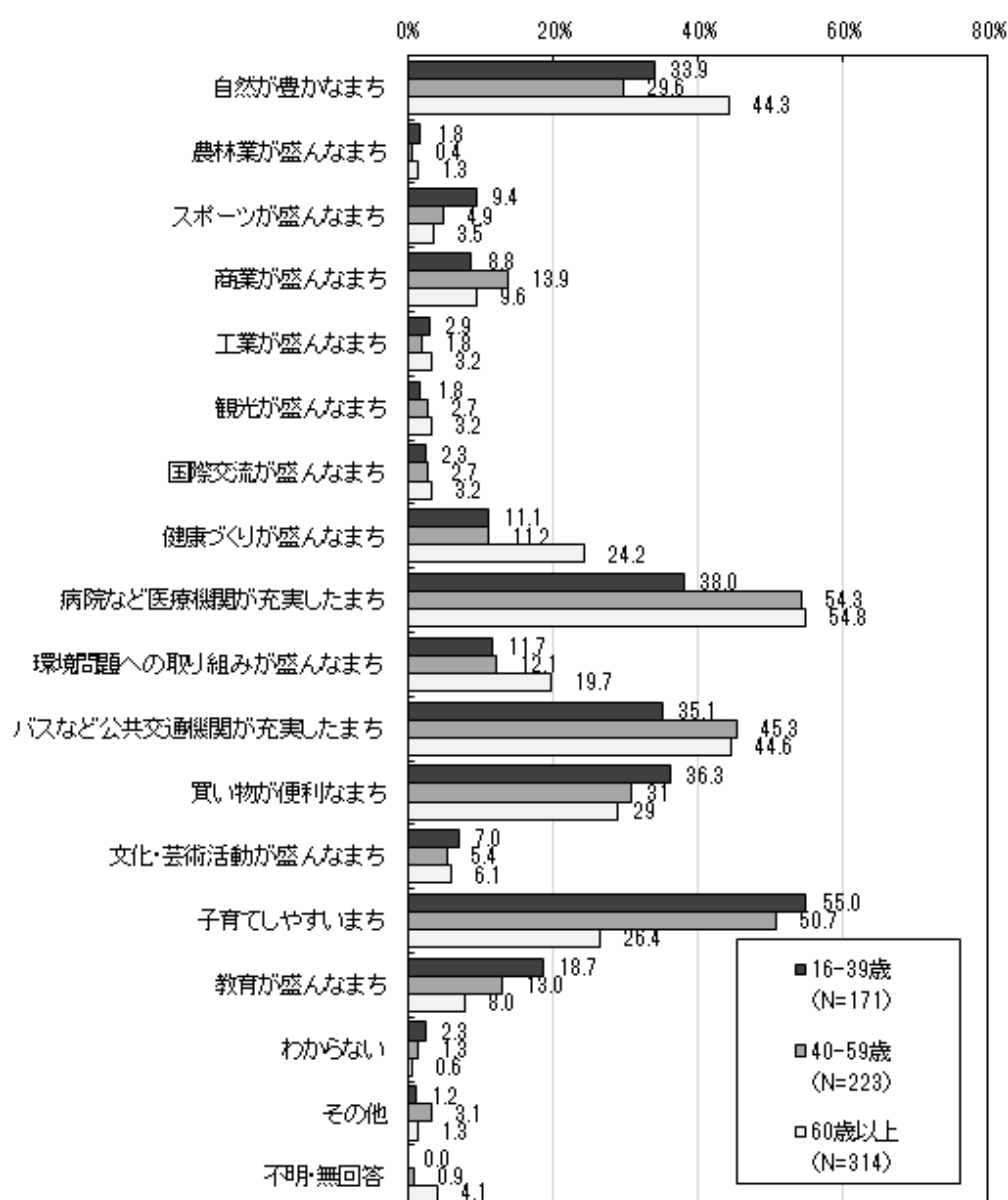
前回（H27）調査からの変化をみると、「病院など医療機関が充実したまち」は年々減少していますが、どの年度においても回答割合が最も多い状態が続いています。「バスなど公共交通機関が充実したまち」では令和元年度は前年度より大きく増加しています。



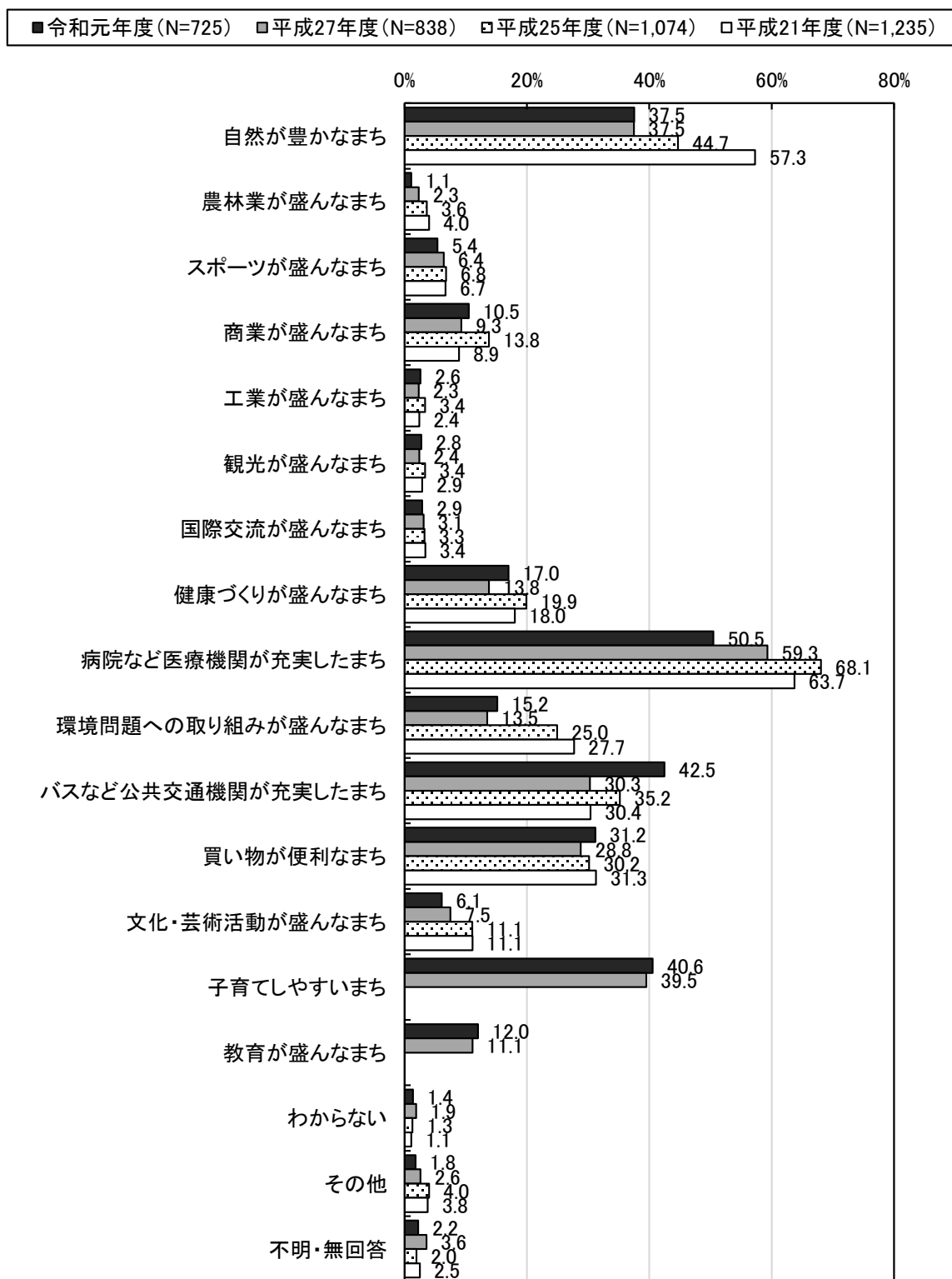
■「その他」の内容

内容	件数
高齢者が安心してらせるまち	3
税金が今より安いまち	1
障害者や高齢者にやさしいまち。	1
ボランティアなどの助け合いができるまち	1
バスの充実したまち	1
香芝市といえばこれという武器をもったまち	1
自然豊かな中でおしゃれな店が多く、若い人が集まり治あんがよいまち	1
みんなが困ることのないまち	1
財政健全	1

■年齢別



■過去（H21・H25・H27）調査からの変化

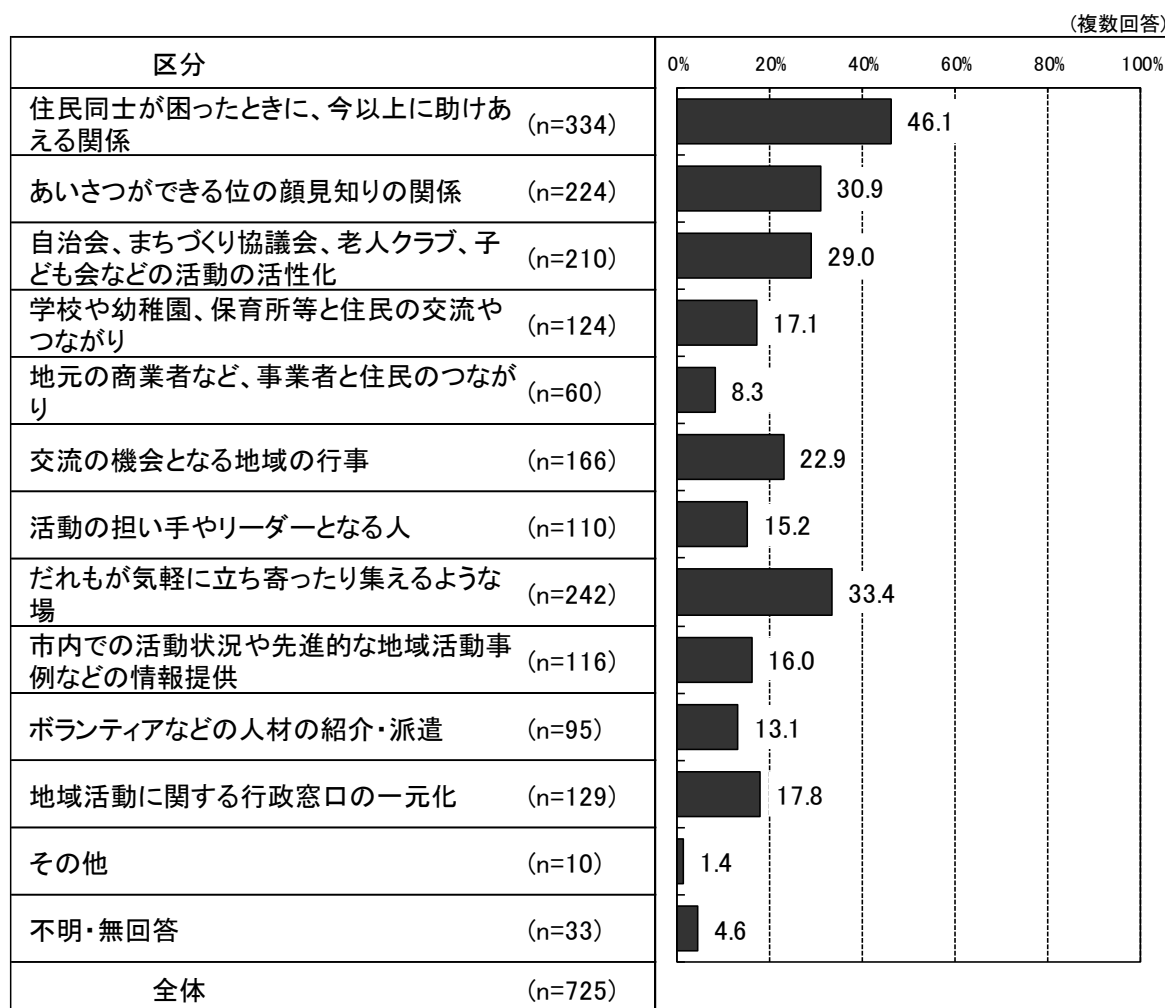


※平成 21 年度調査、25 年度調査では、「子育てしやすいまち」「教育が盛んなまち」は項目にありませんでした。

問 18 住民の皆さんが、いきいきと地域の活動に取り組んでいただけるようにするためには、何が大切だと思いますか。（あてはまるものに3つまでに○）

「住民同士が困ったときに、今以上に助けあえる関係」が46.1%で最も多く、次いで「だれもが気軽に立ち寄ったり集えるような場」が33.4%、「あいさつができる位の顔見知りの関係」が30.9%が続いています。

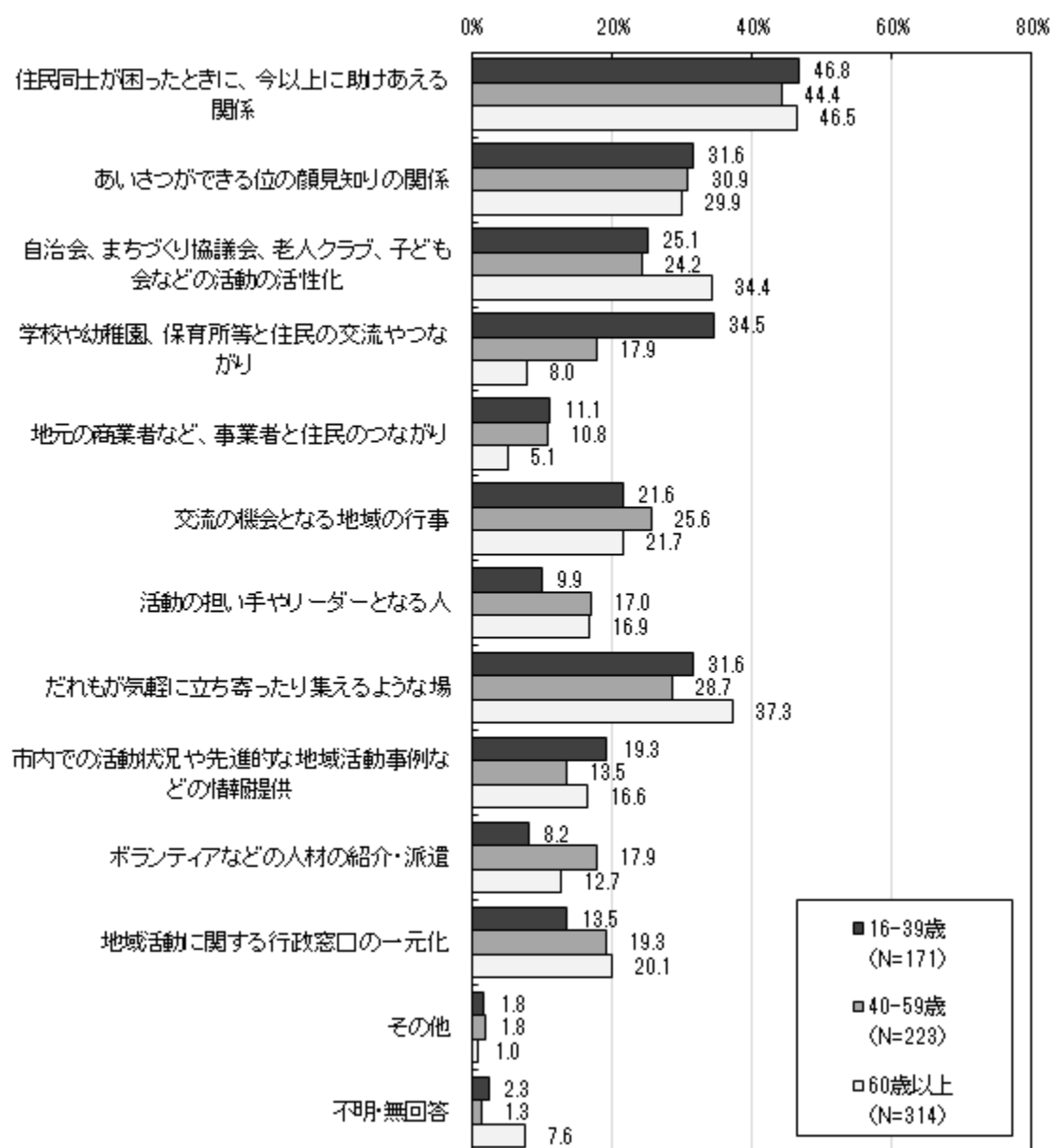
年齢別にみると、「自治会、まちづくり協議会、老人クラブ、子ども会などの活動の活性化」「だれもが気軽に立ち寄ったり集えるような場」では60歳以上が他の年代より回答割合が高くなっています。「学校や幼稚園、保育所等と住民の交流やつながり」「地元の事業者など、事業者と住民のつながり」では16-39歳の回答割合が高くなっています。「ボランティアなどの人材の紹介・派遣」では40-59歳で回答割合が高くなっています。



■「その他」の内容

内容	件数
近隣住民への思いやり	1
地域活動に取り組む必要が感じられない、	1
役所の方の仕事のやる気度。	1
住民全員がさかんな地域活動を望んでいないのでは	1
公園等の活用出来る場所の充実	1
活動を支える公的な人(市の人)	1

■年齢別



IV. 地方創生の取り組み(就労・雇用、子育てなど)について

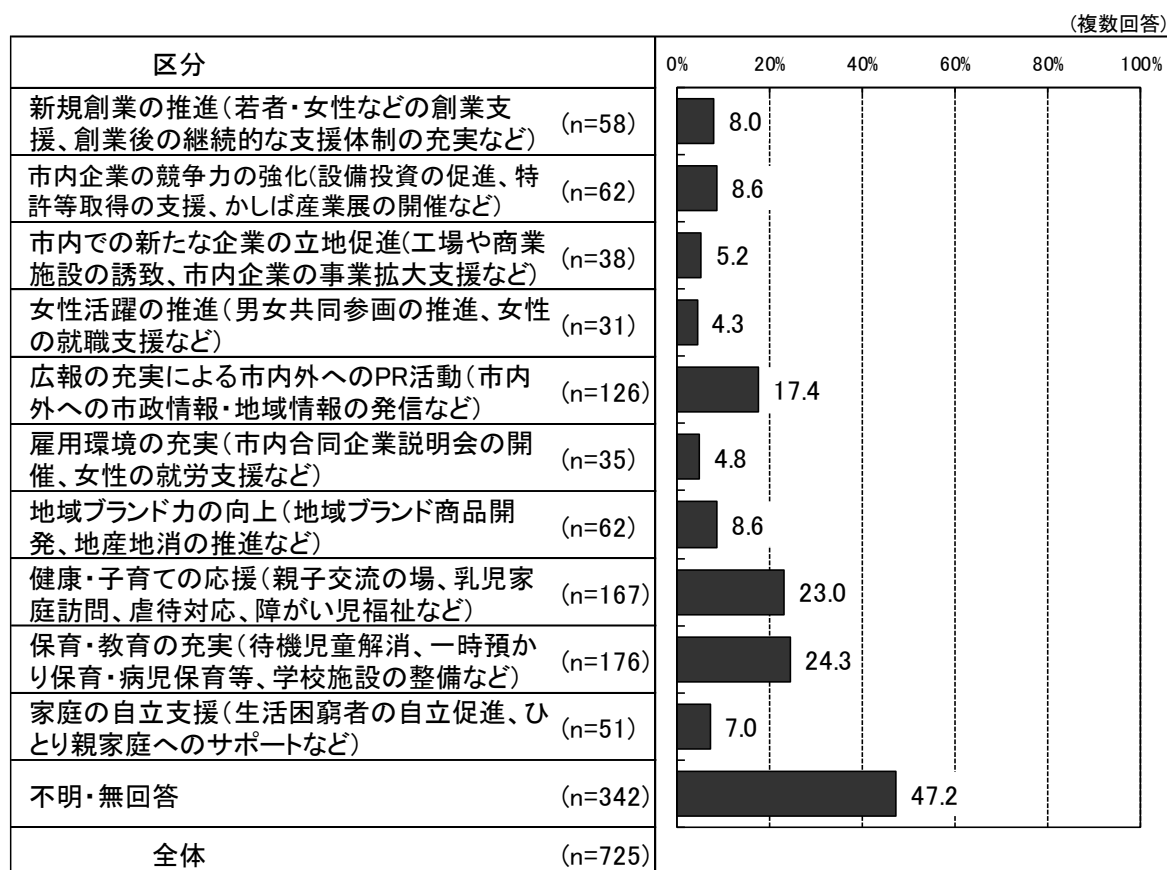
問 19 香芝市では以下の事業について取り組んでいます。①進んでいると感じる取り組み、②進んでいないと感じる取り組みについて、それぞれ3つまで選んで、取り組みの番号を該当する欄にご記入ください。

また、香芝市が活性化し、「働く場」「訪れる場」「産み育てる場」として選んでもらうために、③進めると効果的だと思う取り組みについて、あてはまるものを3つまで選んで、取り組みの番号を該当する欄にご記入ください。

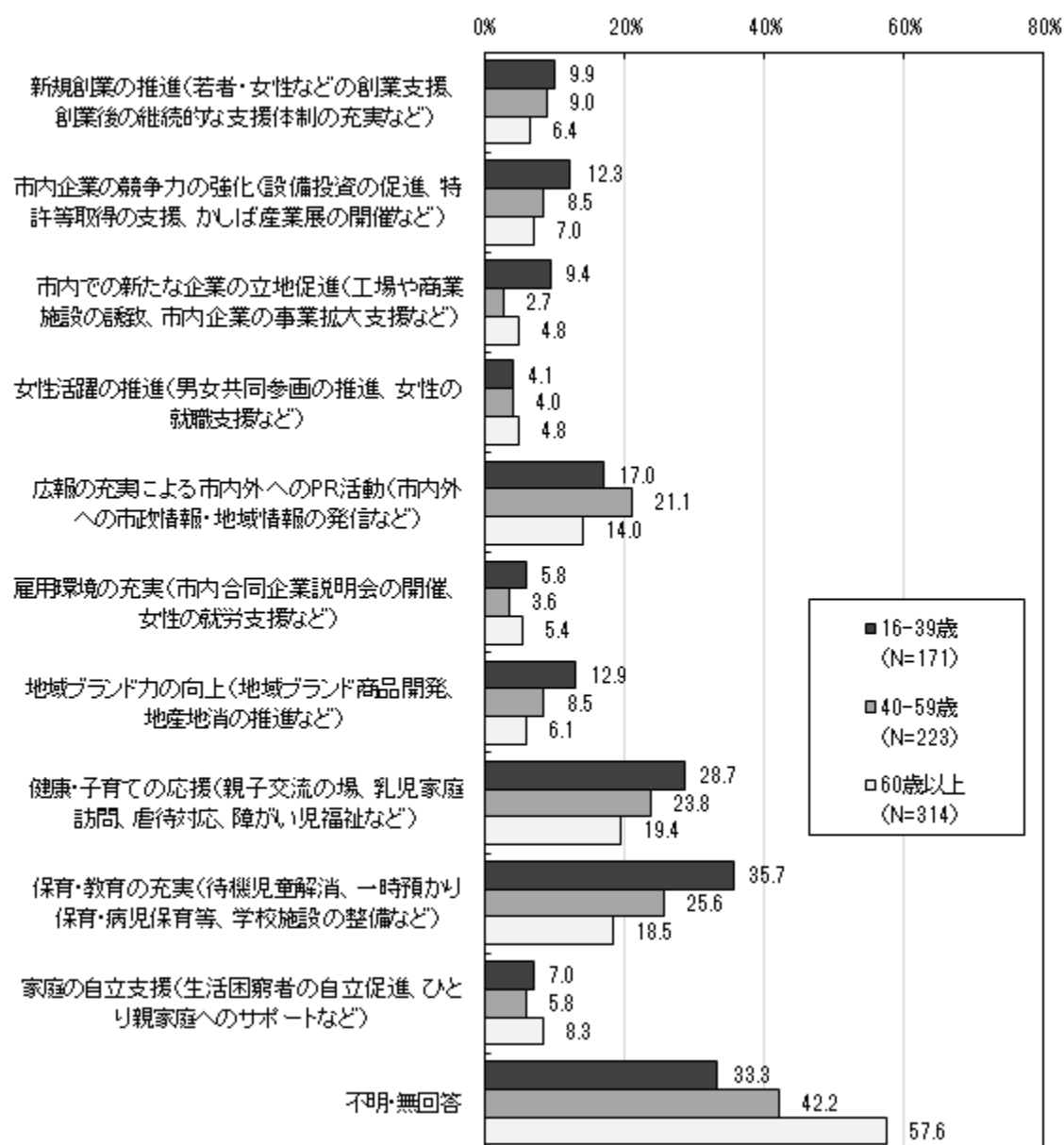
①進んでいると感じる取り組み

「保育・教育の充実（待機児童解消、一時預かり保育・病児保育等、学校施設の整備など）」が 24.3%で最も多く、次いで「健康・子育ての応援（親子交流の場、乳児家庭訪問、虐待対応、障がい児福祉など）」が 23.0%、「広報の充実による市内外へのPR活動（市内外への市政情報・地域情報の発信など）」が 17.4%で続いています。

年齢別にみると、「市内での新たな企業の立地促進（工場や商業施設の誘致、市内企業の事業拡大支援など）」では 40-59 歳の回答割合が低くなっています。「家庭の自立支援（生活困窮者の自立促進、ひとり親家庭へのサポートなど）」では 60 歳以上が 16-59 歳より回答割合が高くなっています。



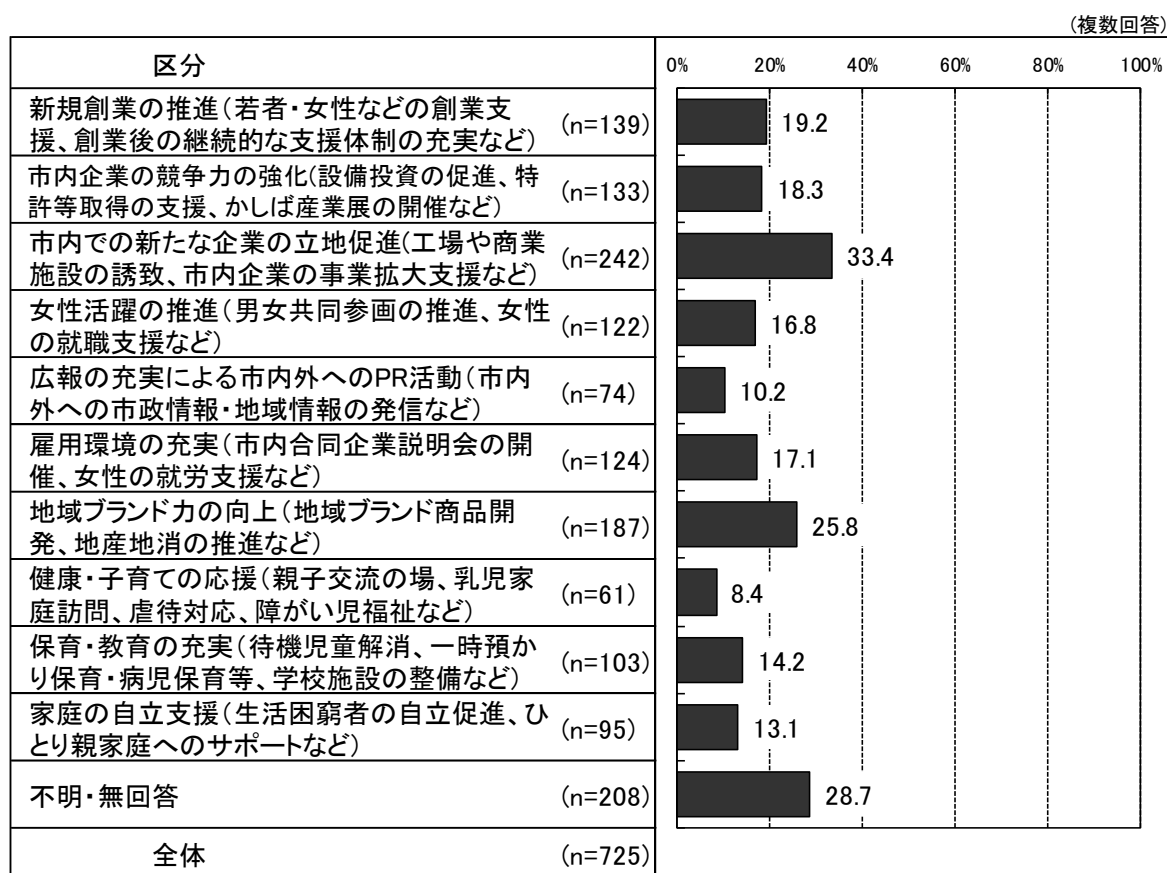
■ 年齢別



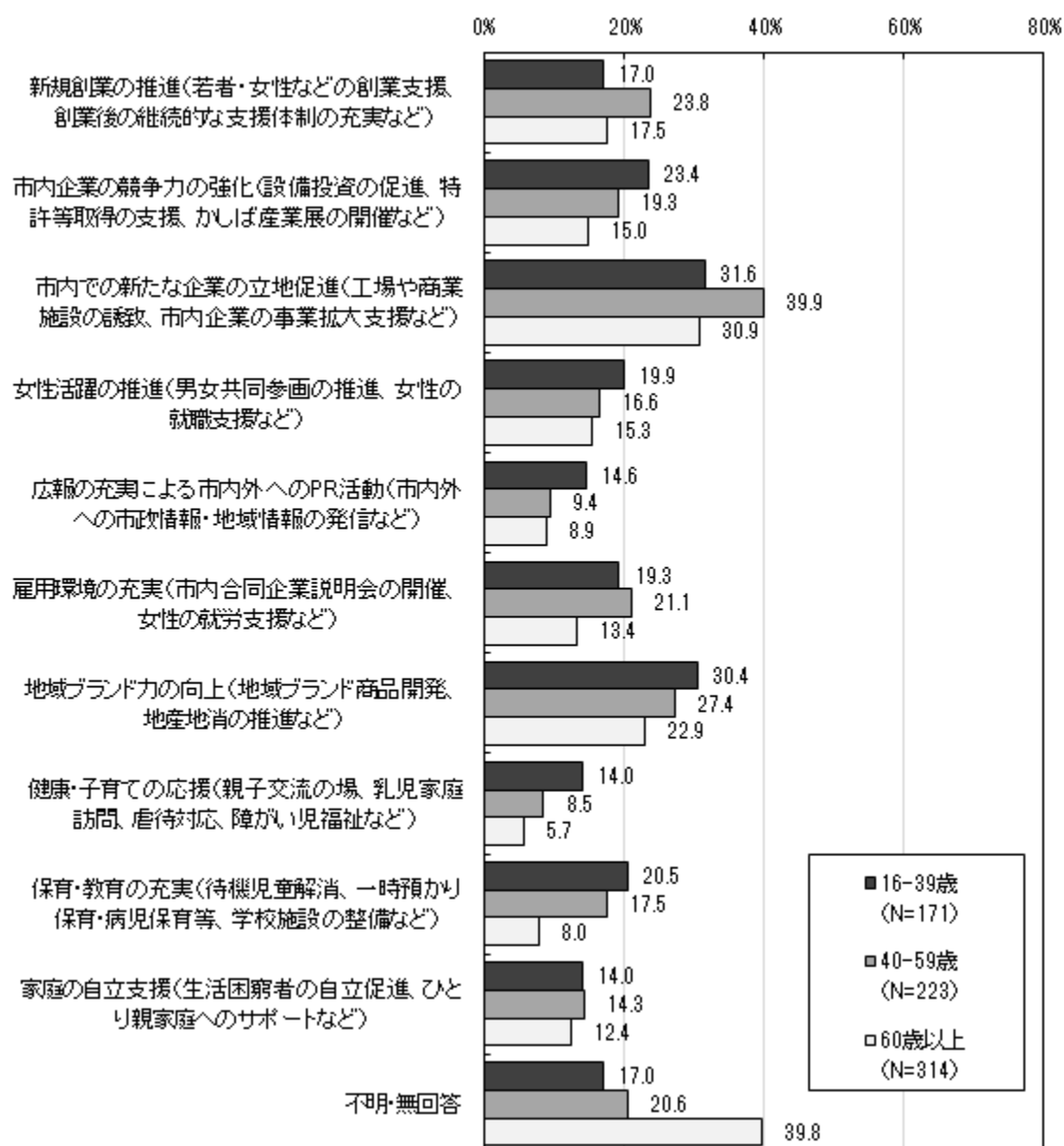
②進んでいないと感じる取り組み

「市内での新たな企業の立地促進（工場や商業施設の誘致、市内企業の事業拡大支援など）」が 33.4%で最も多く、次いで「地域ブランド力の向上（地域ブランド商品開発、地産地消の推進など）」が 25.8%、「新規創業の推進（若者・女性などの創業支援、創業後の継続的な支援体制の充実など）」が 19.2%で続いています。

年齢別にみると、16-39 歳では「保育・教育の充実（待機児童解消、一時預かり保育・病児保育等、学校施設の整備など）」の回答割合が高くなっています。



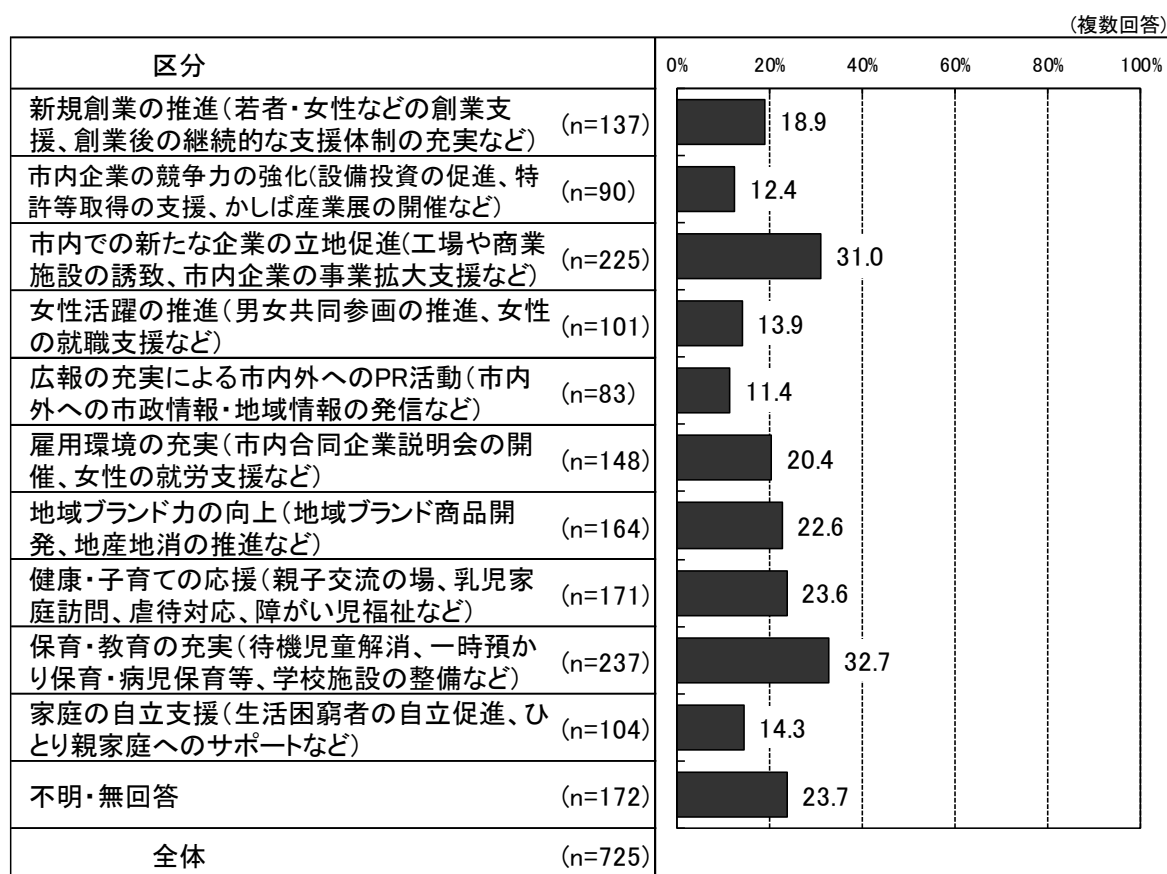
■ 年齢別



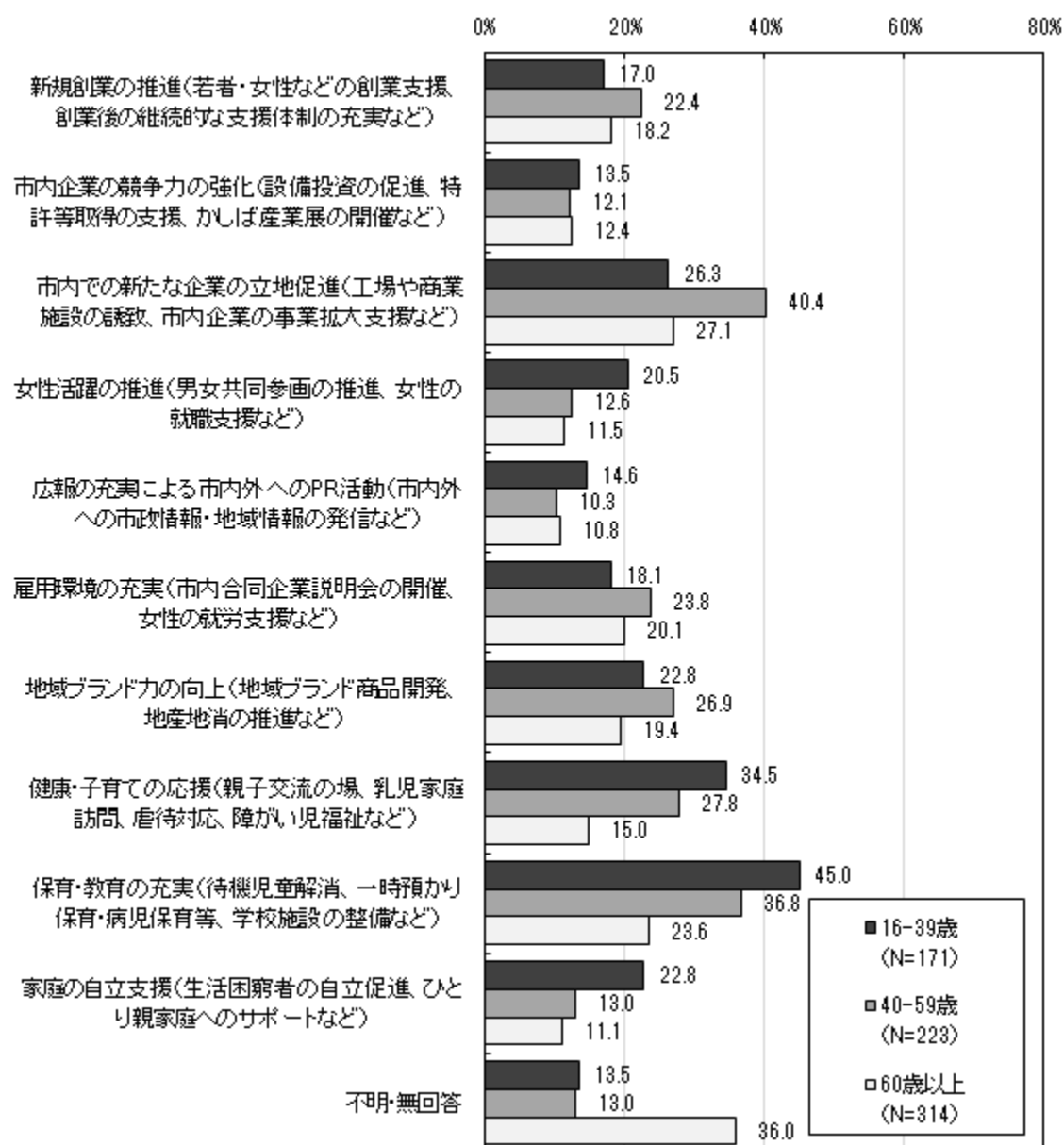
③進めると効果的だと思う取り組み（①②と重複可）

「保育・教育の充実（待機児童解消、一時預かり保育・病児保育等、学校施設の整備など）」が 32.7%で最も多く、次いで「市内での新たな企業の立地促進（工場や商業施設の誘致、市内企業の事業拡大支援など）」が 31.0%、「健康・子育ての応援（親子交流の場、乳児家庭訪問、虐待対応、障がい児福祉など）」が 23.6%で続いています。

年齢別にみると、「市内での新たな企業の立地促進（工場や商業施設の誘致、市内企業の事業拡大支援など）」では 40-59 歳が 16-39 歳より回答割合が高くなっています。「健康・子育ての応援（親子交流の場、乳児家庭訪問、虐待対応、障がい児福祉など）」「保育・教育の充実（待機児童解消、一時預かり保育・病児保育等、学校施設の整備など）」では 16-39 歳の回答割合が高くなっています。「家庭の自立支援（生活困窮者の自立促進、ひとり親家庭へのサポートなど）」では 16-39 歳が 40 歳以上より回答割合が高くなっています。



■ 年齢別



問 20 香芝市を「働く場」「訪れる場」「産み育てる場」として選んでもらうために、問 19 に挙げた取り組み以外に、どのような取り組みが必要だと思いますか。自由にお書きください。

「働く場」「訪れる場」「産み育てる場」として選んでもらうために必要な取組として「教育・子育て支援」が最も多くなっています。選択肢においても「保育・教育の充実」は回答割合が最も高いことから、「産み育てる場」としての取り組みが強く望まれていることがうかがえます。

次いで「公共交通」「商業の発展・商業施設の誘致」「地域経済の発展」が多くなっています。「働く場」「訪れる場」として、商業をはじめとする地域経済の発展や、公共交通が便利になるための取り組みが望まれていることがうかがえます。

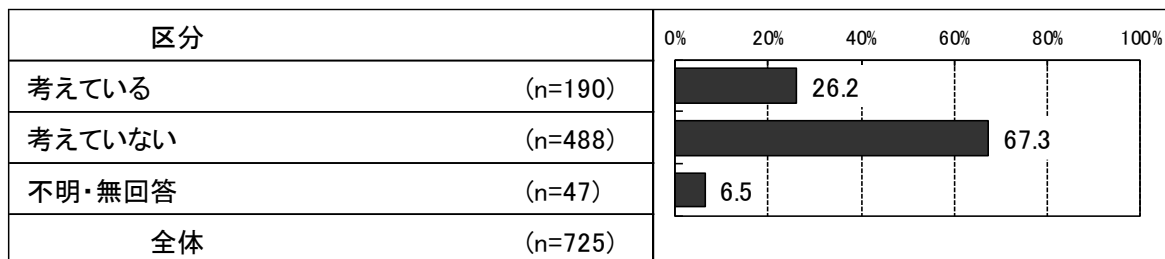
キーワード	件数		キーワード	件数
教育・子育て支援	32		障害者支援	3
公共交通	20		市の広報の充実	3
商業の発展・商業施設の誘致	19		自然破壊・環境問題	3
地域経済の発展	15		趣味・余暇・楽しみ	3
道路整備が必要	13		宿泊施設の充実	2
医療体制の充実	11		防災対策	2
雇用・就労	10		財政の健全化	2
ブランド力の向上	9		公園の整備・利用	2
まちづくり・地域コミュニティ	6		行政の積極的な行動	2
市民と行政の協働	5		住宅都市の強化	2
観光産業の発展	4		外国人との交流	2
空き家対策	4		大学誘致	1
駅前対策	4		地域の安全・安心	1
高齢者支援	3		健康増進	1
高校・大学生支援	3			

<産業振興・人の流れの創出について>

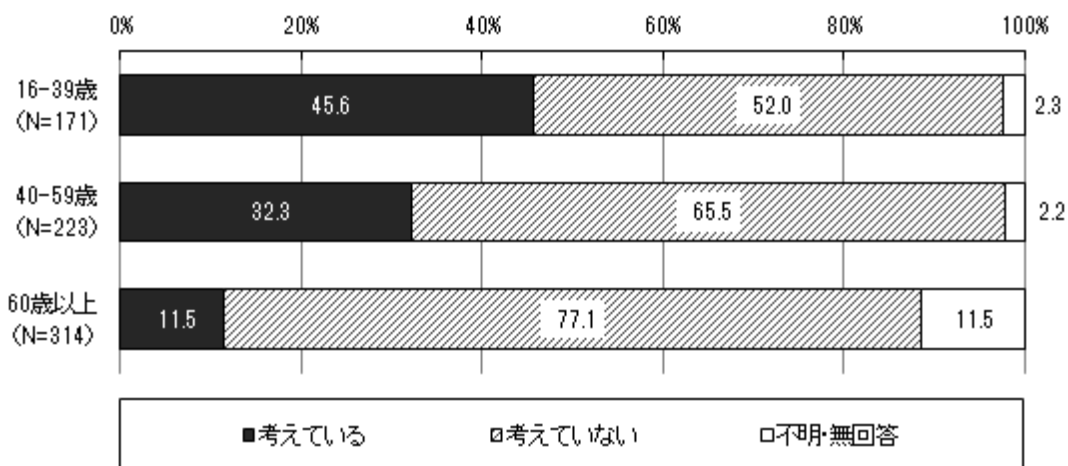
問 21 あなたは今後、就職や転職を考えていますか。（1つに○）

「考えていない」が 67.3%、「考えている」が 26.2%となっています。

年齢別にみると、「考えている」では年齢が上がるにつれ回答割合が低くなっています。逆に「考えていない」では年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。



■年齢別

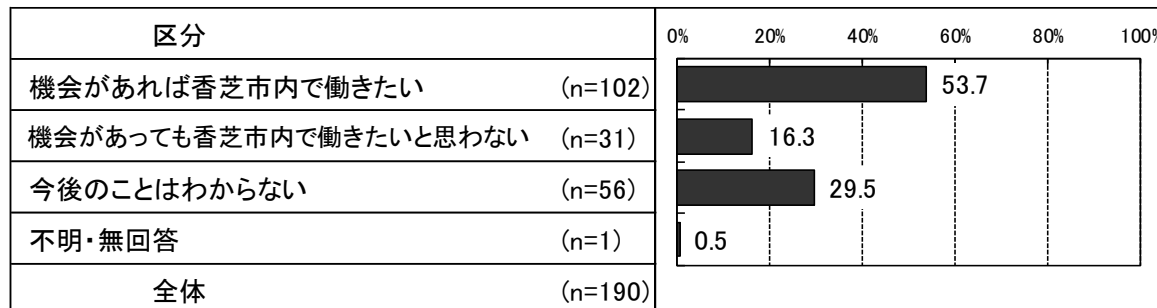


問 22 問 21 で「考えている」に○をつけた方のみお答えください。

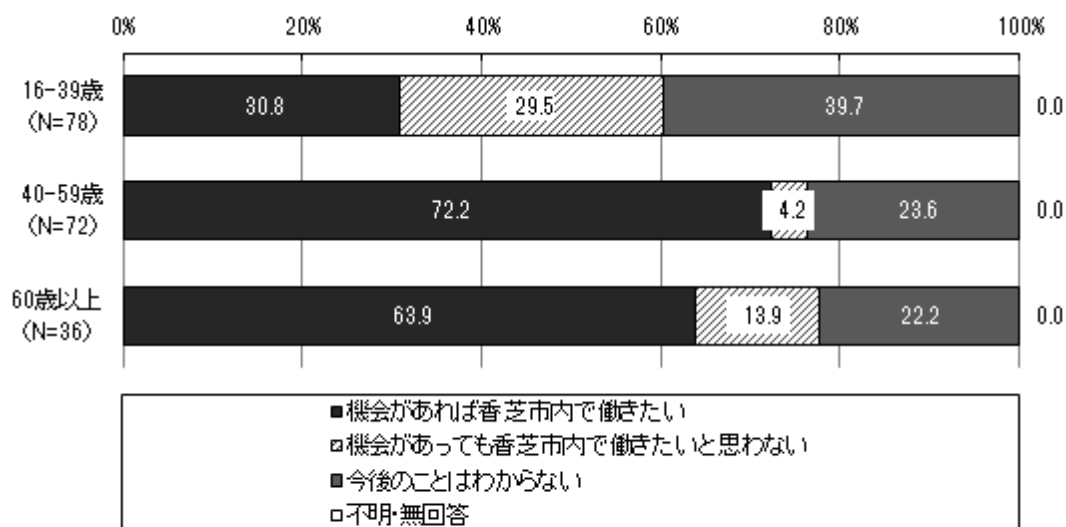
転職・就職の際、香芝市内で働く機会があれば、働きたいと思いますか。（1つに○）

「機会があれば香芝市内で働きたい」が 53.7%で最も多く、次いで「今後のことはわからない」が 29.5%、「機会があっても香芝市内で働きたいと思わない」が 16.3%が続いています。

年齢別にみると、「機会があれば香芝市内で働きたい」では 40-59 歳の回答割合が高くなっています。逆に「機会があっても香芝市内で働きたいと思わない」では 16-39 歳の回答割合が高くなっています。「今後のことはわからない」では 16-39 歳が 40 歳以上より回答割合が高くなっています。



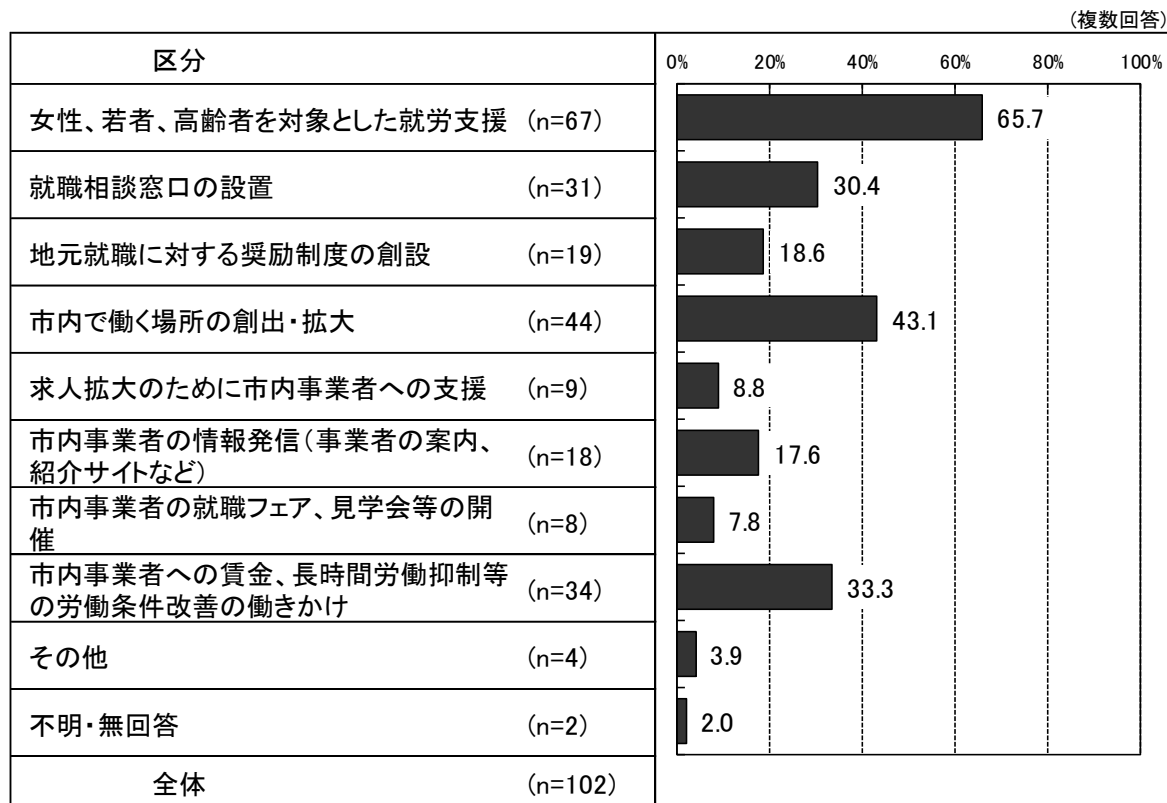
■ 年齢別



問 23 問 22 で「機会があれば香芝市内で働きたい」に○をつけた方のみお答えください。
就労・雇用について、香芝市にどのような支援策を望みますか。（あてはまるもの3 つまでに○）

「女性、若者、高齢者を対象とした就労支援」が 65.7%で最も多く、次いで「市内で働く場所の創出・拡大」が 43.1%、「市内事業者への賃金、長時間労働抑制等の労働条件改善の働きかけ」が 33.3%が続いています。

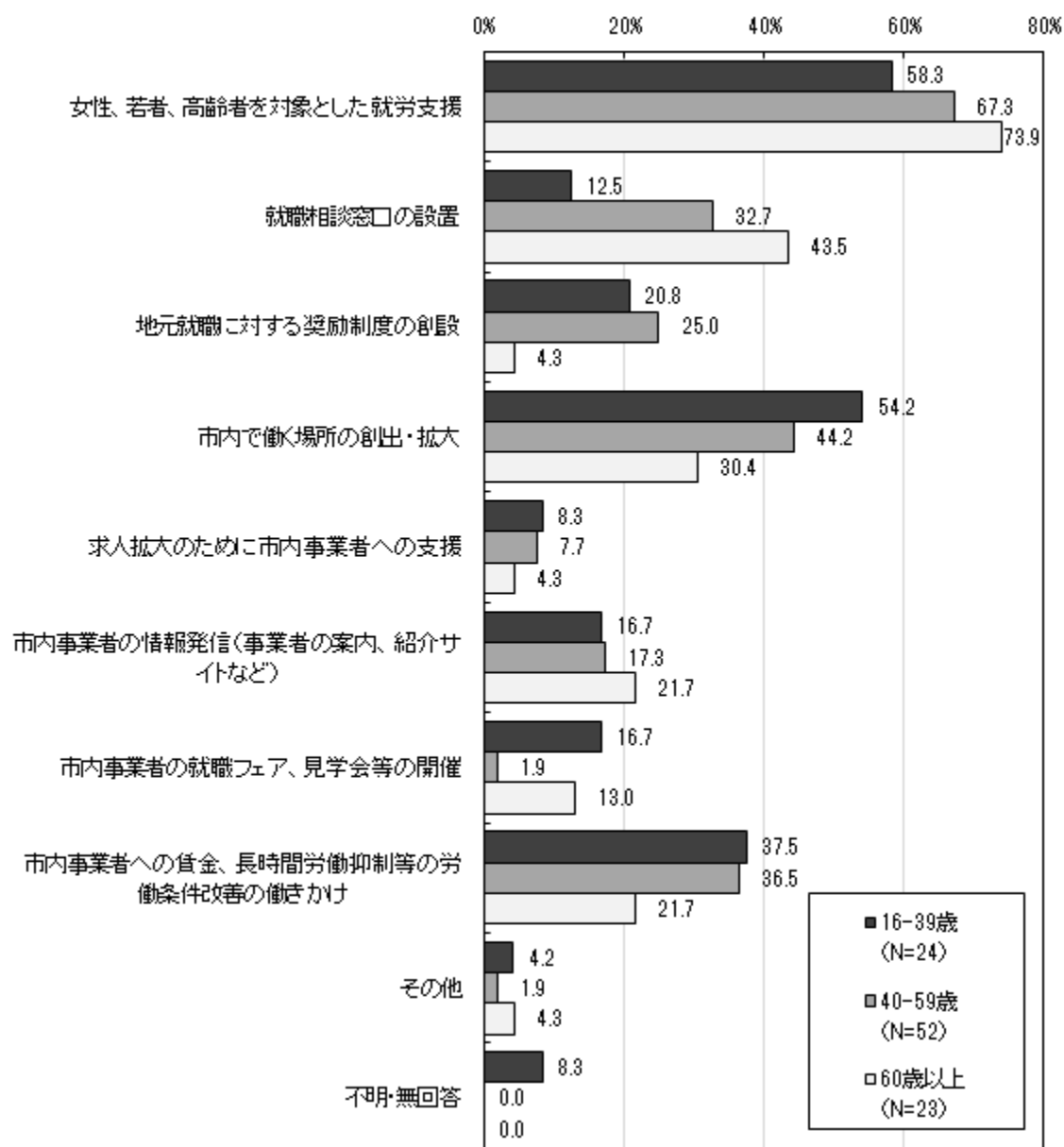
年齢別にみると、「市内事業者の就職フェア、見学会等の開催」では 40-59 歳の回答割合が低くなっています。



■「その他」の内容

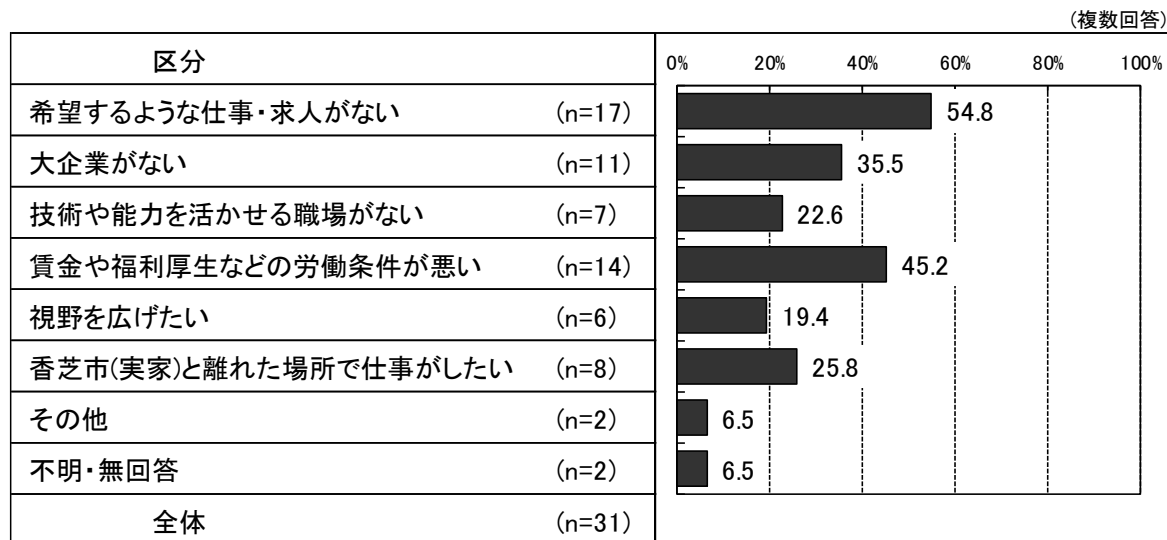
内容	件数
シルバー人材センター	1
就職のための訓練と紹介の施設	1
香芝市の働き方へのビジョンの提示と新しい働き方	1
障がい者の就労・雇用	1

■年齢別



問 24 問 22 で「機会があっても香芝市内で働きたいと思わない」に○をつけた方のみお答えください。
香芝市内で働きたいと思わない理由は何ですか。（あてはまるもの3つまでに○）

「希望するような仕事・求人がない」が 54.8%で最も多く、次いで「賃金や福利厚生などの労働条件が悪い」が 45.2%、「大企業がない」が 35.5%で続いています。



■「その他」の内容

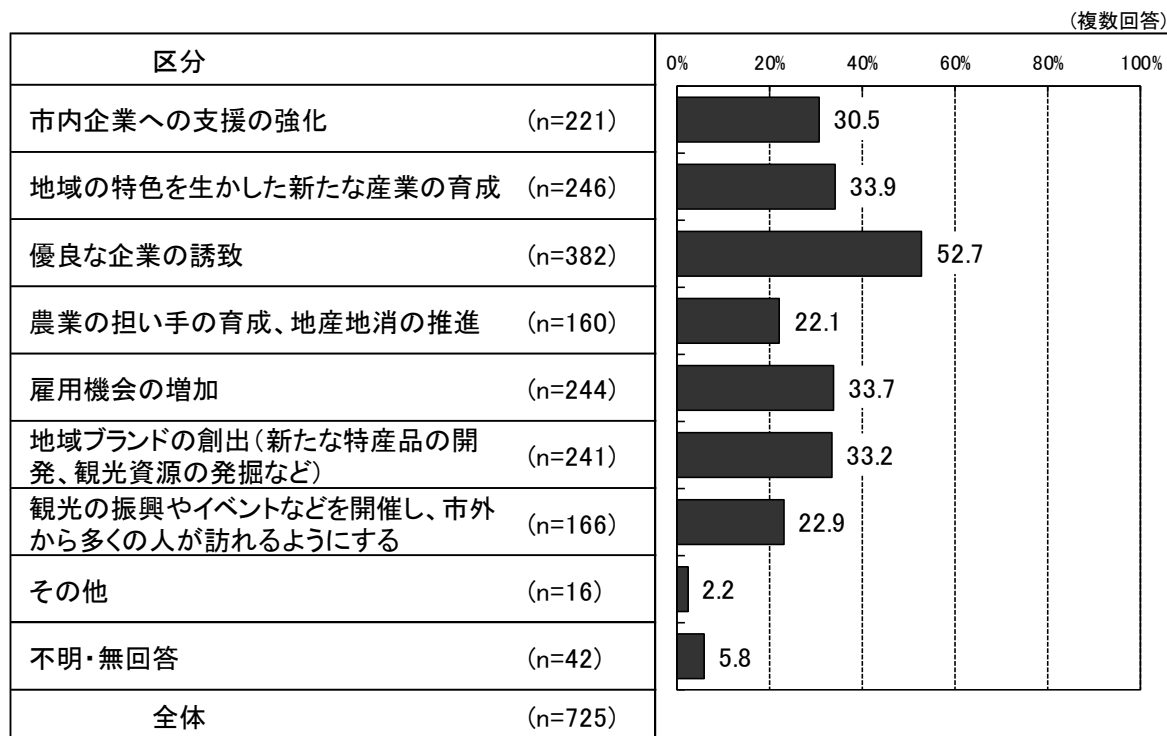
内容	件数
現在の仕事を続ける。	1
転職して便利な条件になることがむずかしい	1

問 25 すべての方にうかがいます。

市内産業の活性化を図るためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）

「優良な企業の誘致」が52.7%で最も多く、次いで「地域の特色を生かした新たな産業の育成」が33.9%、「雇用機会の増加」が33.7%で続いています。

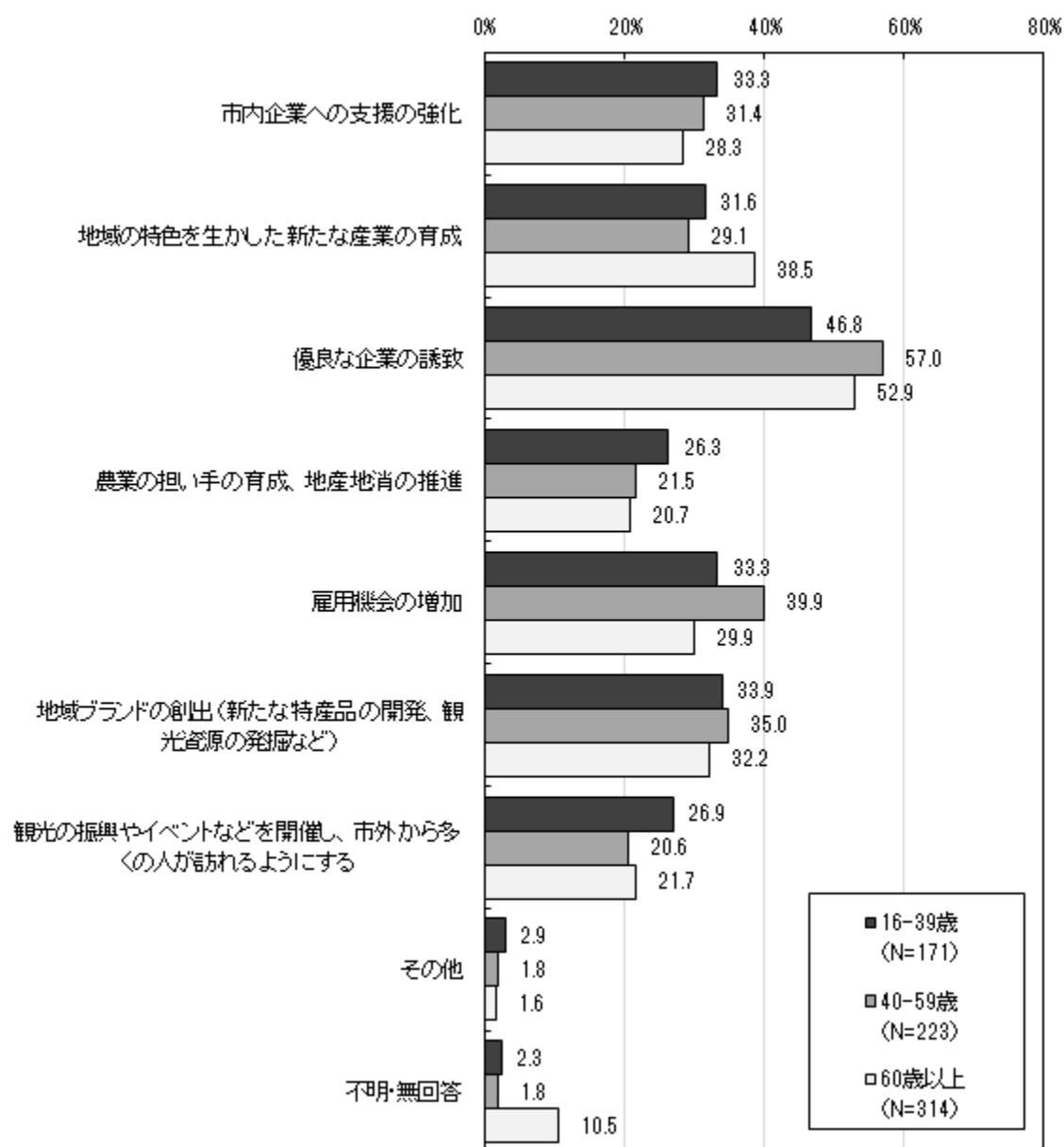
年齢別にみると、「地域の特色を生かした新たな産業の育成」では60歳以上が40-59歳より回答割合が高くなっています。



■「その他」の内容

内容	件数
就職への意識改革	1
駅前発展	1
空き家・空き店舗・工場対策	1
仕事の差別化をなくす	1
道の駅的なもの	1
企業家は高速IC近くの広大用地をさがしている。分川池の高速北側など欲しい資本家が居るのではないかな。今なら周辺住民も居ないので、道路整備に誘地すれば良い	1
将来性のある個人経営(店舗)者を守るような取り組み(これ以上大型店舗はいらない)	1
市内産業の活性化は難しいので車をもっていない人のベッドタウンとしての強化希望	1

■ 年齢別



<出産・子育て支援について>

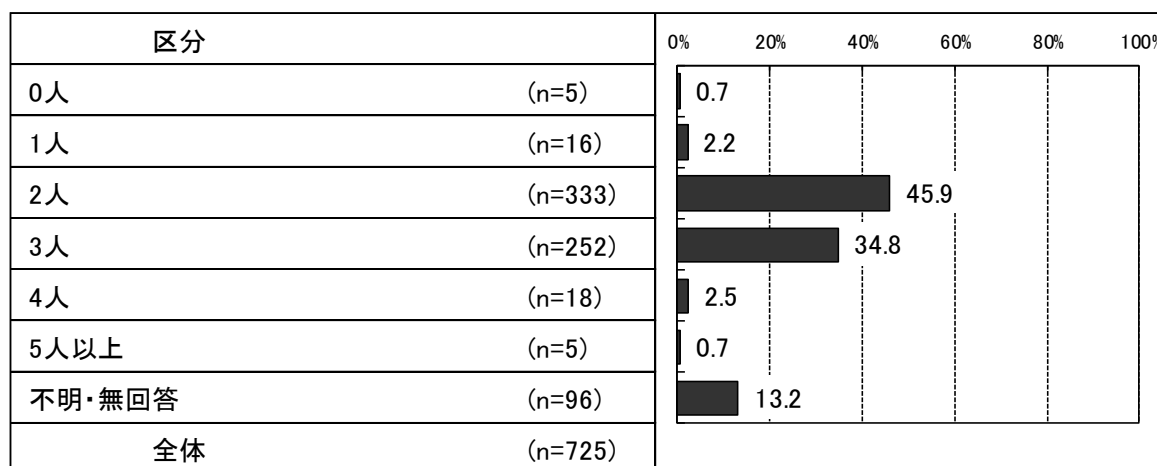
問 26 あなたにとって、①理想的な子どもの人数、②実際に予定している（いた）子どもの人数、③現在の子どもの人数はそれぞれ何人ですか。すべての方にうかがいます。

①理想的な子どもの人数

「2人」が45.9%で最も多く、次いで「3人」が34.8%、「4人」が2.5%が続いています。平均は2.5人となっています。

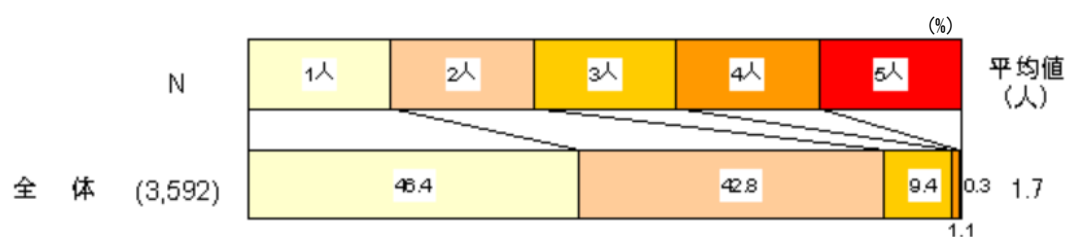
年齢別にみると、「2人」では16-59歳が60歳以上より回答割合が高くなっています。逆に「3人」では16-59歳より60歳以上の回答割合が高くなっています。

前回（H27）調査からの変化をみると、「2人」は増加し、「3人」は減少しています。

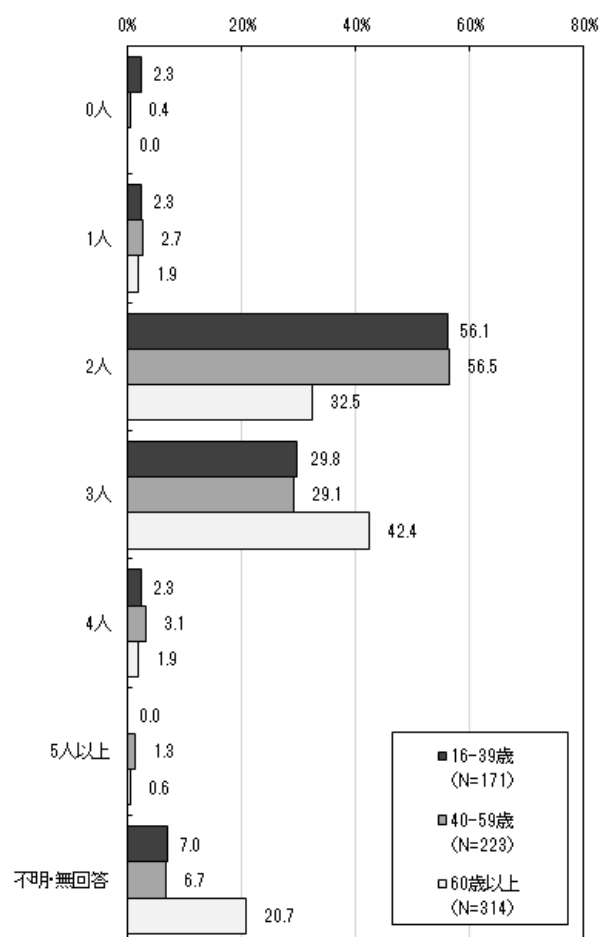


【参考】全国調査における子どもの人数

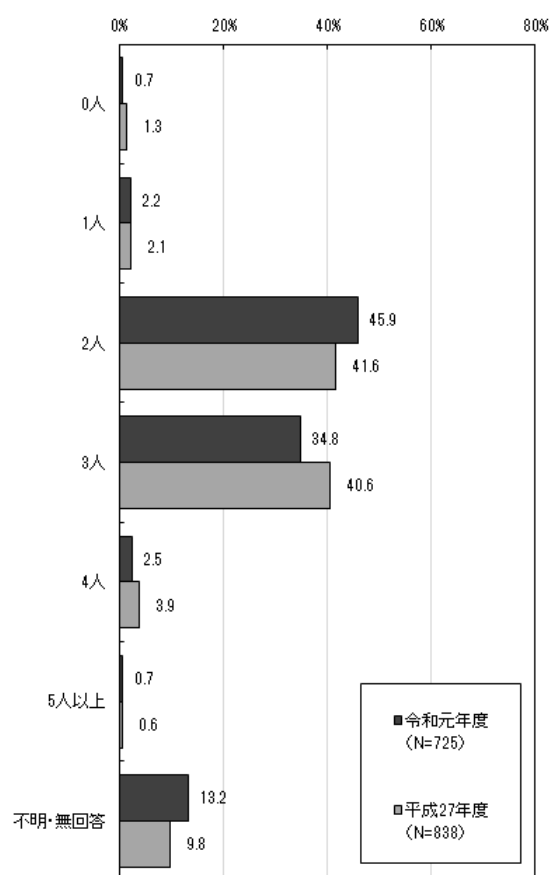
（インターネット等による少子化施策の点検・評価のための利用者意向調査 最終報告書）



■ 年齡別



■ 前回（H27）調査からの変化

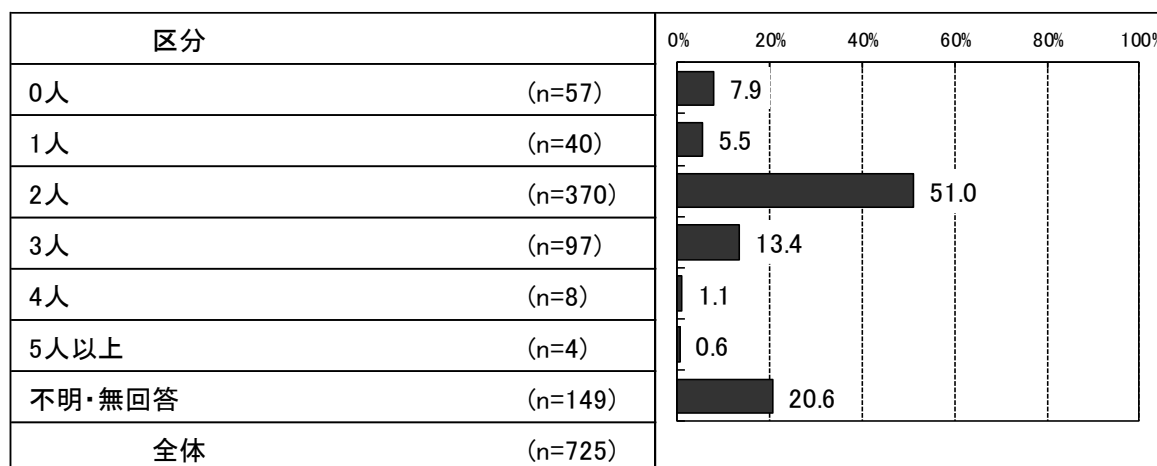


②実際に予定している（いた）子どもの人数

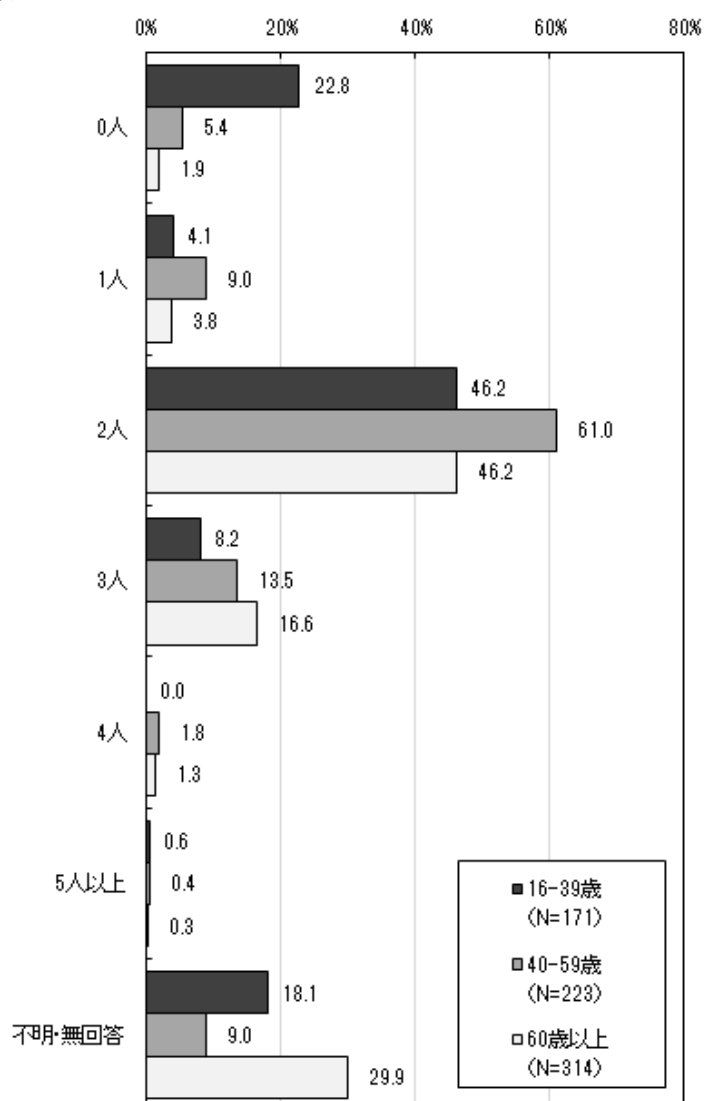
「2人」が51.0%で最も多く、次いで「3人」が13.4%、「0人」が7.9%が続いています。平均は2.0人となっています。

年齢別にみると、「0人」では16-39歳で回答割合が高くなっています。「1人」「2人」では40-59歳の回答割合が高くなっています。「3人」では年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。

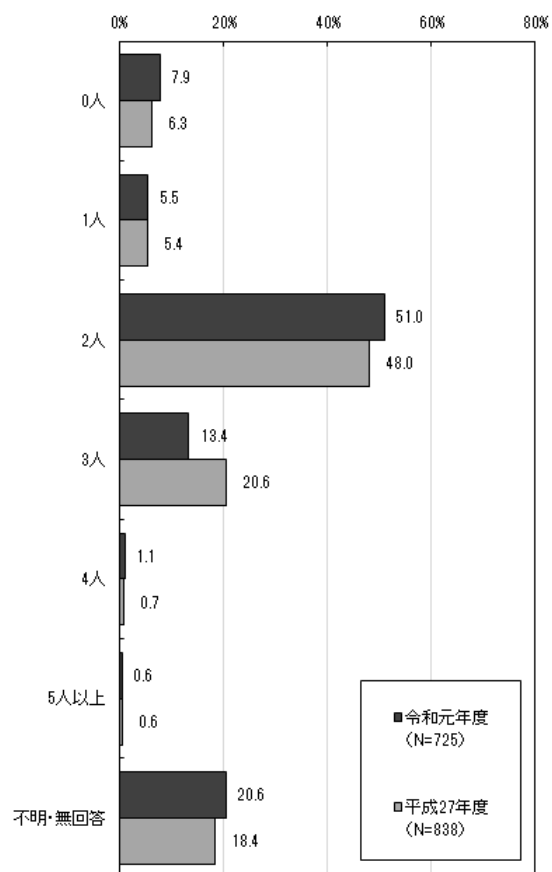
前回（H27）調査からの変化をみると、「2人」は増加し、「3人」は減少しています。



■年齢別

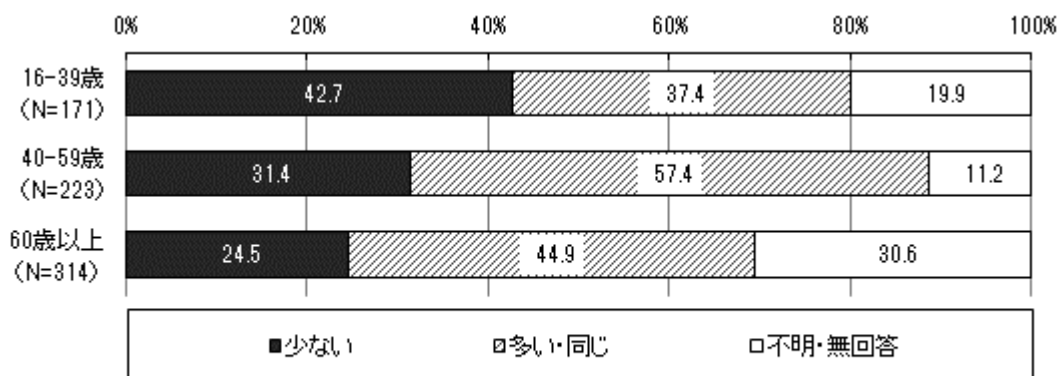


■前回（H27）調査からの変化



問 26 で①理想的な子どもの人数より②実際に予定している（いた）子どもの人数が少ない

■年齢別

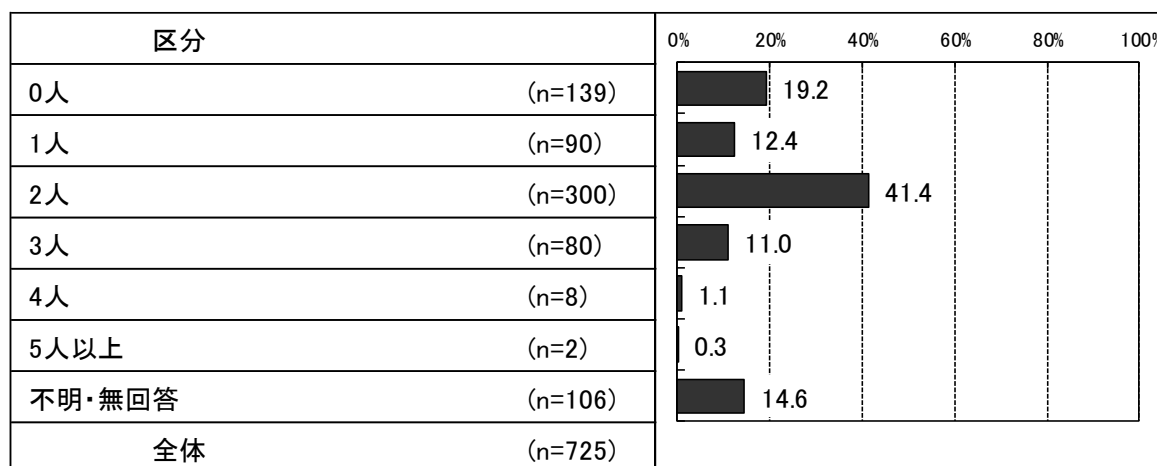


③現在の子どもの人数

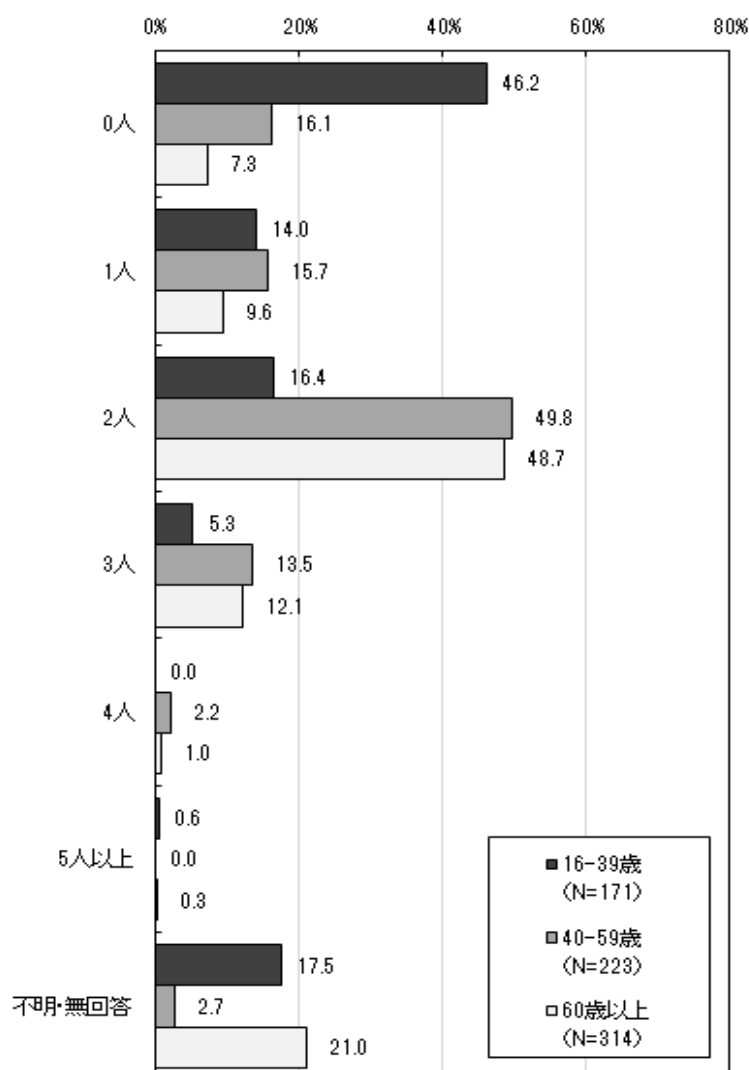
「2人」が41.4%で最も多く、次いで「0人」が19.2%、「1人」が12.4%が続いています。平均は1.6人となっています。

年齢別にみると、「0人」では16-39歳で回答割合が高くなっています。「2人」「3人」では40歳以上の回答割合が高くなっています。

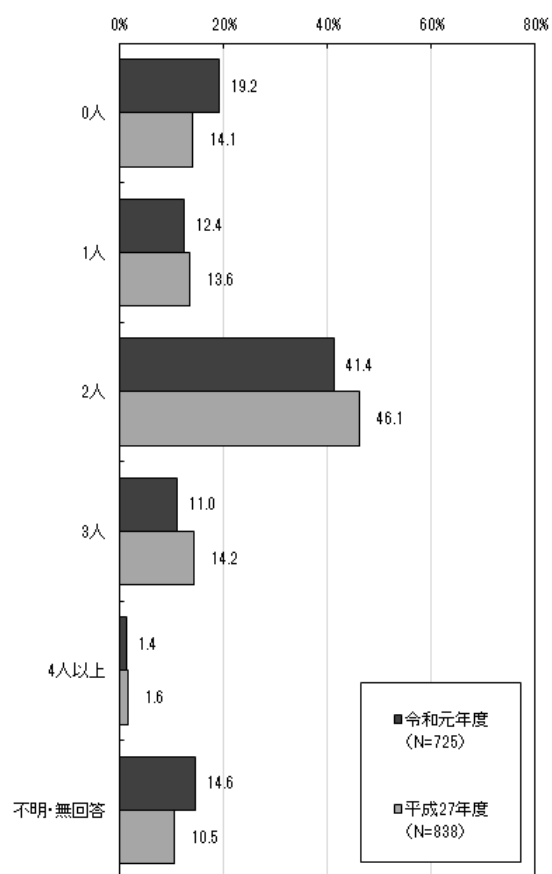
前回（H27）調査からの変化をみると、「0人」は増加し、「2人」「3人」は減少しています。



■年齢別



■前回（H27）調査からの変化



理想的な子どもの人数ごとに、現在の子どもの人数をみると、理想の子どもの人数が「2人」までは、理想的な子どもの人数と現在の子どもの人数が一致している回答割合が最も多くなっています。

一方、理想的な子どもの人数が「3人」、「4人」では現在の子どもの人数が理想より少ない回答割合が最も多くなっています。理想的な子どもの人数が「3人」、「4人」の人は実際の子どもの人数が「2人」の人が多く、理想よりも少ない人が多いことがうかがえます。

また、理想的な子どもの人数「1人」～「4人」における理想より実際の人数の少ない人をみると、約1割～4割の回答割合となっています。

■クロス集計

単位：%

		合計人数	③現在の子どもの人数						
			0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	不明・無回答
全体		725	19.2	12.4	41.4	11.0	1.1	0.3	14.6
①理想的な子どもの人数	0人	5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1人	16	31.3	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	6.3
	2人	333	27.0	12.9	47.4	5.1	0.0	0.0	7.5
	3人	252	12.3	13.5	46.4	19.8	2.0	0.4	5.6
	4人	18	5.6	5.6	38.9	33.3	5.6	0.0	11.1
	5人以上	5	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0

黒く囲った部分は、「理想」より「現在」が少ない

※表の見方

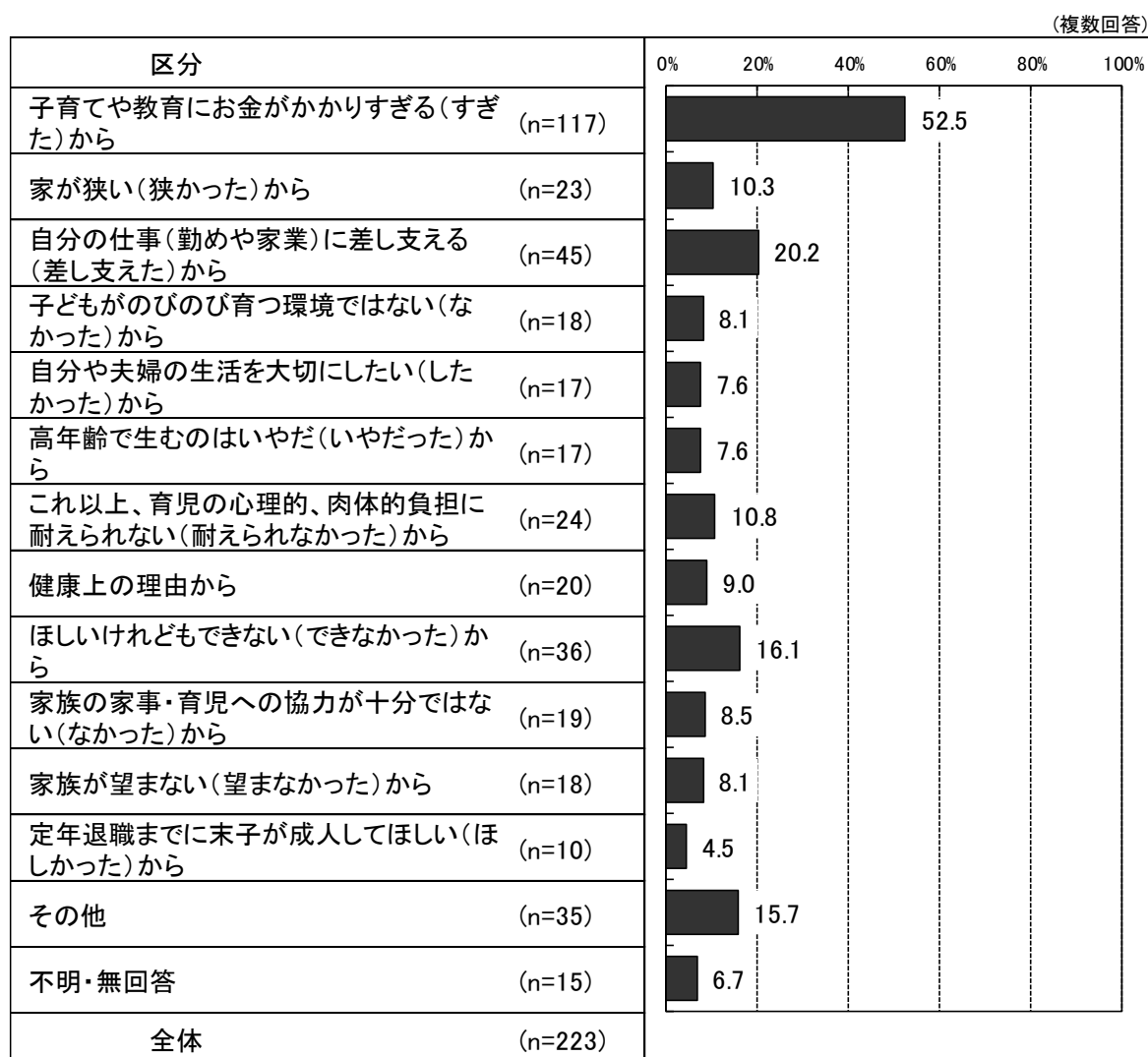
- ・「①理想的な子どもの人数」ごとに「③現在の子どもの人数」を集計。回答割合は「合計人数」に対する割合。
- ・「③現在の子どもの人数」を横に足したものが100%。
- ・数値が白抜き部分は、「①理想的な子どもの人数」における各人数で最も回答割合が高いことを意味する。

問 27 理想の子ども数よりも実際に予定している（いた）子ども数が少ない方（問 26 で①より②が少ない方）にうかがいます。
 子どもの数が理想の人数より少ないのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

「子育てや教育にお金がかかりすぎる（すぎた）から」が 52.5%で最も多く、次いで「自分の仕事（勤めや家業）に差し支える（差し支えた）から」が 20.2%、「ほしいけれどもできない（できなかった）から」が 16.1%で続いています。

年齢別にみると、「高年齢で生むのはいやだ（いやだった）から」では 40-59 歳が 60 歳以上より回答割合が高くなっています。「ほしいけれどもできない（できなかった）から」は年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。

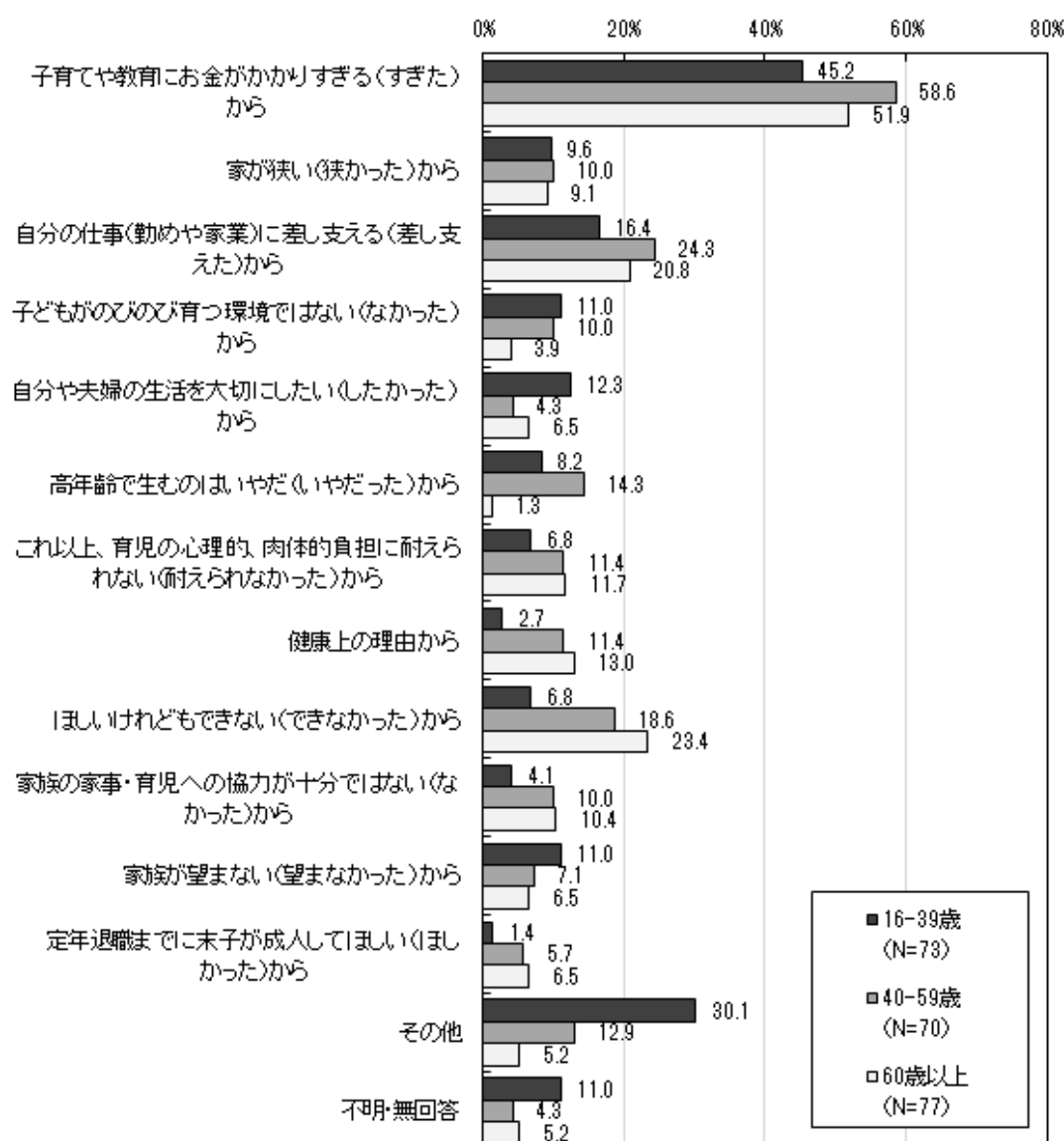
前回（H27）調査からの変化をみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎる（すぎた）から」「自分の仕事（勤めや家業）に差し支える（差し支えた）から」が増加しています。

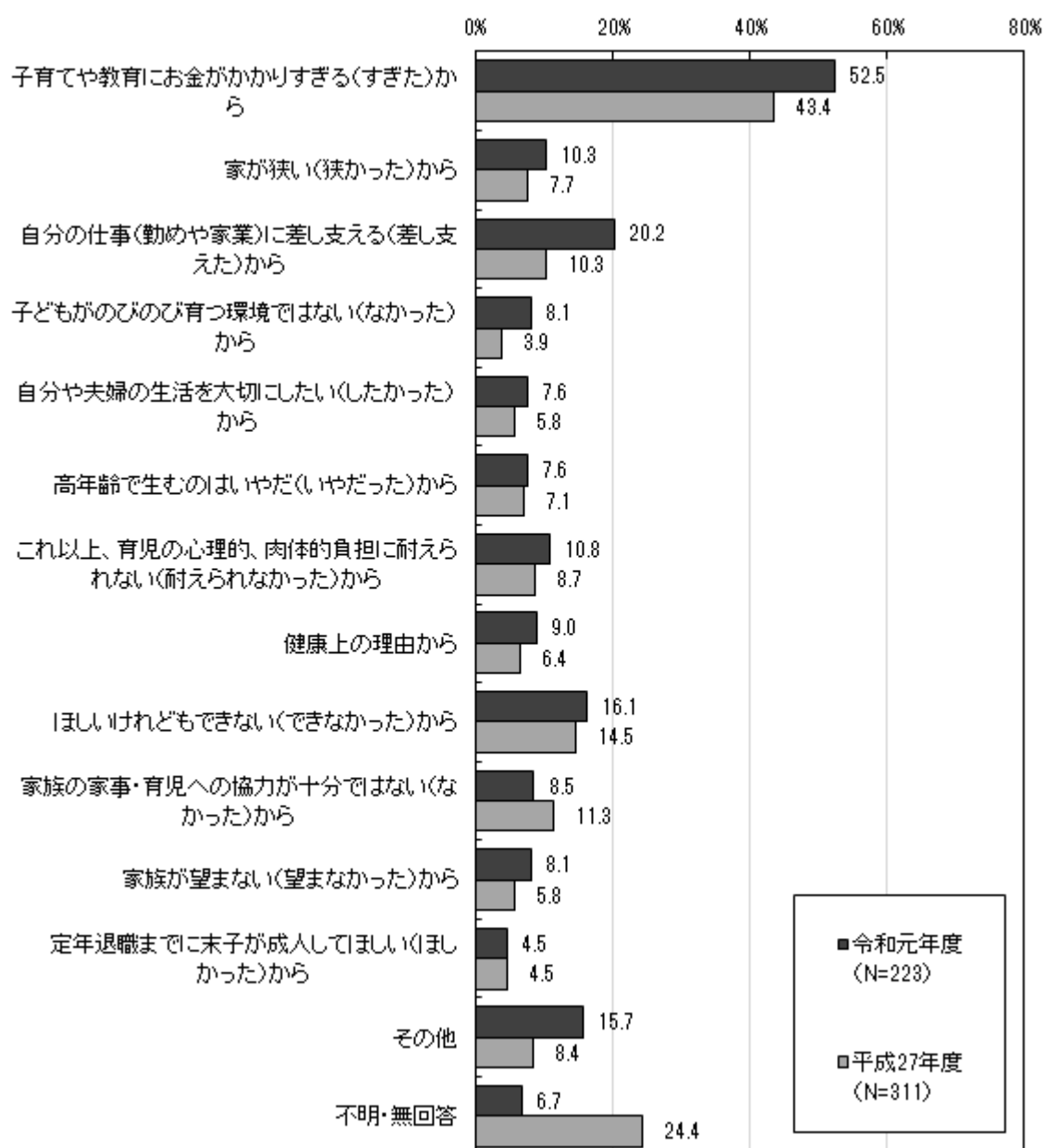


■「その他」の内容

内容	件数
離婚した為	1
将来のことは分からない	1
香芝市が子育てできる環境ではない(高校の無償化ではない等)	1
出産し家での育児サポートみたいな人がいればより良い保健師さんは一時的なことだったので、関係性ができない	1
高年齢である為	1
死産、流産	1
収入増が見込めない、増税により家計圧迫する	1
障害など十分に手をかけてあげたい子が生まれた為	1
不妊治療が高額だった、近くに専門医がなかった	1
治療費がかかりすぎてあきらめた。	1
子どもが小さいうちにもっと支援があれば不安なく子どもを育てられる	1

■年齢別

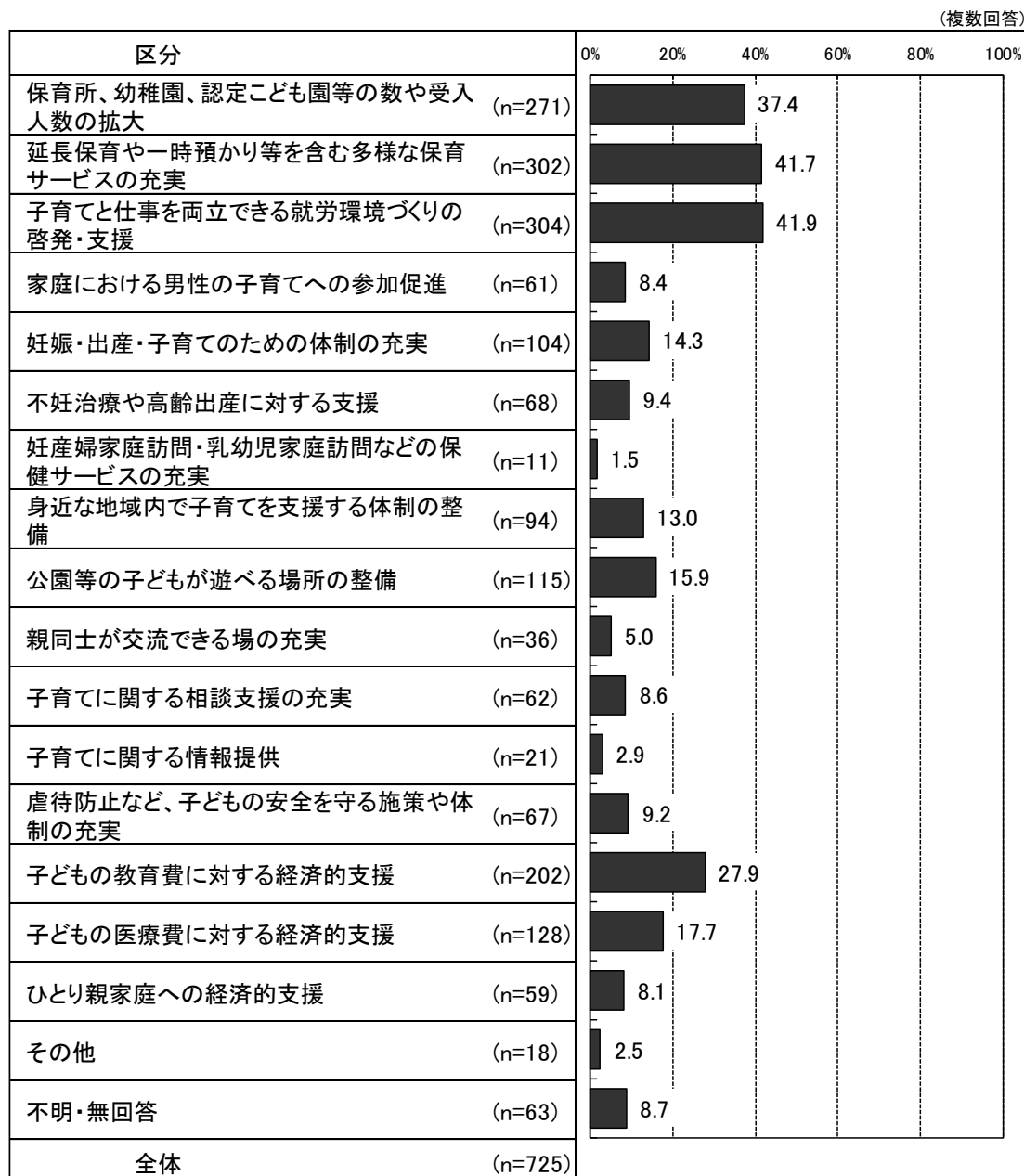




問 28 香芝市で子どもを産み育てやすくするためには、子育て支援について、今後さらに何が必要だと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）

「子育てと仕事を両立できる就労環境づくりの啓発・支援」が41.9%で最も多く、次いで「延長保育や一時預かり等を含む多様な保育サービスの充実」が41.7%、「保育所、幼稚園、認定こども園等の数や受入人数の拡大」が37.4%で続いています。

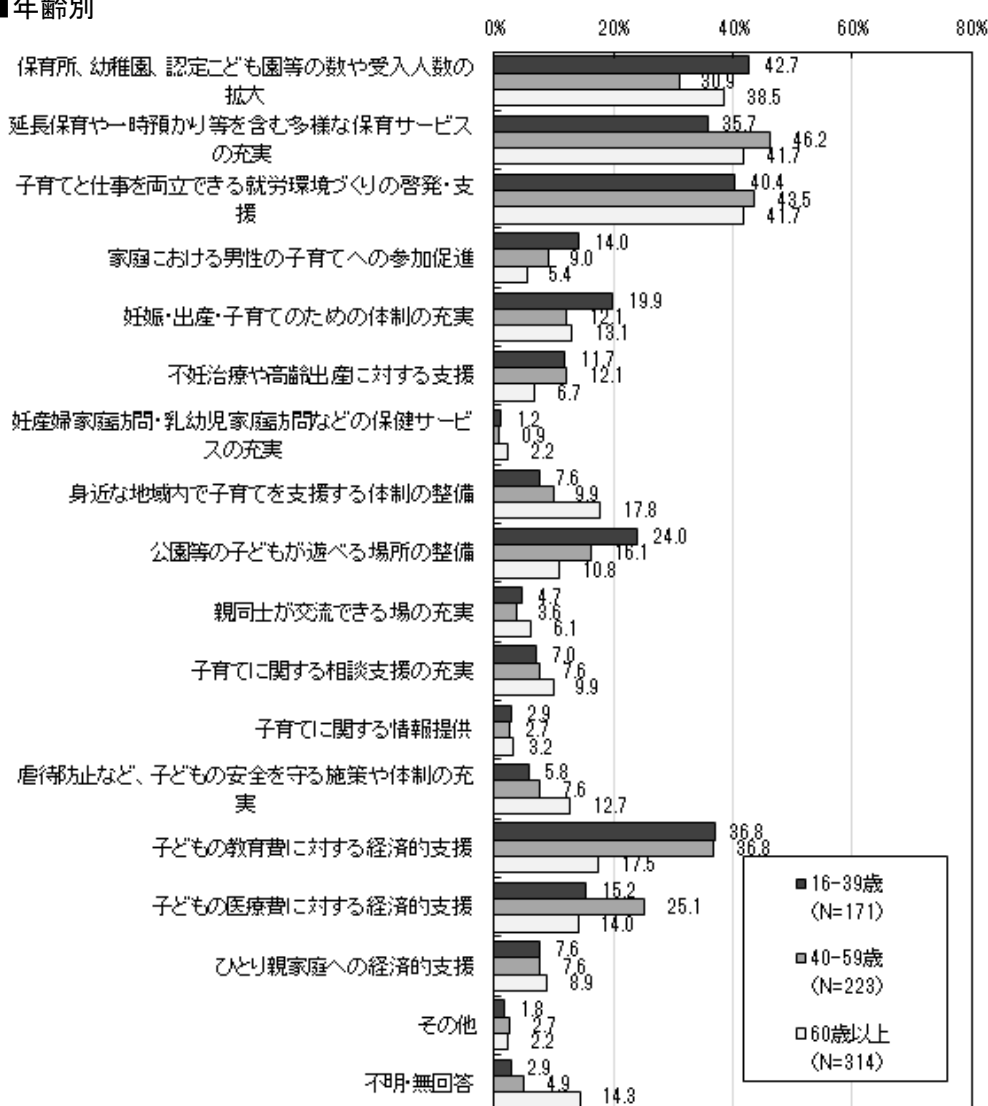
年齢別にみると、「保育所、幼稚園、認定こども園等の数や受入人数の拡大」では40-59歳が16-39歳・60歳以上より回答割合が低くなっています。「延長保育や一時預かり等を含む多様な保育サービスの充実」では16-39歳が40歳以上より回答割合が低くなっています。「家庭における男性の子育てへの参加促進」「公園等の子どもが遊べる場所の整備」では年齢が上がるにつれ回答割合が低くなっています。「身近な地域内で子育てを支援する体制の整備」「虐待防止など、子どもの安全を守る施策や体制の充実」では年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。「子どもの教育費に対する経済的支援」では16-59歳が60歳以上より回答割合が高くなっています。「子どもの医療費に対する経済的支援」では40-59歳が16-39歳・60歳以上より回答割合が高くなっています。



■「その他」の内容

内容	件数
子育ては幼少期ばかりではない、小学校よりも中学校に入ってからの方がお金がかかる、部活動などでも・・・	1
子供が小さい時は自分で育てて少し大きくなればもう一度(仕事)にカムバックできる体制がほしいです	1
子供の治療施設の充実	1
子どもの環境における人の数、人の質の向上	1
学校における教育支援、道徳教育の充実	1
保、幼、認定子ども園等に障害児も通園できる(療育もできる)施設も含まれた、クラスを作るなど障害のある子の親も働けるような支援	1
学童の質の向上	1
施設、受け入れ側の人材の確保、(人材が少ないので十分な支援はできない)	1
子育てに自立した親の育成、公共の経済的支援など各個人内容精査	1
病気の子どもを預かってくれる施設の拡充	1

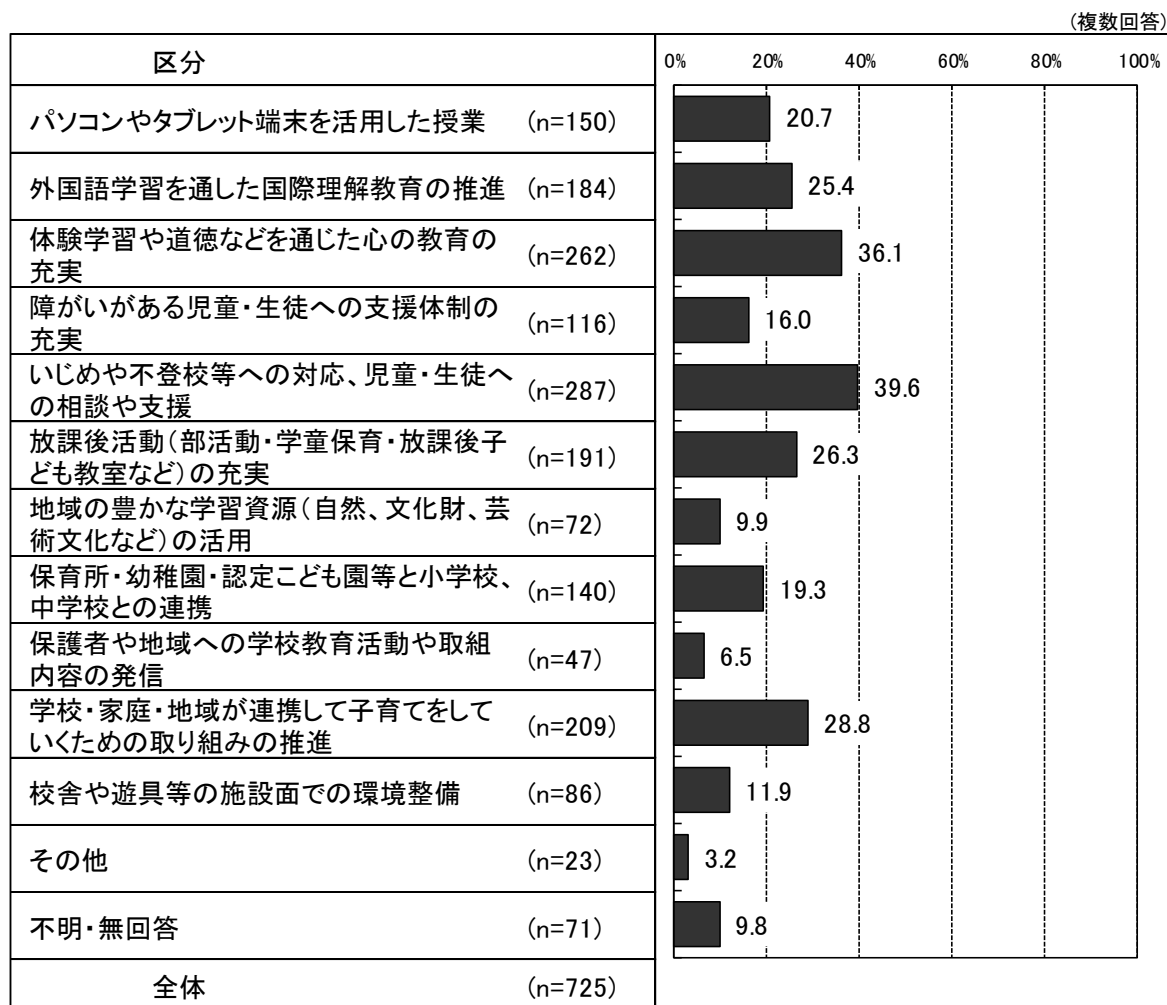
■年齢別



問 29 香芝市で子どもを産み育てやすくするためには、学校教育環境について、今後さらに何が必要だと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）

「いじめや不登校等への対応、児童・生徒への相談や支援」が39.6%で最も多く、次いで「体験学習や道徳などを通じた心の教育の充実」が36.1%、「学校・家庭・地域が連携して子育てをしていくための取り組みの推進」が28.8%で続いています。

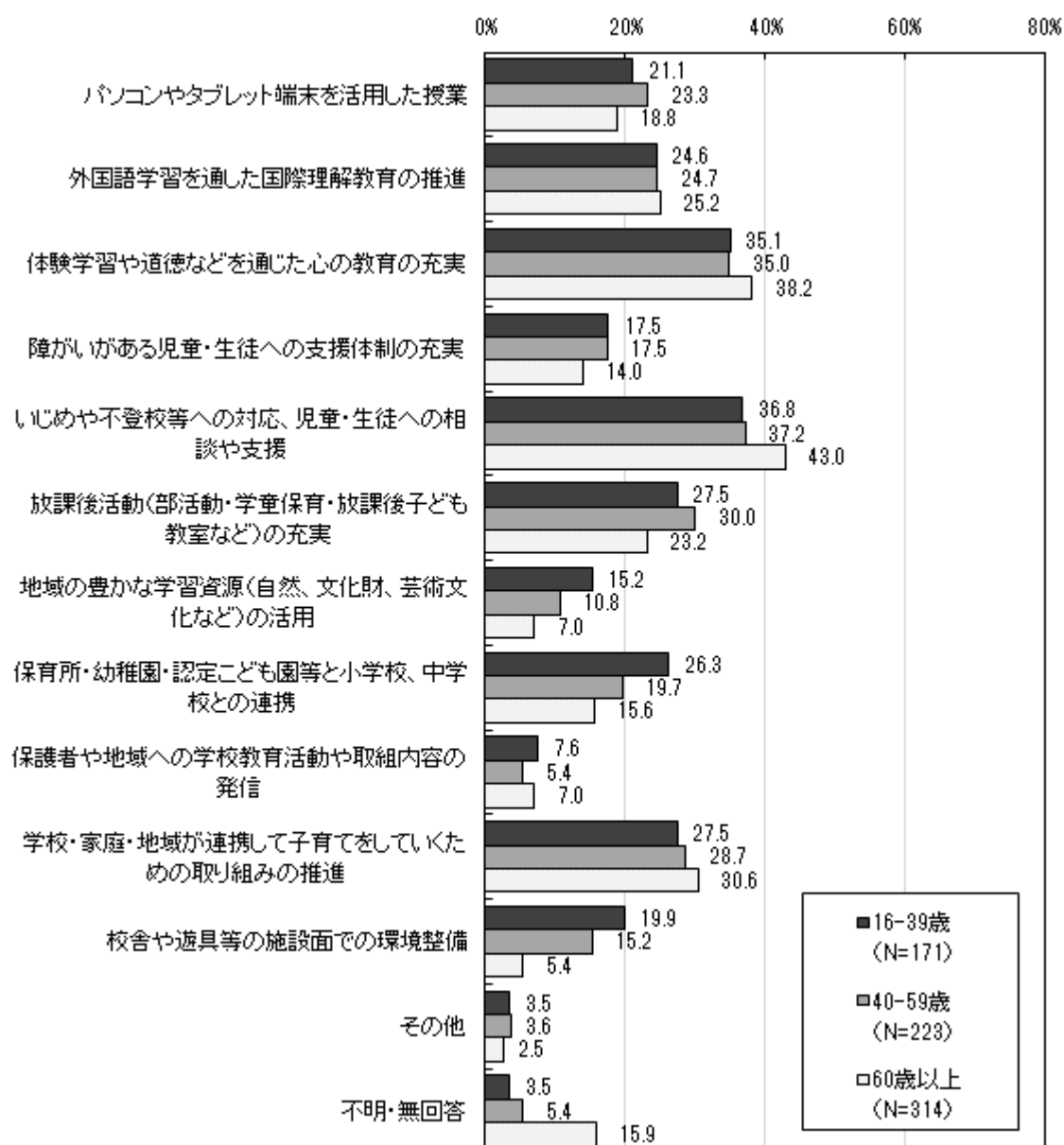
年齢別にみると、「いじめや不登校等への対応、児童・生徒への相談や支援」では年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。逆に「校舎や遊具等の施設面での環境整備」では16-39歳の回答割合が高くなっています。



■「その他」の内容

内容	件数
塾教育の無償化、ならいごとへの支援	1
両親と高齢の子供が同居している家庭が多い、結婚してない独身者が多いのが現状、まず結婚して、幸せな家庭を築くことが最優先で、その後に出産がある	1
小学校と中学校の連携 9年間トータルでの教育の充実	1
学校内の事務・苦情に対応する専門職設置、学校教育者の環境を充実	1
いじめをした方へのカウンセリングやペナルティー	1
給食室にはクーラーが取り付けられていない小学校の	1
教員の質の向上	1
教師の負担を減らす	1
平等教育ではなく、能力アップの教育環境を整え、香芝市は周辺自治体と比べて、教育水準が高いと言われるように関係者が力を合わせて努力する	1
教師の質の向上、サラリーマン化の改革、教師の評価制度改革	1
人とにかく保・幼・小・中 人が足りていません	1
人材の確保、受け入れ側の負担が大きい	1
先生が足りない。先生が働く環境が悪いのか、先生になりたい人が減っている。何とかしないと学校教育があぶない！！	1
学校内での防犯強化(中学校での盗難が多すぎる)	1
親の教育	1
ギフテッド教育、フリースクール	1

■年齢別



V. 市の将来像について

問 30 香芝市の将来像（あるべき姿のキャッチコピー）について、あなたが連想するキーワードを3つまで記入してください。キーワードは日本語に限りません。

	キーワード	件数
1	安心	88
2	自然・自然豊か・緑	81
3	笑顔、スマイル、笑	79
4	安全	64
5	子育て・子ども・教育	62
6	住みよい・住むなら	49
7	元気	39
8	やさしさ、思いやり	38
9	活気、いきいき、地域活性	36
10	健康、すこやか	35
11	明るい	27
12	豊か	24
13	未来	23
14	便利	22
15	助け合う、共生、交流、連携	22
16	幸せ	21
17	楽しい	21
18	きれい、清潔、クリーン	20
19	ゆとり、ゆったり、のんびり、穏やか	20
20	夢・希望	16
21	やすらぎ、静か	16
22	輝き	11
23	発展、前進、成長	10
24	充実	9
25	つながり	8

	キーワード	件数
26	高齢者、長生き	8
27	かしば	8
28	若さ	6
29	歴史	6
30	交通の便	6
31	環境	5
32	空気がおいしい	5
33	やる気	4
34	平和	4
35	健全	4
36	水がきれい	4
37	みんな	4
38	快適	4
39	二上山	4
40	心	4
41	国際	3
42	頑張る	3
43	信頼	3
44	あいさつ	3
45	文化	2
46	自由	2
47	コンパクト	2
48	郷土愛	2
49	和	2
50	大阪に近い	2
51	創造	2

1	ワンダーランド	不安のない町	出かけたくなる町に	市民 しみん	帰ってきたくなる街
2	和気あいあい	ファイト	つくる	芝(自然)	街路樹の充実
3	わかり合う社会	広い	調和	市内に近い香芝	か かがやきの町
4	分かり合う 解かり合う	飛躍	ちょうどいい町	実践	終の住
5	リラックス	人	ちょうどいいとこ	実現	親子3代安心香芝
6	理解し合う	万葉の香りかしば	挑戦	実感	落ち着いた町
7	利	バワフル	チャレンジ	仕事	おしゃれ街香芝
8	ラブ	馬力がある	チームワーク	支援	おかえり、かいばへ
9	喜	バランス	地域密着	し 仕事	おおらか
10	寄りそう	バラ色	地域コミュニティ	さわやか	老いも若いも
11	「ホッと」なまち	はつらつ	地域	爽やか	おいしい空気
12	良いとこ	はつらつ	多様性	坂道	駅近の発展
13	融合(地域、年代他)	ばっちり香芝！	種蒔き	再発見	永住したくなる
14	勇氣	八面六臂	体力づくり	最先端	ウォーキングに
15	和らぎ	働くなら香芝市	ダイヤモンドトレール	最高かしば	医療費
16	やわらか	働く	ダイナミック	咲	癒し
17	躍動	働きやすい	大企業誘致	娛樂	癒し
18	めざせ	場所 ばしょ	想像	躍進	田舎すぎない
19	明	はじまりの街	選挙	個性	こよ山香芝
20	結	育む	絶対香芝	心豊かに	一歩、成長
21	見守り(子供)	ハイレベル	絶対	心豊か	一念発起
22	境が広い	ハイスベックベッドタウン	整備	心のふるさと	一意専心
23	満足	ハートフル	誠実	心地良い	いたわりの町
24	満足	ハートフリー	すもう	心地よい	維持可能
25	まほろば	ば バリヤフリーの町	スマート	肯定	生きる
26	学ぶ	ば バランス	スポーツ	高速化。	生き甲斐
27	学び	伸びしろ	全ての市民	こうかいしないまちづくり	生きがい
28	町	ノー(no)カー(car)	全て	牽引	いい町香芝
29	街	農産物	進む	健	いい空気
30	孫と暮らせる町	熱心	清々しい	グローバル	安定
31	本気	ぬくもり	推進	暮らしやすい	安定
32	ほのぼの	人間性	素	暮らし	安定
33	ほっとなかしば	にぎやか	新しい	空洞化(なくす)	天月
34	ホッとする	何でも安い	進歩	キラキラ	集まろう
35	ポジティブ	奈良のさきかけ	進化する町	清らか	あたりまえ
36	誇りを持って	和み	恕の心	今日より明日	新しさ
37	ほがらか	仲良く	ショッピングに	来て、見て、かしば	新しく
38	ほがらか	努力、美	女性ガイキキ	期待	温かい(ぬくもりなど)
39	ホームタウン	努力	将来、約束	企業を増やし働ける	あたたか
40	ホープかしば	努力	将来	感謝	憧れるまちかしば
41	防災	バスの充実	上品なまち 香芝	家庭	愛国心
42	ペットもたのしい	となり組との交流	商業施設の整備	家庭	愛
43	フレンドリー	都市部に近い	生涯学習	家族で笑顔	愛
44	ふれあい	独自性ブランド	柔軟	家族が喜ぶ	T史
45	古い	都会すぎない	住環境	家族	powerful
46	ブランド	電気自動車	住	第2のふるさと	IT活用
47	普通が一番	田園都市かしば	地元愛	革新	AI先進自治体
48	福祉	手を取り合おう	市民の数だけ	学術都市	〇〇に寄り添う
49	フォーエバー	手をつなごう	市民が愛する	帰りたいなるまち	〃 便利
50	〃 楽しい	よかつ●	いつまでも住み続けられる。	イノベーション(キインプルーブメント)	共に育つ共に生きるかしば
51	子ども、私も〃香芝で育つ#	各 地域にある小学校を 子供達の●後、休日の すごす場所として整え られないか			

問 31 香芝市におけるまちづくり等について、ご意見があれば自由にお書きください。

まちづくりについて、「道路整備が必要」や「公共交通機関の充実」という移動に関わる意見が多くなっています。道路の整備状況や公共交通機関は地域によってことなるので、地域の実情に応じて対応していく必要があります。

次いで「教育・保育の充実・無償化」を望む意見が多く、子育てしやすいまちづくりが望まれていることがうかがえます。また、大型商業施設、住環境、駅前開発という日常生活に直接関わる意見が多くなっています。

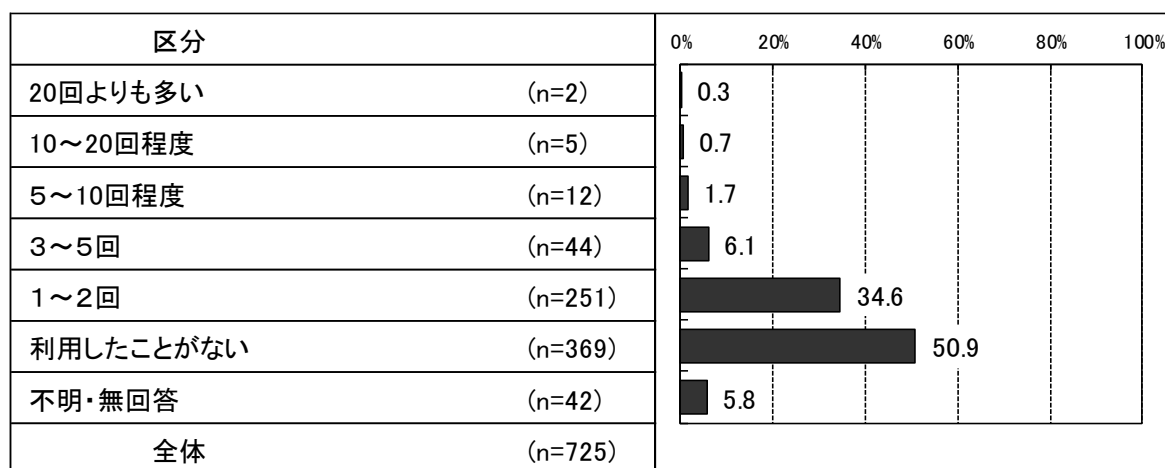
キーワード	件数
道路整備が必要	46
公共交通機関の充実	23
教育・保育の充実・無償化	16
大型商業施設・企業の誘致	14
住環境の整備	10
駅前の開発整備	10
自然環境の充実	9
公園の充実	8
公共施設の充実	8
まちづくりが進まない	7
ブランド力の向上	6
病院の整備	4
災害に強いまちづくり	4
子どもが安心して遊べるまち	3
市民参加型のイベントの充実	2
公共料金の値下げ	2
個人事業主の多いまちづくり	2
健康増進	2
都市住宅の強化	1
歴史遺産の利活用	1
不妊治療への助成	1
市民プールの整備	1
バスの充実	1
学校の施設整備	1
行政と市民の協力が必要	1
図書館の充実	1
まちの美化	1
多世代交流できるまちづくり	1
行政のスリム化	1

Ⅵ. モナミホールについて

問 32 モナミホールを1年間にどのくらい利用していましたか。(1つに○)

「利用したことがない」が50.9%で最も多く、次いで「1～2回」が34.6%、「3～5回」が6.1%が続いています。

地区別にみると、多くの地区で「利用したことがない」が最も多くなっています。真美ヶ丘東小学校区では、65.8%と高くなっている一方、関屋小学校区では40.4%と低くなっています。

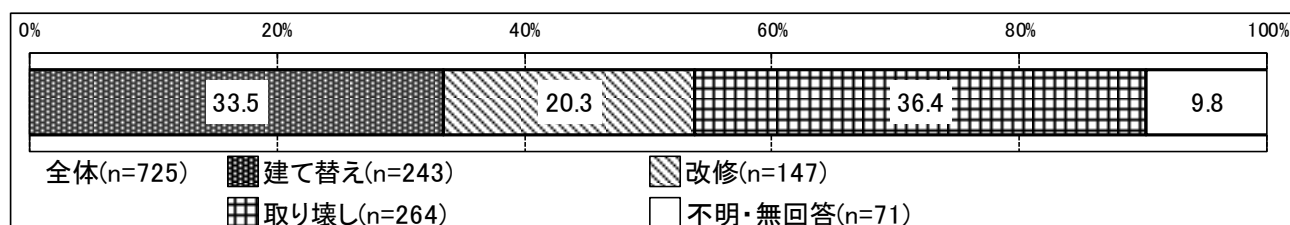


問 33 モナミホールは老朽化のため、このまま利用し続けることはできませんが、施設整備の方向性として建て替え、改修、取り壊しを選択肢として検討しており、改善効果と経費を下記のように見込んでいます。あなたの考えに近いものはどれですか。(1つに○)

「取り壊し」が36.4%で最も多く、次いで「建て替え」が33.5%、「改修」が20.3%が続いています。

地区別にみると、下田小学校区、志登美生が校区、三和小学校区では「建て替え」が最も多くなっている一方、それ以外の地区では「取り壊し」が最も多くなっています。

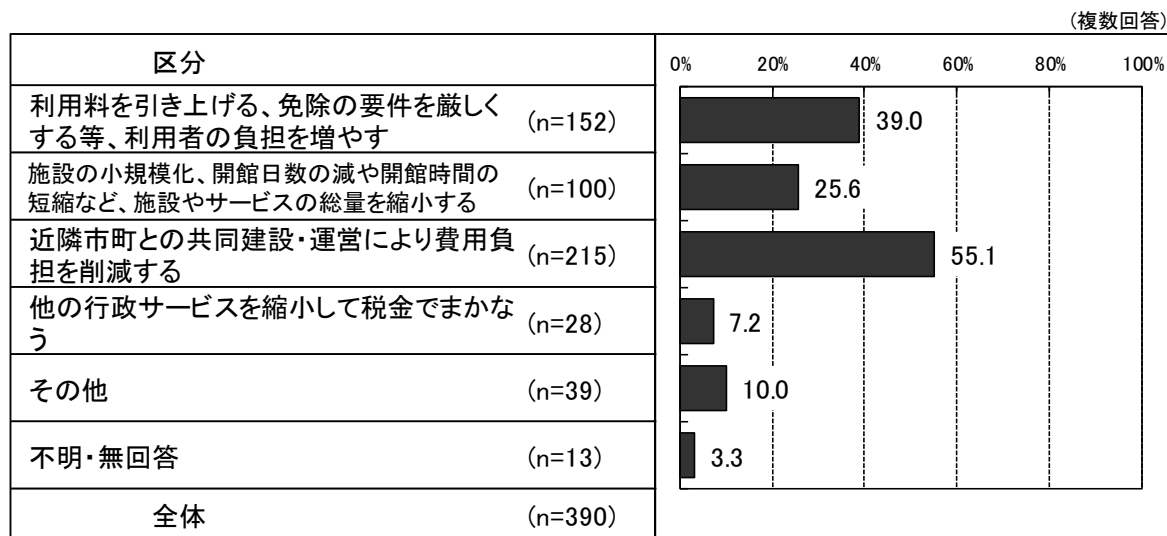
年齢別にみると、18～19歳、20～24歳、40歳代では「建て替え」、25～29歳、75歳以上では「改修」、30歳代、50歳台、60歳代、70～74歳では「取り壊し」が最も多くなっています。



問 34 33 で「建て替え」または「改修」に○をつけた方のみお答えください。

建て替えまたは改修する場合の費用及び今後の維持管理の費用については、将来の市民が負担することになります。負担を少なくするために、これらの費用をどのようにまかなうべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

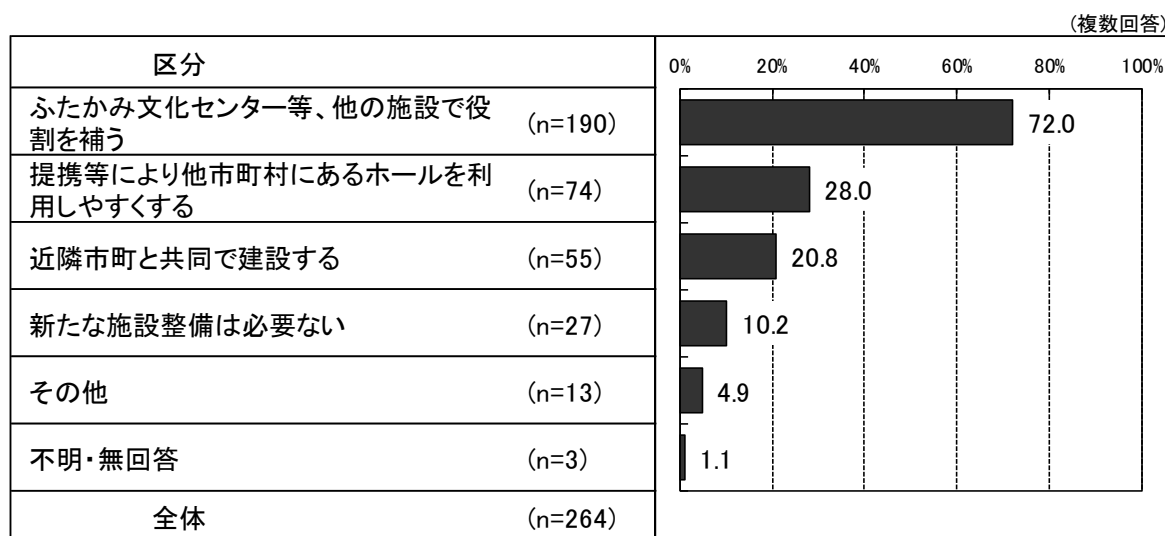
「近隣市町との共同建設・運営により費用負担を削減する」が 55.1%で最も多く、次いで「利用料を引き上げる、免除の要件を厳しくする等、利用者の負担を増やす」が 39.0%、「施設の小規模化、開館日数の減や開館時間の短縮など、施設やサービスの総量を縮小する」が 25.6%で続いています。



問 34 問 33 で「取り壊し」に○をつけた方のみお答えください。

今後の施設整備についてどのようにすべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

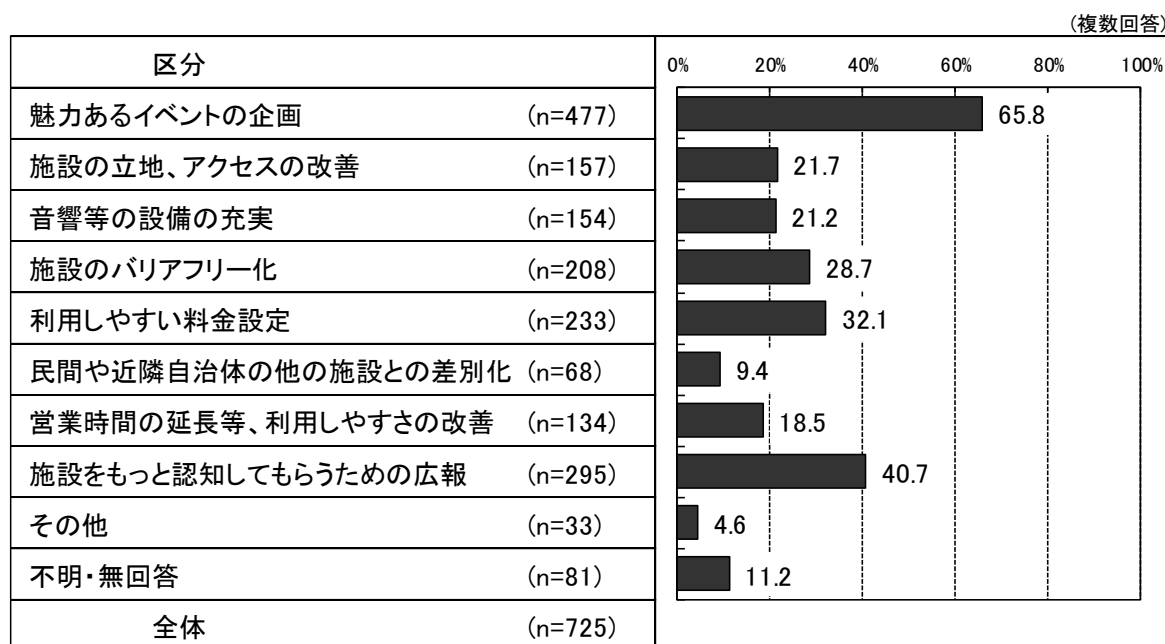
「ふたかみ文化センター等、他の施設で役割を補う」が 72.0%で最も多く、次いで「提携等により他市町村にあるホールを利用しやすくする」が 28.0%、「近隣市町と共同で建設する」が 20.8%で続いています。



問 36 すべての方にうかがいます。

モナミホールのような文化施設について、利用者を増やしていくために改善していくべき課題は何でしょうか。（あてはまるものすべてに○）

「魅力あるイベントの企画」が 65.8%で最も多く、次いで「施設をもっと認知してもらうための広報」が 40.7%、「利用しやすい料金設定」が 32.1%で続いています。



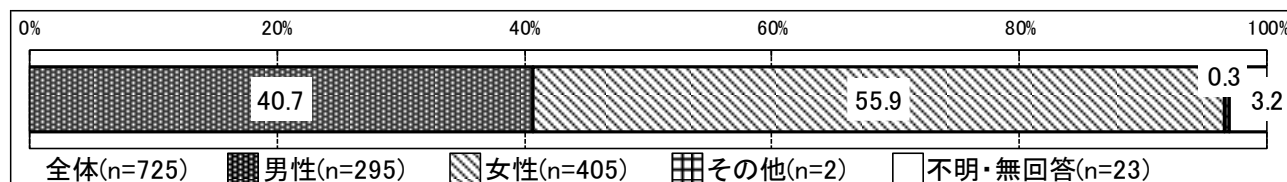
問 37 イベントホールの整備について、ご意見があればご記入ください。

キーワード	件数		キーワード	件数
費用をかけるのはもったいない	43		イベントホールの中にこだわらずに、結婚式や葬儀などができてよいと思う	1
集客を意識したイベント・講座等の催しものの工夫が必要	18		体育館も改修となると、どこで成人式をするのかわからない	1
イベントホールは必要	15			
駐車スペースを広くしてほしい	5			
指定管理など運営方法を改善すべき	5			
サークル活動等の利用できる場所に変更した方がよい	5			
災害に強い体育館と公民館が一体となった施設を新しく建設	5			
気軽に利用できる雰囲気にしてほしい	3			
体育館、ふたかみ文化センター等の現状施設のイベント・スポーツ・文化事業に共用・対応できないか検討	3			
もう少し利用が見込めるのであれば建て替えもよいと思う	3			
市内 4 中学校の吹奏楽部の発展のために建て替え、改修が必要	2			
アクセスの改善(市外中心にあった方がよい)	2			
モナミホールは香芝市民にとってとても誇り	2			
大、中、小のホールをつくって、利用しやすくしてほしい	2			
ホールの必要性を検討すべき	2			
近隣市町と共同建設が良い	2			
ホールを取り壊し、1 つの大きな複合施設、多目的アリーナを備えた施設を建設	2			
食事できる場所をもっとおしゃれにして、イベント以外でも金をおとしてもらう	2			
他市町村との連携等の方が現実的と思う	2			
建て替えることで、近隣の市町村の方も利用していただける	2			
公共物が市役所周辺に集中しすぎる	1			
コストだけで判断するのは間違い	1			
建替えの是非は利用状況による	1			
必要性を感じないので取り壊しても影響なし	1			
気軽にコンサート等できるようにしてほしい	1			
アピールできる施設を建て、市の認知度を上げ、企業を誘地する	1			

VII. あなたご自身のことについて、うかがいます。

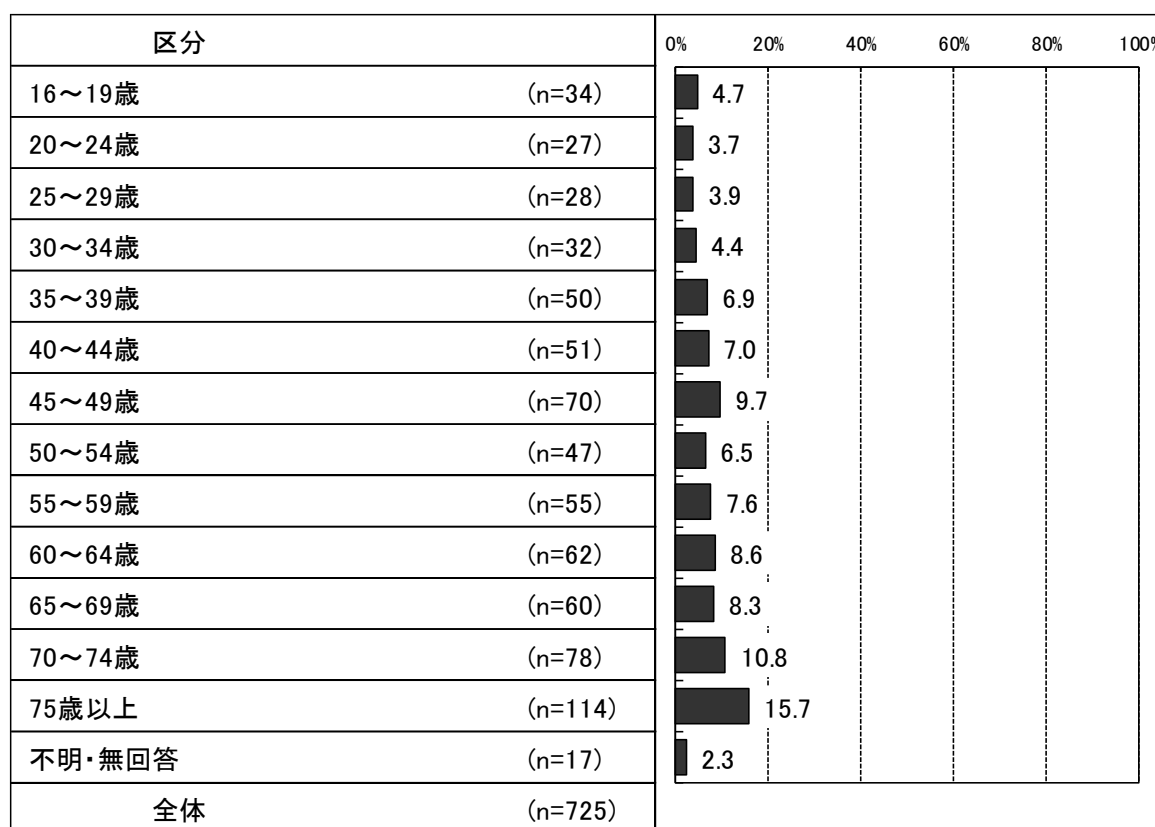
問 38 現在の社会生活上の性別（自分が日常生活を送っている性別）をお答えください。
（1つに○）

「女性」が 55.9%で最も多く、次いで「男性」が 40.7%、「その他」が 0.3%が続いています。



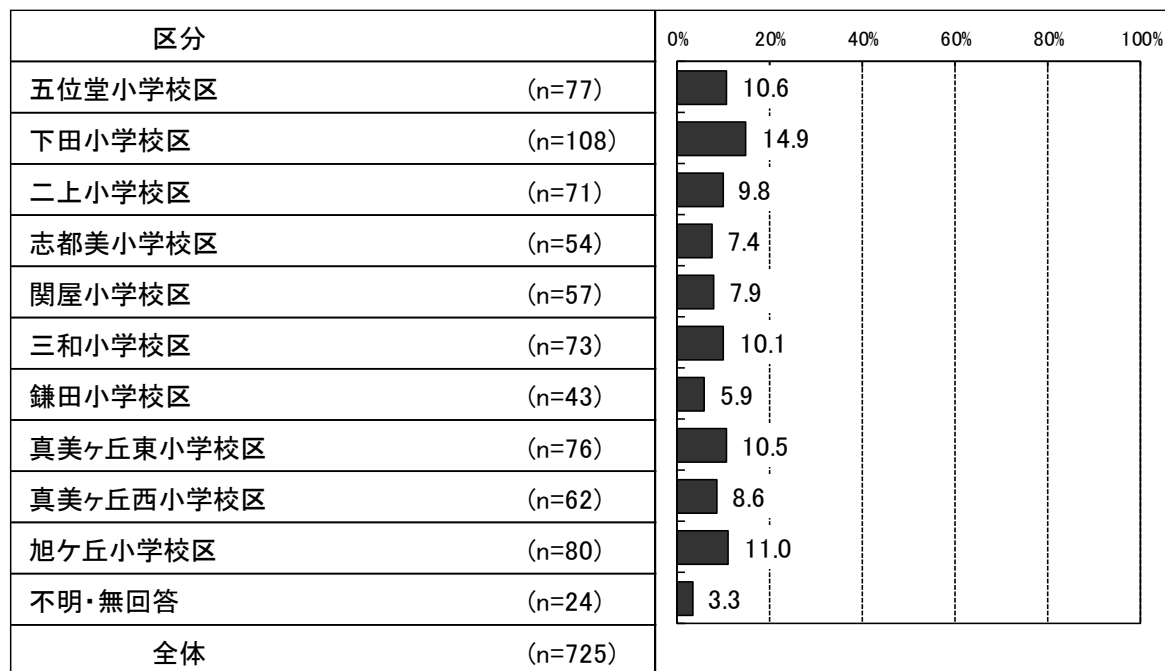
問 39 年齢をお答えください。（1つに○）

「75 歳以上」が 15.7%で最も多く、次いで「70～74 歳」が 10.8%、「45～49 歳」が 9.7%が続いています。

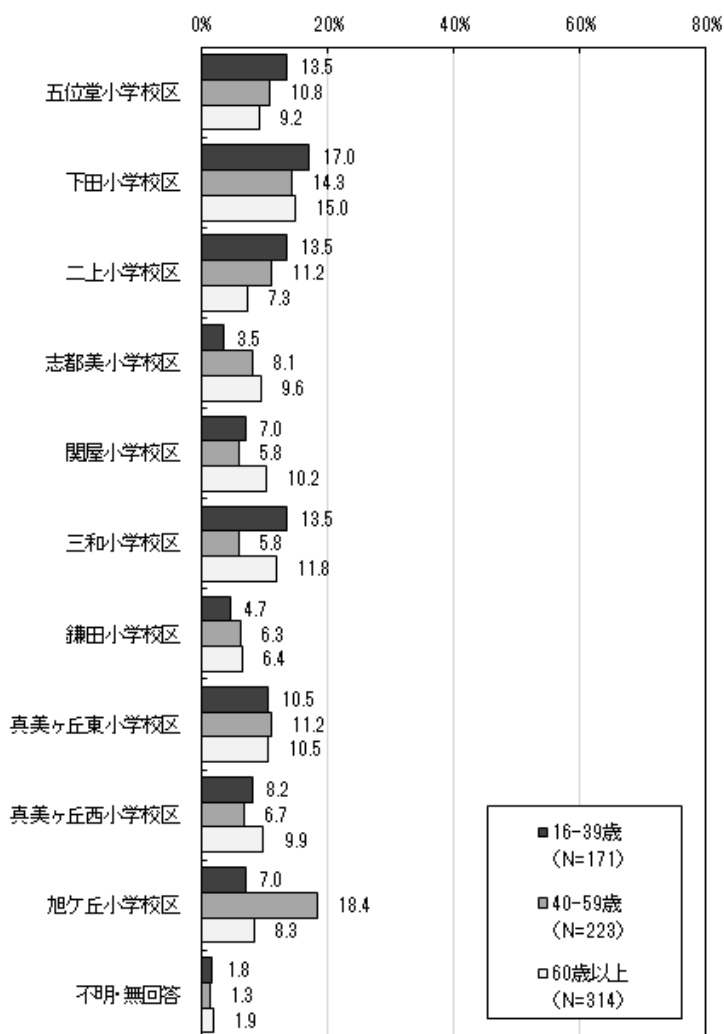


問 40 お住まいの小学校区をお答えください。（1つに○）

「下田小学校区」が14.9%で最も多く、次いで「旭ヶ丘小学校区」が11.0%、「五位堂小学校区」が10.6%で続いています。

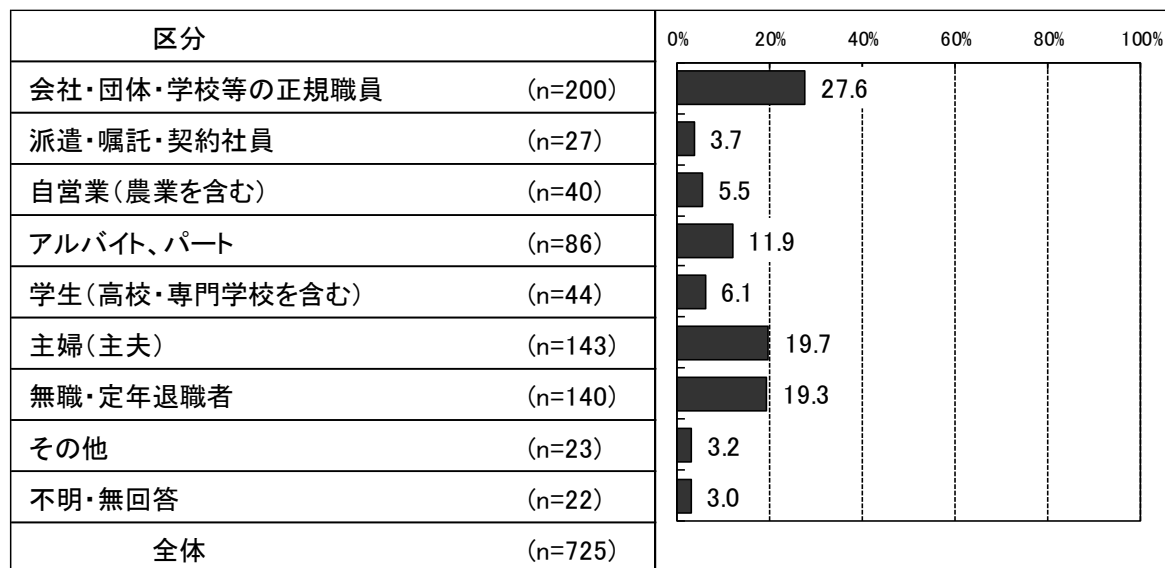


■ 年齢別

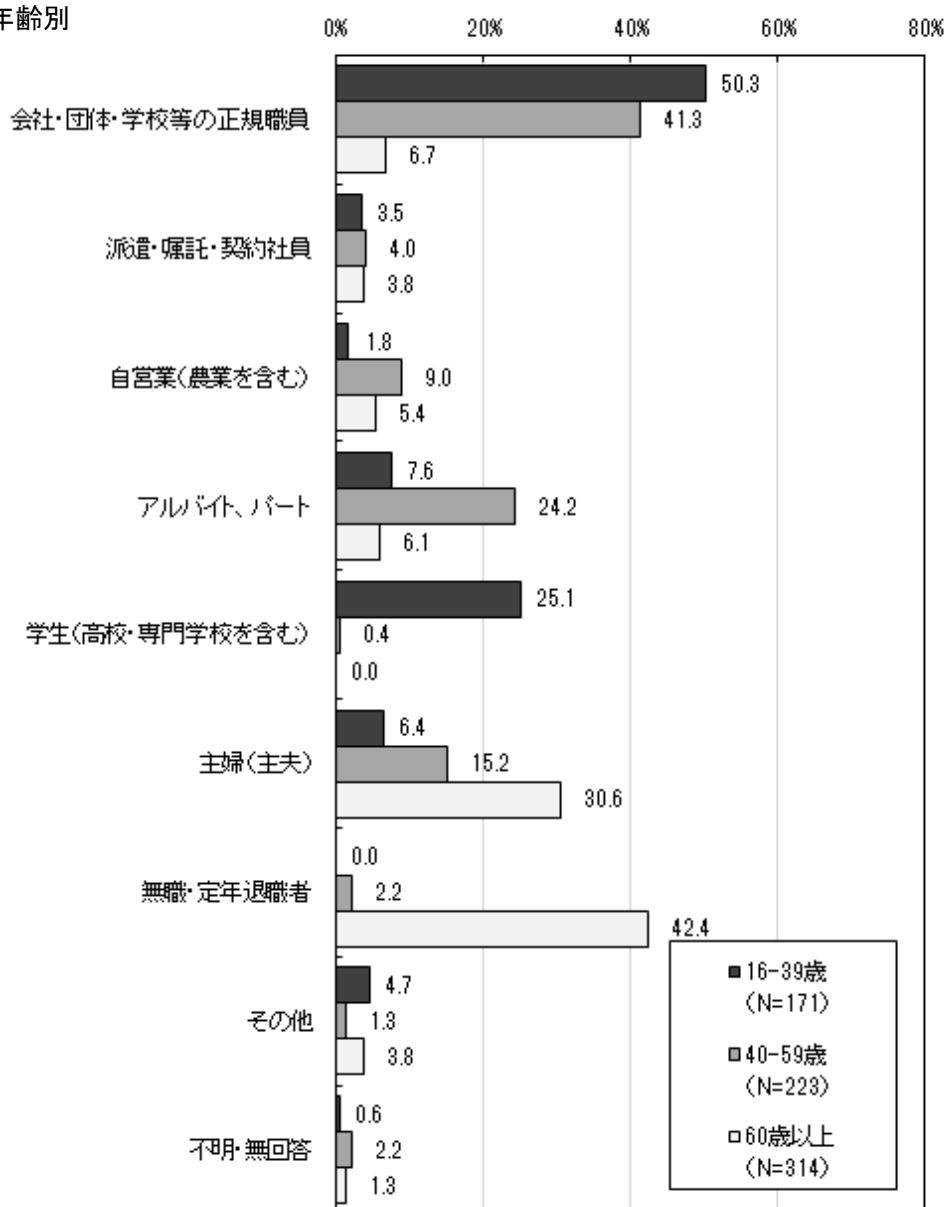


問 41 主なお仕事をお答えください。（1つに○）

「会社・団体・学校等の正規職員」が27.6%で最も多く、次いで「主婦（主夫）」が19.7%、「無職・定年退職者」が19.3%が続いています。



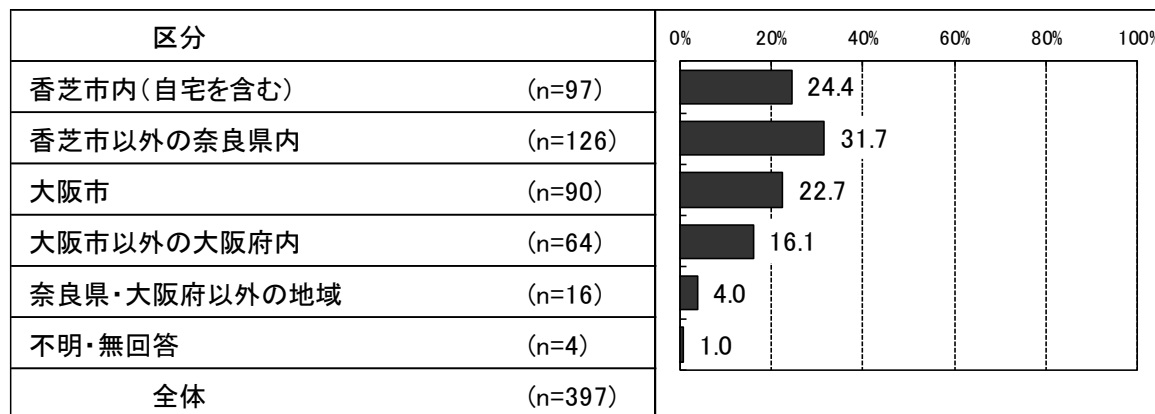
■ 年齢別



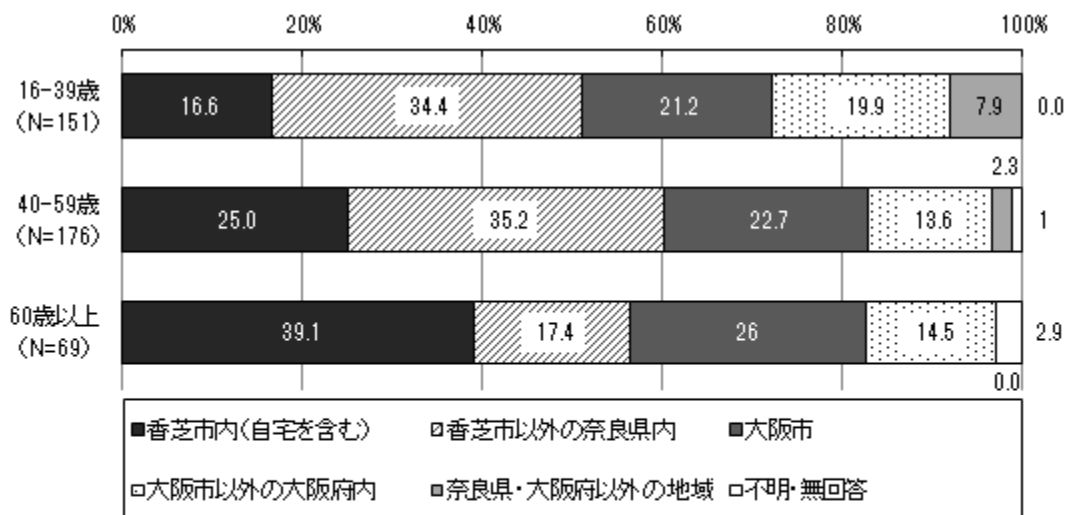
問 42 問 41 で「会社・団体・学校等の正規職員」～「学生（高校・専門学校を含む）」に○をつけた方のみお答えください。

主な就業地または通学地をお答えください。（1つに○）

「香芝市以外の奈良県内」が 31.7%で最も多く、次いで「香芝市内（自宅を含む）」が 24.4%、「大阪市」が 22.7%が続いています。

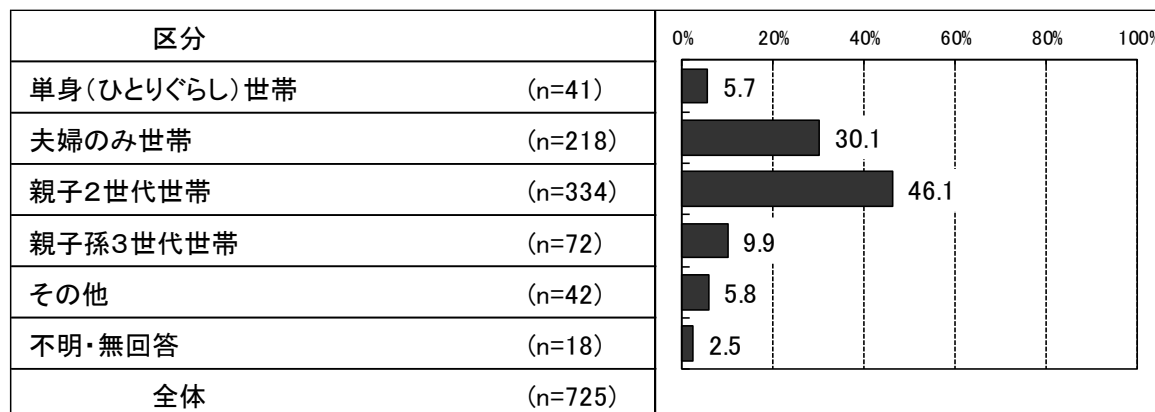


■ 年齢別



問 43 家族構成をお答えください。（1つに○）

「親子2世代世帯」が46.1%で最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が30.1%、「親子孫3世代世帯」が9.9%で続いています。



■ 年齢別

